SoftBank 740SC

User Guide 取扱説明書

SoftBank

はじめに

このたびは、「SoftBank 740SC」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 740SCをご利用の前に、「使い方ガイド」および「取扱説明書（本書）」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。
- SoftBank 740SCは、3G方式とGSM方式に対応しております。

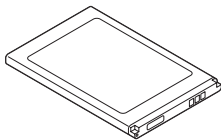
ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（➔P.14-24）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本書の最新版は、ソフトバンクモバイルのホームページよりダウンロードできます。
http://www.softbank.jp/mb/r/support/740sc/

お買い上げ品の確認

SoftBank 740SC本体の他に、次の付属品がそろっていることをお確かめください。付属品は、オプション品としても取り扱いしております。
付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先(➔P.14-24)までご連絡ください。

電池パック[SCBAT1]

- 740SCの充電には、ソフトバンクが指定した充電器(オプション品)を使用してください。
- 740SCではmicroSD™/microSDHC™メモリカードに対応しています。ご利用にあたっては、市販のmicroSD™/microSDHC™メモリカードを購入してください。
- 本書では、microSD™/microSDHC™メモリカードを「メモリカード」と記載しています。
- Samsung New PC Studioは、SAMSUNGホームページ(http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/740download.html)からダウンロードしてご利用いただけます。

本書の構成

内容	章	番号
740SCをお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。	準備／基礎知識	1
	共通機能／共通操作	2
740SCの代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。	電話	3
	メール	4
	インターネット	5
	カメラ	6
	メディアプレイヤー	7
740SCで利用できるその他のサービスや便利なツール（道具）について説明しています。	ニュース／エンタテイメント	8
	ツール	9
740SCのセキュリティを強化する機能を説明しています。	セキュリティ	10
740SCでのデータの管理方法について説明しています。	データフォルダ／メモリ	11
赤外線通信やパソコン接続、データのバックアップについて説明しています。	通信／バックアップ	12
740SCを使いこなすためのカスタマイズ方法について説明しています。	カスタマイズ	13
740SCについての資料や各種情報、索引をまとめています。	資料／付録	14

SoftBank
SoftBank 740SC
Starter Guide 使い方ガイド
Includes An English First Step Guide

最初に
「使い方ガイド」を
お読みください。

機能の探しかた

パラパラとめくって探す

本機の新しい魅力を発見しましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

ページの端にはサイドインデックスが付いています。目的の章をすばやく確認することができます。

- 各ページでは上の例のように、縦組み文字で章の番号とタイトルが書かれています。本書を閉じていても、章の区切りがわかりやすくなっています。

章の始まりには、扉ページが付いています。区切りの目安にしましょう。

- 章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください（一部ない章もあります）。

説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

基本操作パターン

機能やサービスの基本操作を説明しているページです。章や項目の前半にあります。

応用操作パターン

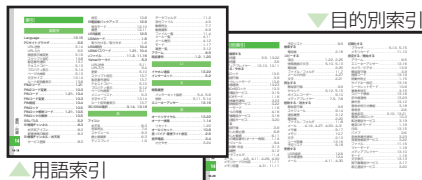
機能やサービスの応用的な操作を説明しているページです。章の後半にあります。

設定操作パターン

本機の設定変更を説明しているページです。カスタマイズの章にあります。

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。

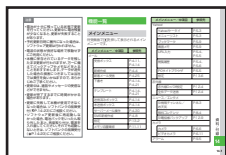
●「目次」には、この取扱説明書の章構成と各章内の見出しが記載されています。また、各章の扉ページに入っている「章目次」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的機能で引ける３つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。

●本機内の用語があいうえお順に並んでいる「用語索引」と、「登録する」「消去する」などの目的別にまとめた「目的別索引」、応用操作のある機能をまとめた「便利な機能索引」を「資料／付録」の章に掲載しています。ご活用ください。

目的の機能や用語を探す

いろいろな方法で、検索が行えます。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「機能一覧」がおすすめです。

●「資料／付録」の章の「機能一覧」は、本機のメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここからすぐにジャンプできます。

画面に表示されるアイコンの意味を知りたいときは、「ディスプレイ」をご覧ください。

●「準備／基礎知識」の章にある「ディスプレイ」では、ディスプレイに表示されるアイコンの意味を掲載しています。知らないアイコンが表示されたときは、すぐに確認しましょう。

表示やアイコンの意味を探す

気になる項目やアイコンを調べましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

本書の記載パターン

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作パターン

各機能のカスタマイズ方法を表形式で説明しています。

設定

メールの設定

Eメールアドレスに関する設定

Eメールアドレスを変更する	✉→「設定」→「メール･アドレス設定」→画面の指示に従って操作 ・パソコンなどからEメールを受信するときに使用するEメールアドレスのアカウント名(@より前の部分)を変更できます。ご契約時のアカウント名は、ランダムな英数字に設定されています。

S!メール、SMSに関する共通の設定 共通操作 ✉→「設定」→「一般設定」

文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択
メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する お買い上げ時 1行	「スクロール単位」→項目を選択
配信レポートの送信を設定する お買い上げ時 Off	「配信確認」→項目を選択 ・「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートが本機に送信されます。
署名の挿入を設定する お買い上げ時 挿入しない	「署名設定」→「自動挿入」→項目を選択
署名を編集する	「署名設定」→「編集」→署名を入力
受信ボックスのメールの自動削除を設定する お買い上げ時 On(自動削除)	「自動削除設定」→「受信ボックス」→項目を選択 ・受信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 ・設定内容は次のとおりです。 「On(自動削除)」：メール受信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます(保護されたメールを除く)。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。 「Off」：メール受信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから再度受信します。

カスタマイズ 13

13-2

共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

応用操作パターン

各機能の応用操作を統一フォーマットで簡単に説明しています。
使いこなしチェックで記載されている機能の他にも、様々な応用操作が記載されています。

入力した本文をすべて削除したい 【本文削除】
SMS作成画面で本文入力欄を反転表示→Y!→「本文削除」→「はい」

送信前にデルモジ表示を確認したい 【デルモジ表示】
SMS作成画面でY!→「デルモジ表示」

便利

受信メールに関する便利な機能

手動でメールを受信したい
✉→「新着メール受信」

差出人に電話をかけたい 【発信】
✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを反転表示→Y!→「発信」
・宛先人が電話番号の場合のみ利用できます。

受信したS!メールに入力されているすべての宛先へ返信したい 【全員に返信】
✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「全員に返信」→項目を選択→(➲P.4-4 S!メールを作成･送信する❸)

受信通知／サーバーメールを転送したい 【転送】
✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→転送したい受信通知を選択→Y!→「転送」→項目を選択→(➲P.4-4 S!メールを作成･送信する❷)

受信通知からメールサーバーに保存されているメールを削除したい 【削除】
✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→受信通知を選択→Y!→「削除」→項目を選択→「はい」

添付画像の表示サイズを設定したい 【画像表示設定】
✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「画像表示設定」→項目を選択

4 メール

4-25

操作中の画面で Y! (メニュー) を押して選択できる操作などはここで説明しています。

表記の見かた

本書では、「SoftBank 740SC」を「本機」と表記しています。あらかじめご了承ください。
また、主にお買い上げ時の状態を基準に説明しているため、設定を変更された場合、本機の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

ディスプレイの表記と本機のイラストについて

記載している画面は、表示されている内容や番号などが実際の画面と異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。
本書のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。
本書では、画面を見やすくするために、待受画面の壁紙の設定を「なし」にした状態で掲載している場合があります。

確認／警告メッセージについて

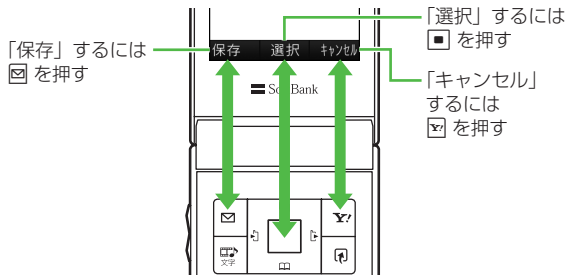
操作中、本書に記載していないメッセージが表示されることがあります。確認や警告のメッセージが表示されたときは、そのメッセージをよく読んで内容をご確認ください。

ボタンの使いかたと表記について

本書では、本機のボタンをすべて記号で表記しています。「各部の名称と機能」(➔P.1-3)を参照してください。

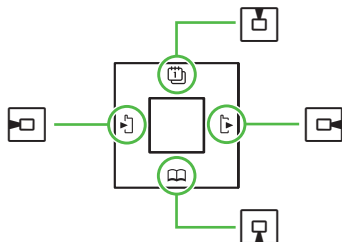
ソフトキーとマルチファンクションボタンの操作については、次のように表記しています。

ソフトキー

ディスプレイの最下段（ソフトキーエリア）には「選択」「保存」のような、操作や設定の選択肢が表示されます。これらの内容を実行するには、その表示位置に対応するソフトキーを押します。

ソフトキー操作の表記

マルチファンクションボタン

マルチファンクションボタンは、上下左右の4箇所を押せるボタンです。目的の項目を選択するときや文字入力画面でカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどに使います。

マルチファンクションボタン操作の表記

またはを押すとき:
またはを押すとき:
、、、を押すとき:

メニュー操作の表記について

メインメニュー操作やメニュー操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

メインメニュー操作

メインメニュー操作について詳しくは、「メインメニューから機能を呼び出す」(➔P.2-3)を参照してください。

メニュー操作

「反転表示」について

項目や文字列の選択画面などで目的の位置にカーソルを移動させることを、この取扱説明書では「反転表示する」と表記します。

Contents

5 インターネット

6 カメラ

7 メディアプレイヤー

8 ニュース／エンタテイメント

9 ツール

10 セキュリティ

11 データフォルダ／メモリ

Contents

Contents

12 通信／バックアップ

13 カスタマイズ

14 資料／付録

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとはこの「取扱説明書」を大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷[1]を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷[1] を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害[2]を負う可能性が想定される場合および物的損害[3]のみの発生が想定される」内容です。

1 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。

指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、充電器(オプション品)、メモリカード(オプション品)の取り扱いについて(共通)

⚠危険

本機に使用する電池パック・充電器(オプション品)は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指示

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

分解禁止

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
電話機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

濡らさないでください。

水濡れ禁止

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。

禁止

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠警告

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器(電子レンジなど)・高圧容器(圧力釜など)の中に入れたり、電磁調理器(IH調理器)の上に置いたりしないでください。

禁止

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所(ガソリンスタンドなど)では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

本機の熱でガスに引火する恐れがあります。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1 コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。

2 本機の電源を切ってください。

3 やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子、メモリカード端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認したうえで、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。

失明などの原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。

指示

異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠ 注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

本機の取り扱いについて

警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
外装ケース（上部）	PC
外装ケース（裏面）	PC
ボタン操作面	PET ＋ UV MOLDING
充電端子／外部接続端子キャップ	PC ＋ ウレタン
イヤホンマイク端子キャップ	PC ＋ ウレタン
電池カバー	PC

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード·クレジットカード·テレホンカード·フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。

本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

本機を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

イヤホンマイクを使用するときは音量に気をつけてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

充電器(オプション品)の取り扱いについて

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源·電圧で使用しないでください。

指定以外の電源·電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
急速充電器:AC100V~240V(家庭用ACコンセント専用)
シガーライター充電器(オプション品):DC12V·24V(マイナスアース車専用)

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。

感電·火災·故障の原因となります。

シガーライター充電器(オプション品)のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。

感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。

火災の原因となります。

シガーライター充電器(オプション品)は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

火災などの原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでくだい。

感電などの原因となります。

⚠注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年３月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室･集中治療室（ICU）･冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本機またはメモリカードに登録したデータ(電話帳、画像、サウンドなど)が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**

  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

  傍受(ぼうじゅ)とは

  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、本機を絶対にご使用にならないでください。
- 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 本機を車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください(電源も入れないでください)。運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、本機では次の機能が利用できなくなります。
  - カメラ
  - メディアプレイヤー
- 本機を長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は5〜40℃の範囲でご使用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 本機を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日など、湿気の多い場所でご使用になるときは、水に濡らさないように十分ご注意ください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- ステレオヘッドフォンの中には開放型のものがあり、音が外に漏れることがあります。周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- **本機は防水仕様にはなっていません。水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。**
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が本機の内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 本機をズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 本機の充電端子／外部接続端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機を傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失、変化、破損などの恐れがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- S!メール、PCサイトブラウザ、S!電話帳バックアップ、デコレメール、フィーリングメール、デルモジ、S!情報チャンネル、お天気アイコン、タダデコ、ともだちメール、S-1バトル、コンテンツ得パック、選べるかんたんは、ソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

- This product contains ACCESS Co., Ltd.'s NetFront Internet browser software. NetFront is a trademark or registered trademark of ACCESS Co., Ltd. in Japan and in other countries. ACCESS NetFront®
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.
- Contains Macromedia® Flash® Flash Lite™ technology by Adobe Systems Incorporated.
- Copyright © 1995-2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- 「待ちうた™」は、KDDI株式会社の商標です。
- microSD™、microSDHC™はSDアソシエーションの商標です。

micro SD™ micro SD HC™

本機の比吸収率(SAR)について

本機の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明(技術基準適合証明)を受ける必要があります。

この携帯電話機「740SC」も財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは0.264W/kgです。

この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

＊ボディ(身体)SARとは:携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率(SAR)のことです。

＊＊比吸収率(SAR):6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合:一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。

http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.15W/kgです。

身体装着の場合:この携帯電話機「740SC」では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications &Internet Association (CTIA)のホームページ

http://www.phonefacts.net(英文のみ)

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機「740SC」は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.671W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関のホームページ

http://www.who.int/emf(英文のみ)

※ 身体に装着した場合の測定試験は、FCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

Read safety precautions before using handset.

- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damages resulting from use of this product.

These labels indicate the degree of risk from improper use. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

⚠ Danger	Great risk of death or serious injury[1] from improper use
⚠ Warning	Risk of death or serious injury[1] from improper use
⚠ Caution	Risk of serious injury[2] or damage to property[3] from improper use

1 "Serious injury" includes blindness, wounds, low/high heat burns, electric shock, bone fractures, poisoning or other physical harm with aftereffects, or requiring hospitalization or ongoing hospital visits.

2 "Serious injury" includes wounds, burns, electric shock or other physical harm not requiring hospitalization or ongoing hospital visits.

3 "Damage to property" includes damage to home, furniture, livestock, pets, etc.

These symbols indicate prohibited or compulsory actions. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

Prohibited	Prohibited actions
Do Not Disassemble	Disassembly prohibited
Avoid Liquids Or Moisture	Exposure to liquids prohibited
Do Not Use Wet Hands	Use with wet hands prohibited

Compulsory	Compulsory actions
Disconnect Power Source	Unplug Charger from outlet

Handset, Battery, USIM Card, Charger (Sold Separately) & Memory Card (Sold Separately)

 Danger

Use specified battery and Charger (sold separately) only.

Compulsory

Non-specified equipment use may cause battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Do not disassemble, modify or solder handset or related hardware.

Do Not Disassemble

May cause fire, injury, electric shock or malfunction.
Battery may leak, overheat, burst or ignite.
Modifying this mobile phone is prohibited by the Radio Law and subject to a penalty.

Do not expose handset or related hardware to liquids.

Avoid Liquids Or Moisture

Do not leave handset or related hardware wet after exposure to water, pet urine, etc., and do not charge wet battery. May cause overheating, electric shock, fire, injury or malfunction. Use them in an appropriate place properly.

Do not charge battery in or expose handset or related hardware to extreme heat (e.g., near fire or sources of heat, in direct sunlight, inside vehicles, etc.).

Prohibited

May cause warping/malfunction; battery may leak, overheat, ignite or burst. Handset or related hardware may become hot to the touch, leading to burn injuries, etc.

Do not force battery/Charger into handset. Check the direction and retry.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

 Warning

Do not place handset, battery or Charger in/on ovens, microwave ovens, pressure cookers, induction stoves or other cooking appliances.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst or ignite. Handset/Charger may overheat, emit smoke, ignite, malfunction, etc.

Keep handset off and Charger disconnected near gas stations or places with fire/explosion risk.

Compulsory

Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/explosion.
To prevent fire or explosion, do not use handset near gas or fine particles (Coal, dust, metal, etc.).

Do not apply strong shocks or impacts.

Prohibited

Do not drop/throw handset or related hardware. Battery may leak, overheat, burst or ignite, resulting in fire, electric shock, malfunction, etc.

If there is unusual sound/odor, smoke or any other abnormality:

Compulsory

Continued use may cause fire, electric shock, etc.; grasp plug to disconnect charger from connector or cigarette socket.

Keep liquids (water, pet urine, etc.) or conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.) away from Charging terminals, External Device or Memory Card Port.

Prohibited

May cause short circuit, resulting in fire, malfunction, etc.

⚠ Caution

Do not place handset or related hardware on unstable surfaces.

Prohibited

Handset or related hardware may fall, resulting in injury, malfunction, etc.; be especially careful when Vibration is set or during Charge.

Keep handset and related hardware out of infants' reach.

Compulsory

Infants may choke from swallowing handset or related hardware or be injured, etc.

If your child is using handset and related hardware, explain all instructions and supervise usage.

Compulsory

Misuse may cause injury, etc.

Battery

Danger

Read battery label to confirm battery type; use/dispose of battery accordingly.

Display	Battery type
Li-ion00	Lithium-ion

Do not dispose of battery in fire.

Prohibited

Battery may leak, burst, ignite, etc.

Do not damage battery (with a nail, hammer, foot, etc.) or subject it to strong impacts or shocks.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Keep wire or other metal objects away from battery terminals. Do not carry/store battery with conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

If battery fluid gets in eyes, do not rub; rinse with water and consult a doctor immediately.

Compulsory

Eyes may be severely damaged.

Warning

If battery fluid contacts skin or clothes, discontinue handset use and rinse with clean water immediately.

Compulsory

May cause skin damage.

If battery does not charge properly, stop trying.

Compulsory

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery, being careful not to burn or injure yourself. Avoid fire sources.

Compulsory

Continued use may cause battery to leak, overheat, burst, ignite, etc.

Caution

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse.

Prohibited

Tape over battery terminals before disposal. Take battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.

Handset

Warning

Do not use handset while driving or cycling.

Prohibited

Accidents may result.
Phone use while driving or cycling is prohibited by law and subject to a penalty; park in a legal parking space beforehand.

Turn handset power off near electronic devices that employ high precision control systems or weak signals.

Compulsory

May cause electronic malfunctions, etc. Be especially careful near the following devices:
Hearing aids, implanted pacemakers/defibrillators and other electronic medical equipment; fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.

Because handset radio waves may impair aircraft operations, please power off handset while aboard.

Compulsory

When handset use aboard aircraft is allowed, please follow instructions of airline personnel.

Users with a heart condition should adjust ringtone Vibration and Volume as needed.

Compulsory

May cause heart damage.

If thunder is heard while outdoors, turn power off; find cover.

Compulsory

There is a risk of lightning strike or electric shock.

Do not look into Infrared Port during infrared transmissions.

Prohibited

Eyesight may be affected.

Caution

Do not use handset when it may affect a vehicle's electronic equipment.

Prohibited

Handset use inside vehicles may cause electronic equipment to malfunction, resulting in accidents.

If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.

Compulsory

Metal and other materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Parts	Materials & Finishing
Housing (upper)	PC
Housing (rear)	PC
Keypad	PET + UV MOLDING
Charger/External Device Port Cover	PC + URETHANE
Earphone/Microphone Jack Cover	PC + URETHANE
Battery Cover	PC

Keep handset away from magnetic cards, etc.

Prohibited

Data on bank cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be lost.

Do not swing handset by strap.

Prohibited

May harm self or others; strap may break, resulting in injury or handset malfunction/breakage.

Handset may become hot while in use, especially at high temperature.

Prolonged contact with skin may cause burn injuries.

Compulsory

Always maintain some distance from Speaker while ringtones, music or other handset sounds play.

Excessive volume may damage ears or hearing.

Prohibited

Keep fingers, straps, etc. outside when opening/ closing handset.

May cause injury, breakage, etc.

Compulsory

Moderate handset volume when using Earphone Microphone.

Excessive volume may damage ears or hearing.

Compulsory

Charger (Sold Separately)

Warning

Do not cover/wrap Charger while charging.

Charger may overheat, resulting in fire, malfunction, etc.

Prohibited

Use only the specified voltage.

Non-specified voltages may cause fire, malfunction, etc.

AC Charger (only for household wall sockets): AC 100V-240V Input

InCar Charger (Optional): DC12V/24V (only for vehicles with negative ground)

Prohibited

Leave Charger unplugged during periods of disuse; grasp plug to disconnect it.

May cause electric shock, fire or malfunction.

Disconnect Power Source

When fuse of InCar Charger (Optional) blown, be sure to change with specified fuse.

If unspecified fuse is being use, may cause fire, electric shock or damage. For specified fuse information see InCar Charger manual.

Compulsory

If liquids (water, pet urine, etc.) seep inside Charger, grasp plug and disconnect Charger from outlet or cigarette socket immediately.

May cause electric shock, smoke/fire.

Disconnect Power Source

If plug is dusty, grasp it and disconnect Charger, then clean with a dry cloth.

Fire may result.

Compulsory

InCar Charger (Optional) only for vehicles with negative ground. Do not use in vehicles with positive ground, it may cause fire.

Prohibited

Plug Charger firmly into the outlet, keeping the plug and Charger charging terminals away from conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).

May cause electric shock, short circuit, fire, etc.

Compulsory

Do not touch Charger plug with wet hands.

May cause electric shock or malfunction, etc.

Do Not Use Wet Hands

Do not touch Charger if thunder is heard.

May cause electric shock, etc.

Prohibited

Caution

Grasp plug and disconnect Charger from outlet or cigarette socket before cleaning.

May cause electric shock, etc.

Disconnect Power Source

Always grasp plug (not cord) to disconnect Charger from outlet or cigarette socket.

Pulling the plug by cord may damage cord, causing electric shock, fire, etc.

Compulsory

Do not subject Charger (sold separately) to strong shocks or impacts while it is plugged into the outlet.

May cause malfunction or injury.

Prohibited

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemaker/defibrillator should keep handset more than 22 cm away.

Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators.

If you intend to use electronic medical equipment other than implanted pacemaker/defibrillator outside medical facilities, consult the vendor on radio wave effects.

Radio waves may interfere with electronic medical equipment.

Observe these rules inside medical facilities to avoid effects of radio waves on electronic medical equipment:

- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a handset.
- Keep handset off in hospitals; cancel the setting that turns handset power on automatically (alarm, etc.) beforehand.
- Even in lobbies or other places where handset use is permitted, keep handset off near electronic medical equipment.
- Obey medical facility rules on mobile phone use.

Turn handset off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near; cancel the setting that turns handset power on automatically (alarm, etc.) beforehand.

Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

General Notes

General Use

- SoftBank is not liable for any damage resulting from accidental loss/alteration of any data on handset/Memory Card. Please keep separate records of Phonebook entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels, or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

- Never use handset aboard aircraft (Keep the power off). Handset use may impair aircraft operation.

Function Usage Limits

- The following functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation:
  - Camera
  - Media Player
- After a long period of disuse, these functions may be unusable; establish a Network connection to restore usability.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damage.
- Use handset between 5℃ - 40℃ . Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing the lens to direct sunlight may damage the color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with a dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow, or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching Display.
- When using headphones, moderate the volume to avoid sound bleed.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid placing handset in damp places (Restrooms, bath/shower rooms, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. This may cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Insert only specified devices into Headphone Port. Malfunction or damage may result.
- Always turn power off before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials for copyright holders. Duplicated material is limited to private use only.
Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.
The software contained in 740SC is copyrighted material; copyright, moral right, and other related rights are protected by copyright laws. Do not copy, modify, alter, disassemble, decompile, or reverse-engineer the software, and do not separate it from hardware in whole or part.

SAR Certification

740SC meets the technical standards of Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) regarding radio wave absorption by a human body.

These technical standards are established on a scientific basis to prevent radio waves emitted from wireless devices such as mobile phones that are used close to human head from affecting human health. These standards assure that the SAR (Specific Absorption Rate), an indicator of the amount of average energy absorbed in the side of a human head, must not exceed the permissive value of 2W/kg*. This value includes a substantial safety margin designated to assure the safety of all persons, regardless of age and physical size. The value is equal to the international guideline recommended by International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) that has a cooperative relationship with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for 740SC is 0.264 W/kg. This value is obtained in accordance with the MIC testing procedure with the mobile phone transmitting at its highest permitted power level. While there may be differences in the SAR levels depending on phones, they all meet the MIC's permissible value. Because mobile phones are designed to employ the minimum power level required for the communication with the base station, the SAR of the phone during a call is usually below the maximum value.

For further information about SAR, please see the following websites:

MIC: http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

ARIB: http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

* The guideline is defined by relevant laws and regulations associated with the Radio Law (No. 2 of Article 14 of Ordinance Regulating Radio Equipment).

SoftBank's Body SAR Policy

*Body SAR: The SAR value at the maximum transmission power when continuously talking with handset placed on the body and using earphone-microphone.

** Specific Absorption Rate (SAR): The value measured when having talked continuously for 6 minutes.

*** Placement on the body: Measurements are taken with the rear of handset facing the body at a distance of 1.5 cm as the ordinary handset position. In order to comply with radio frequency exposure requirements, use an accessory (e.g. belt clip, holster) that does not contain metallic parts to maintain a 1.5 cm separation between the body and handset.

For further information, see the following SoftBank website:

http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.639 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.15 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID A3LSWD740SC.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.983 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.671 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

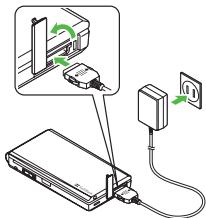
準備／基礎知識

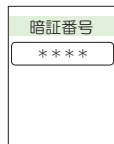
本機を使う準備

この章では、各部の名称や基本的な操作方法など本機をお使いにあたり、はじめに知ってほしいことについて説明します。

各部の名称と機能

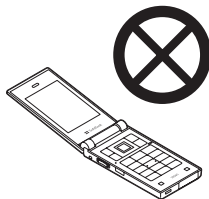
本機には、様々なボタンやカメラなどの機能があります。
また、ディスプレイには、様々なアイコンを使用しています。
それらのものについて説明します。

本機の充電

急速充電器やパソコンのUSBポートなどを利用して本機を充電できます(➔P.1-11)。

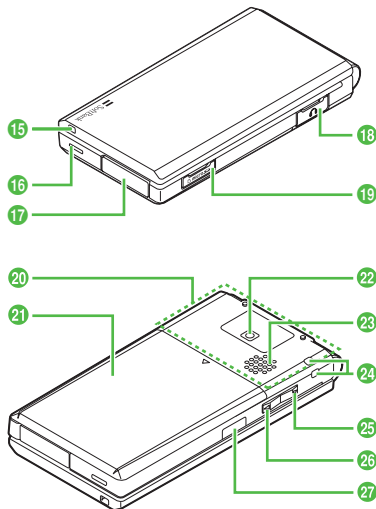
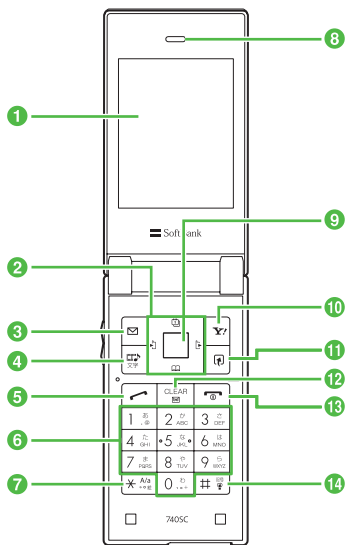
本機で使用する暗証番号

本機では、次の暗証番号によってお客様確認を行っています。

- 操作用暗証番号
- 交換機用暗証番号
- 発着信規制用暗証番号
- PINコード
- USIM照合用パスワード

暗証番号は、本機から変えることもできます(➔P.1-20)。

携帯電話ご使用時のマナー

公共の場では、マナーを守って携帯電話をお使いください。
本機では、マナーを守るために2つのモードがありますので、その場に応じてご使用ください(➔P.1-15)。
また、携帯電話の電源を切らなければならない場合は、電源をお切りください(➔P.1-13)。

各部の名称と機能

本体

❶ ディスプレイ

❷ マルチファンクションボタン
項目やカーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。

❸ メールボタン／左ソフトキー
メールメニューを呼び出すときに使います。画面左下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときにも使います。

❹ ミュージック／文字ボタン
ミュージックの一覧画面を表示します。文字入力画面で文字の入力モードを切り替えるときにも使います。

❺ 開始ボタン
音声電話をかけたり、受けたりするときに使います。待受画面で押すと、発信履歴を表示します。

❻ ダイヤルボタン0〜9
電話番号や文字を入力するときに使います。メニューの選択にも使います。

❼ ＊ボタン
絵文字を入力するときなどに使います。マナーモード設定画面の呼び出しにも使います（1秒以上押す）。

❽ レシーバー（受話口）

❾ メインメニューボタン／
中央ソフトキー■
メインメニューを呼び出すときに使います。画面中央下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときにも使います。

❿ Yahoo!ケータイボタン／
右ソフトキーY!
Yahoo!ケータイのメインメニューを呼び出すときに使います。画面右下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときにも使います。

⓫ スイッチボタン
スイッチバー(➔P.2-3)を表示します。

⓬ クリア／バックボタン CLEAR
文字を消去するときや、操作を1つ前の状態に戻すときに使います。

⓭ 電源／終了ボタン
電源を入れたり切ったりするときや、操作を終了するときに使います。

⓮ #／マナーボタン #
記号を入力するときなどに使います。マナーモードの設定や解除にも使います(1秒以上押す)。

⓯ 着信ライト
着信時や不在着信、メール着信などがあるときに点滅してお知らせします。また、充電中に青色で点灯します。

⓰ マイク(送話口)

⓱ 充電端子／外部接続端子
急速充電器やパソコンなどを接続する端子です。

⓲ イヤホンマイク端子
イヤホンマイク(オプション品)を接続する端子です。

⓳ メモリカード端子

⓴ 内蔵アンテナ

㉑ 電池カバー
電池パックやUSIMカードの取り付けや取り外しをするときは、ここを開けます。

㉒ カメラ
撮影するときに使います。

㉓ スピーカー

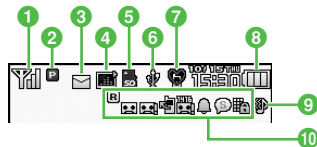
㉔ ストラップ取り付け穴

㉕ サイドボタン
着信中やメディアプレイヤー起動中などに音量を上げます。

㉖ サイドボタン
着信中やメディアプレイヤー起動中などに音量を下げます。

㉗ 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使います。

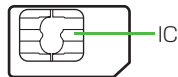
- **内蔵アンテナ**
本機は内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。ご使用中の体の向きや通話している場所によっては通話品質が変わることがあります。内蔵アンテナ部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。

ディスプレイ

1. 電波の受信レベル(強)
   電波の受信レベル(中)
   電波の受信レベル(弱)
   電波の受信レベル(微弱)
   圏外(サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示)
   圏外(Languageが「日本語」以外に設定されている場合の表示)
   電波Offモード中
2. 3G網接続中
   3G網パケット通信中(待機中)
   3G網パケット通信中(データ送受信中)
   GSM網接続中
   GSM網パケット通信中(待機中)
   GSM網パケット通信中(データ送受信中)
   SSL接続中
   パケット通信不可状態
   音声電話通話中(発信中/着信中は点滅)
3. 新着メールあり
   配信確認あり
   空き容量なし(S!メール/SMS)
   コンテンツ·キー受信時
4. ミュージック再生中
   ミュージック一時停止中
5. メモリカードを取り付けている状態
   メモリカードに読み込み中
   ソフトウェア更新表示
   PCサイトブラウザ接続中
   新着のS!情報チャンネルあり
6. USB通信可能
   (黄)USB通信中
   赤外線通信接続中
   (赤)赤外線通信データ送受信中
   データ同期中
7. マナーモード中
   運転中モード中
   会議モード中
   アウトドアモード中
8. 電池が十分残っている
   電池が少し減っている
   電池の残量が少ない
   電池がほとんど残っていない
   (点滅)電池残量なし
9. 音声着信時に着信音とバイブレータが鳴動するように設定中
   音声着信時に着信音が鳴り、バイブレータが振動しないように設定中
   音声着信時にバイブレータが振動し、着信音は鳴らないように設定中
   音声着信時に着信音もバイブレータも鳴動しないように設定中
10. ローミング中
    簡易留守録設定中
    未再生の簡易留守録メッセージあり
    留守番電話または音声電話の転送電話「呼出なし」を設定中
    未再生の留守番電話メッセージあり
    アラーム設定中
    スケジュールあり
    アラーム設定したスケジュールあり
    予定リストあり
    アラーム設定した予定リストあり
    シークレットモード設定表示中
    誤動作防止設定中
    キー操作ロック中

- (赤)が表示されたときは、パケット接続とS!メール送信のみ可能です。通話、S!メールの受信通知およびSMS送受信はできません。

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードは電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。本機は、USIMカードが取り付けられていないと利用できません。

USIM（ユーシム）カード

USIMカードには電話帳とSMSを保存できます。USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
次の点にご注意ください。USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。

- USIMカードの取り付けや取り外しをするときには、必要以上に力を入れないでください。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し、故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れするときは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。

注意

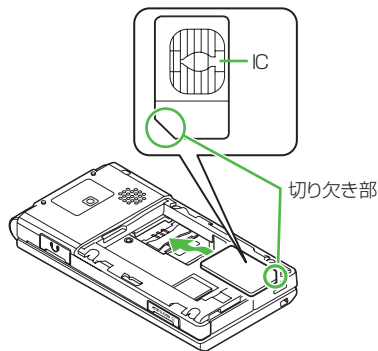
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- 国内外を問わず、USIMカードならびにソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済み）の盗難・紛失の際は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（➔P.14-24）までご連絡ください。
- 本機の修理やUSIMカードの交換、機種変更を行った場合、本体やメモリカードに保存した着うた®や着うたフル®、動画などのファイルがご利用になれなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、データが消失または変化した場合でも、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付けや取り外しをするときは、電池パックを取り外す前に必ず電源を切ってください。

取り付ける

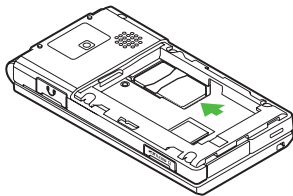
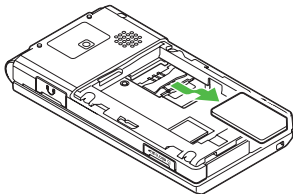
1 電池パックを取り外す
(➔P.1-10)

2 USIMカードの金色のIC部分を下側にし、切り欠き部の向きに注意して挿入口に差し込む

3 USIMカードが固定されるように、奥まで押し込む

取り外す

1 電池パックを取り外す
(➔P.1-10)

2 USIMカードに指を押し当て、スライドさせながら静かに引き抜く

注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、USIMカードや本機が破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは、紛失しないようにご注意ください。
- USIMカードの取り付けや取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。

充電について

- 電池残量のない状態で保管、放置はしないでください。電池パックを長期間保管または放置される場合でも、半年に1回程度、電池パックの充電を行ってください。長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなったり、使用できなくなる場合があります。
- 電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電ができます。
- 次のような場所では充電しないでください。
  - 周囲の温度が5℃以下、または40℃以上になる場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
  - ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
- 充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止し、お問い合わせ先（➔P.14-24）までご相談ください。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

注意

- **本機に使用する充電用機器は、必ず当社指定のものをご使用ください。**
- **電池パック単体で充電することはできません。必ず本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。**
- **充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。**

電池パックの持ちについて

次のような使いかたや操作をすると、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

- 使用環境
  - 極端な低温または高温の状態での使用、および保存（5～40℃の温度範囲でご使用ください）
  - 電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受（なるべく電波状態の良い環境でご使用ください）
  - 本機や電池パック、充電器の充電端子の汚れ（汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります）
- 操作
  - カメラでの撮影を何度も行ったとき
  - 動画や音楽を再生したとき
  - メール作成などで連続した操作をしたとき（照明の点灯時間が長くなるため）
- 設定
  - ディスプレイ設定の「バックライト」で明るさのレベルを上げているときや、長時間の点灯を設定しているとき
  - メディアプレイヤーのバックライトが「常時On」に設定されている状態で、ムービーを再生したとき

不要になった電池パックは

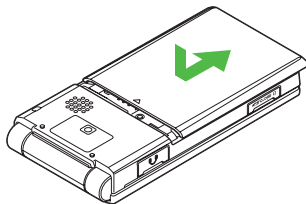
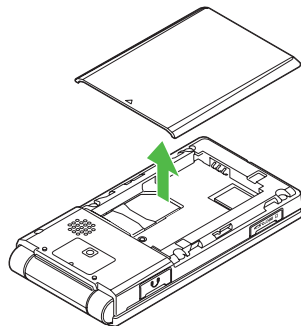
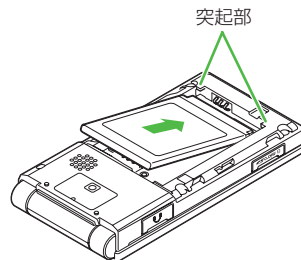
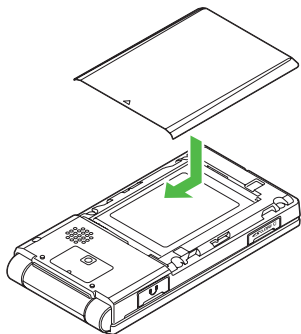
不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

電池が切れると

電池がほとんど残っていない状態になると、警告音とメッセージでお知らせします。電池パックを充電してください。そのまま充電をしないでいると、自動的に本機の電源が切れます。

電池パックを取り付ける／取り外す

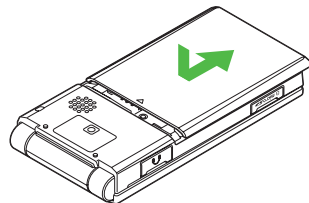
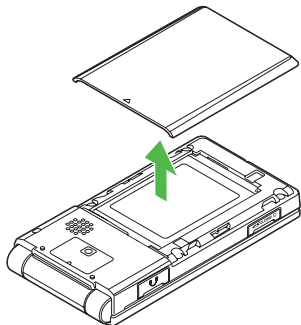
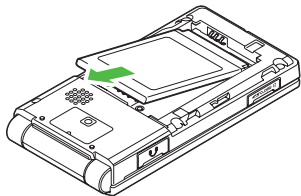
取り付ける

1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる

2 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す

3 本機の突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付ける

4 電池カバーを矢印の方向にスライドさせ、押し込む

注意

- 電池カバーを取り外すときには、電池カバーのツメを本機のくぼみに差し込んだまま無理に開かないでください。電池カバーのツメが壊れる場合があります。
- 取り付けるときに、電池パックに無理な力を加えないでください。本機の充電端子が壊れる場合があります。
- 電池カバーが外れた状態で使用すると、電池パックが抜ける恐れがあります。使用するときには、電池カバーを正しく取り付けてください。
- 強い衝撃などを与えると、電池カバーが曲がって取り付けにくくなることがあります。

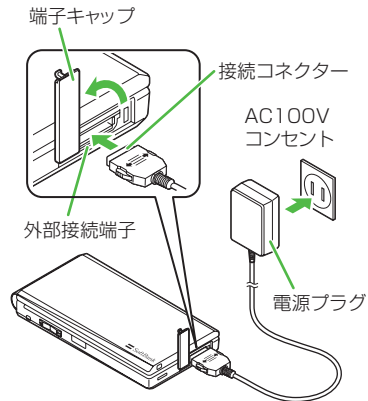
取り外す

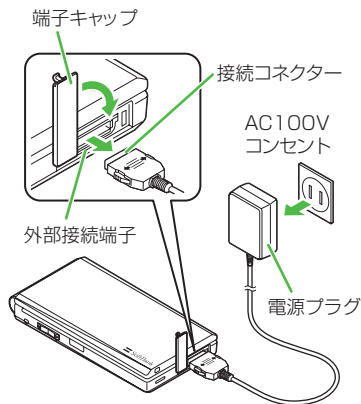
電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器を接続していない状態で行ってください。

1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる

2 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す

3 電池パックを持ち上げて、取り外す

電池パックを充電する

- 電源が入っているときは、ディスプレイの電池アイコンで電池の充電状態が確認できます。充電中は■→■→■のように残量表示が変わり、充電が完了すると■が点滅します。電源を切っているときは、充電が開始されるとディスプレイに「充電中…」と表示され、完了すると、「充電が完了しました」と表示されます。また、充電中は着信ライトが青色で点灯します。
- 充電にかかる時間は、約120分です。時間は本機の電源をOFFにした状態で充電した場合の目安です。周囲の温度によっても変わります。

急速充電器を利用して充電する

1 端子キャップを開き、外部接続端子に急速充電器の接続コネクターを差し込む

2 急速充電器の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

3 充電が終わったら、本機から急速充電器の接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、電源プラグをAC100Vコンセントから抜く

パソコンのUSBポートを利用して充電する

USBケーブルでパソコンと接続することにより、本機を充電できます。

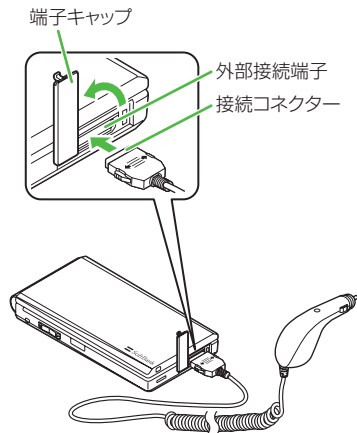
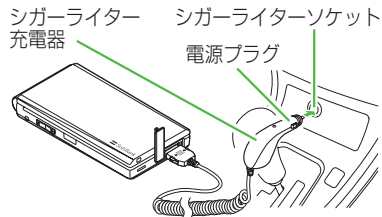
1 端子キャップを開き、外部接続端子にUSBケーブルの接続コネクターを差し込む

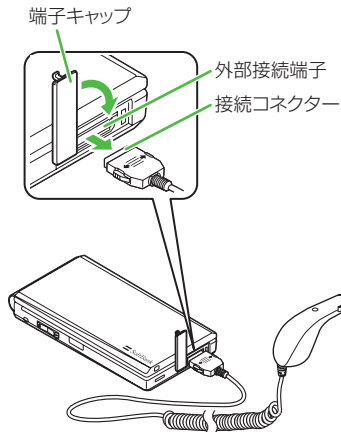
2 USBケーブルのUSBコネクターをパソコンのUSBポートに差し込む

3 充電が終わったら、本機から接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、USBケーブルのUSBコネクターをUSBポートから抜く

- 急速充電器を利用するときよりも、充電完了まで時間がかかります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。電池がほとんど残っていない場合、充電できないことがあります。

シガーライター充電器(オプション品)を利用して充電する

1 端子キャップを開き、外部接続端子に接続コネクターを差し込む

❷ シガーライターソケットに電源プラグを差し込む

❸ 車のエンジンをかける

❹ 充電が終わったら、本機から接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、プラグをシガーライターソケットから抜く

- シガーライター充電器をお使いになる場合、操作方法などについてはシガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。充電するときは、本機を固定させるため、車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

注意

- 炎天下で高温になった自動車内では充電しないでください。
- シガーライター充電器はマイナスアース車専用(12V/24V両用)です。

電源を入れる／切る

電源を入れる

❶ [電源キー]を画面が表示されるまで押し続ける

待受画面

- お客様の電話番号を確認するには、[■]→[0]を押します。オーナー情報の一部としてお客様の電話番号が表示されます。オーナー情報は編集できます(➔P.1-14)。
- 操作をしない状態が続くと電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。バックライトの点灯時間は変更できます(➔P.13-14)。

- お買い上げ後、初めて[■]、[✉]、[Y!]などを押してネットワーク接続が必要となる機能を起動すると、ネットワーク自動調整をうながす確認メッセージが表示されます。「はい」を選択し、画面の指示に従ってネットワーク自動調整を行ってください。
  - USIMカードを交換したときや、「オールリセット」を行ったときにも確認メッセージが表示されます。
  - ネットワーク自動調整を行うと、日付／時刻が設定されます。また、メールやYahoo!ケータイなどネットワークを利用するサービスがお使いいただけます。
  - ネットワーク自動調整は、手動で行うこともできます(➔P.13-23)。
  - 本書では、ことわりがない限り、日付／時刻が設定されている状態での操作を説明しています。

電源を切る

1 **[電源]を画面が消えるまで押し続ける**

- 終了画面が表示されたあと、電源が切れます。

注意

- 電源を切るときは、必ず[電源]を画面が消えるまで押し続けて正常に終了してください。

自分の電話番号など(オーナー情報)の確認／編集

本機のUSIMカードに登録されている電話番号を確認したり、オーナー情報として名前、メールアドレスなどを登録できます。

自分の電話番号などを確認する

登録されている自分の電話番号など(オーナー情報)を確認できます。

- お買い上げ時の設定では、ご契約の電話番号のみが登録されています。
- オーナー情報表示中に電話番号以外を反転表示して[✉](編集)を押すと、電話番号以外のオーナー情報を編集することができます。
- 待受画面で[■]→「電話機能」→「オーナー情報」を選択しても確認することができます。

オーナー情報を編集する

ここでは例として、本機に姓名、電話番号、Eメールアドレスを登録します。

- 他の項目については、「電話帳に情報を登録したい」(➔P.2-22)を参照してください。

1 **[■]→[0]**

2 **[✥]→[✉](編集)**

3 **名前／姓欄を選択→名字を入力**

4 **名前／名欄を選択→名前を入力**

5 **ヨミガナ／姓欄を選択→必要に応じて名字のヨミガナを編集**

6 ヨミガナ／名欄を選択→必要に応じて名前のヨミガナを編集

7 電話番号欄を選択→電話番号を入力→アイコンを選択

8 Eメールアドレス欄を選択→Eメールアドレスを入力→アイコンを選択

9 ✉（保存）

- 文字の入力方法については「文字入力」（➔P.2-8）を参照してください。
- お買い上げ時の設定では、ご契約の電話番号のみが登録されています。この電話番号は、変更できません。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.1-22

- オーナー情報をvファイルに変換して送信したい
- オーナー情報をリセットしたい
- vファイルを作成してオーナー情報をデータフォルダに保存したい
- オーナー情報の項目をコピーしたい

持ち運ぶときのご注意（ボタンのロック）

本機を鞄やポケットに入れて持ち運ぶときなどに誤動作しないよう、ボタンをロックすることができます。
誤動作防止の設定は、待受画面を表示中に操作します。

1 ■（1秒以上）
- 誤動作防止が設定されます。

- 誤動作防止を設定するとディスプレイ上部に▣が表示されます。ボタン操作すると、誤動作防止を解除するためのガイダンスが表示されます。
- 誤動作防止を解除するには、ガイダンスが表示されている間に■を1秒以上押します。

待受画面の見かた

待受画面では、操作したい機能をショートカットボタンやスイッチバーから呼び出すことができます（➔P.2-3）。また、データフォルダに保存した静止画を壁紙に設定することができます（➔P.11-15）。

マナーについて

携帯電話は、マナーを守ってご使用ください。

- 劇場や映画館、美術館などでは、電源を切っておきましょう。
- 航空機内※や病院など、使用を禁止された区域では、電源を切っておきましょう。
  ※ 機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

本機には、マナーを守るための2つのモードが用意されています。

- 電波Offモード
  電波の送受信を停止するモードです。通信以外の操作はできます。

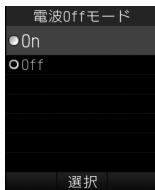
- マナーモード

  着信音や操作音などをミュートまたはバイブレータにするモードです。マナーモードは、ワンタッチで設定／解除できます。

  マナーモード以外に、着信音や操作音などが設定されたモードとして、通常モード、運転中モード、会議モード、アウトドアモードがあります。

- 電波Offモードやマナーモードを利用して着信音をミュートにしたり、バイブレータにしたりする方法の他にも、着信の種類（音声電話、S!メールなど）ごとに個別に着信音量、バイブレータを設定することもできます（➔P.13-12）。

電波Offモードを設定／解除する

❶ ■→「設定」→「通話設定」→「電波Offモード」→「On」／「Off」

- 電波Offモード中に電源を切ると、電源を入れ直したときに、電波Offモードのまま電源を入れるかどうかを確認するメッセージが表示されます。Y!（いいえ）を押すと、通常モードで電源が入ります。

マナーモードを設定／解除する

簡単な操作で現在設定中のモードからマナーモードを設定／解除できます。

❶ #（1秒以上）

- マナーモード中はディスプレイ最上段にが表示されます。
- マナーモードを設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
- マナーモードを解除する場合は、設定と同様に#を1秒以上押します。解除すると、マナーモードを設定する前に設定していたモードに戻ります。

モードを切り替える

マナーモードを含む5種類の中から選択できます。

1. [*A/a ﾟ゜絵](1秒以上)
2. 「通常モード」/「マナーモード」/「運転中モード」/「会議モード」/「アウトドアモード」

モードは使用状況に合わせて選択し、必要に応じて設定を編集してご利用ください(➔P.1-17)。

モード	内容
通常モード※	本機から出る音を気にせずに使える状況に適したモード
マナーモード	本機から音を出さないモード
運転中モード	車の運転中にも使えるモード
会議モード	着信音や効果音が、あらかじめミュートに設定されているモード
アウトドアモード	着信音や効果音が、あらかじめ最大音量に設定されているモード

※ 通常モードのアイコンは、ディスプレイには表示されません。

各モードのお買い上げ時の設定

お買い上げ時に、各モードに設定されている音量や着信音などを次の表に示します。音声電話やメールを受けたときの各モードの着信設定を変更できます(➔P.13-22)。

設定項目＼モード		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
音量						
	音声着信	レベル3	–	–	Off	レベル5
	メール着信	レベル3	–	–	Off	レベル5
	着信お知らせ機能	レベル3	–	–	Off	レベル5
	配信確認	レベル3	–	–	Off	レベル5
	操作音	レベル3	–	–	Off	レベル5
着信音（上段：着信音選択、下段：鳴動時間）						
	音声着信	Samsung Tune.mp4	–	–	Samsung Tune.mp4	Samsung Tune.mp4
	メール着信	Samsung Tune.mp4 5秒	–	–	Samsung Tune.mp4 5秒	Samsung Tune.mp4 5秒
	着信お知らせ機能	BusinessTone.mp4 5秒	–	–	BusinessTone.mp4 5秒	BusinessTone.mp4 5秒
	配信確認	BusinessTone.mp4 5秒	–	–	BusinessTone.mp4 5秒	BusinessTone.mp4 5秒
バイブ						
	音声着信	Off	パターン1	–	Off	Off
	メール着信	Off	パターン1	–	Off	Off
	着信お知らせ機能	Off	パターン1	–	Off	Off
	配信確認	Off	パターン1	–	Off	Off
操作音／効果音[1]						
	ボタン確認音	Off	–	–	Off	Off
	効果音	個別設定On	通話中イベント通知	–	通話中イベント通知	個別設定On

設定項目＼モード			通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
着信ライト							
	着信時ライト						
		音声着信	On	On	On	On	On
		メール着信	On	On	On	On	On
		着信お知らせ機能	On	On	On	On	On
		配信確認	On	On	On	On	On
	通知ライト						
		不在着信	On	On	On	On	On
		メール着信	On	On	On	On	On
		簡易留守録	On	On	On	On	On
		着信お知らせ機能	On	On	On	On	On
		アラーム[2]	On	On	On	On	On
		配信確認	On	On	On	On	On
簡易留守録			Off	On	–[3]	Off	Off

1 マナーモードでは「効果音」の設定となります。「操作音」の設定はありません。

2 見逃してしまったスケジュール（➔P.9-4）または予定リスト（➔P.9-8）をお知らせする通知ライトについての設定です（通常のアラーム（➔P.9-5）や、スケジュール・予定リストのアラーム動作時のライトの設定ではありません）。

3 「運転中モード」に設定すると、自動的に簡易留守録が「On」に設定されます。

使いこなしチェック!

設定

- ボタン確認音を設定する（☞P.13-12）
- 効果音を設定する（☞P.13-12）
- 着信中に照明の点滅でお知らせする（☞P.13-12）
- 不在時に着信などがあったことを照明の点滅でお知らせする（☞P.13-13）
- 電波Offモードを設定する（☞P.13-21）
- マナーモードを切り替える（☞P.13-22）

暗証番号の取り扱い

本機のご使用にあたっては、「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号」「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号

お買い上げ時は「9999」に設定されています。本機の各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「*」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いのメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 操作用暗証番号は、本機の操作で変更できます（➔P.10-3）。

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。ご契約内容の変更や、オプションサービスを一般電話から操作するときなどに必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。本機で発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（➔P.14-24）までご連絡ください。

- 発着信規制用暗証番号は、本機の操作で変更できます（➔P.3-23）。

注意

- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（➔P.14-24）までご連絡ください。
- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

PINコード

USIMカードには、「PINコード」と「PIN2コード」の2つの暗証番号があります。

PINコード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- PINコードは変更できます(➔P.10-3)。
- 「PIN認証」を「On」に設定すると、USIMカードを本機に取り付けて電源を入れたとき、PINコードを入力しないと本機を使用できなくなります(➔P.10-4)。

PIN2コード

累積通話料金のリセットや、通話料金の上限設定を行うときに使用する4～8桁の暗証番号です。

- PIN2コードは変更できます(➔P.10-3)。

PINロック解除コード(PUK/PUK2コード)

PINロック解除コード(PUKコード)とは、PINロック状態を解除するために使用する暗証番号です。PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロック状態になります。
PINロック解除コードについては、お問い合わせ先(➔P.14-24)までご連絡ください。

注意

- PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、本機を使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先(➔P.14-24)までご連絡ください。

USIM照合用パスワード

USIMパスワードとは、USIMカードの認証に使用する専用のパスワードです。
USIMパスワードが一致すれば、他のUSIMカードでも本機を使用できます。
USIMパスワードは、「USIM照合」を「On」に設定するたびに変更できます。

便利な機能

便利

オーナー情報に関する便利な機能

オーナー情報の内容を編集したい

■→0→✥→✉(編集)→(➔P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

オーナー情報をvファイルに変換して送信したい **[送信]**

■→0→Y!→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→(➔P.4-4 S!メールを作成･送信する❷)

■ **赤外線通信で送信するとき**

「赤外線通信」(➔P.12-4)

オーナー情報をリセットしたい **[リセット]**

■→0→Y!→「リセット」→「はい」

- USIMカードに登録されている電話番号を除くすべてのオーナー情報がリセットされます。

vファイルを作成してオーナー情報をデータフォルダに保存したい **[データフォルダに保存]**

■→0→Y!→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

オーナー情報の項目をコピーしたい **[項目コピー]**

■→0→コピーしたい項目を反転表示→Y!→「項目コピー」

- コピーした内容は、文字入力画面に貼り付けることができます。

オーナー情報のEメールアドレスにメールを送りたい

■→0→Eメールアドレスを反転表示→■(送信)→(➔P.4-4 S!メールを作成･送信する❺)

共通機能／共通操作

共通機能と共通操作について

本機には、電話、メールなど様々な機能があります。
この章では、これらのたくさんの機能をお使いいただくために、機能の呼び出しかたや文字の入力方法など、本機をお使いいただくうえで共通して使う機能について説明しています。

様々な方法で機能を呼び出す

スイッチバーなどを使うと、本機の機能を簡単に呼び出すことができます(➔P.2-3)。

文字の入力方法

日本語、英語、ハングルを入力できます(➔P.2-8)。

着信時の動作設定

着信音の設定やバイブレータの設定など、着信時の動作を設定できます(➔P.2-6)。

電話帳

ご家族やお友達など、よく電話やメールをする相手の電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録できます(➔P.2-14)。

機能の呼び出しかた

本機には、機能の呼び出しかたとして次の3つの方法を用意しています。
1つの機能でもいろいろな呼び出しかたができるので、簡単に機能をご利用いただけます。

- スイッチバー
- メインメニュー
- ショートカットボタン

スイッチバーで機能を呼び出す

「発信」「メール」「Yahoo!ケータイ」「メディアプレイヤー」を呼び出すことができます。スイッチバーを使うと、通話中にインターネットを利用するなど、複数の機能を切り替えながら利用できます。

1 待受中または操作中に

2 で目的の機能を反転表示→（選択）

- 起動中の機能を1つ終了するときは、終了する機能の画面を表示中にを押します。
- 起動中の機能をすべて終了するときは、スイッチバーのを反転表示して（はい）を押します。

- 起動中の機能をすべて終了するときに、機能によっては終了するかどうかの確認メッセージが表示されることがあります。確認メッセージが表示されたときは、「はい」または「いいえ」を選択して終了します。
- メール作成中に他の機能を起動し、起動中の機能をすべて終了すると、他の機能を終了してメール作成画面に戻ります。
- 文字入力画面ではスイッチバーを表示させることはできません。

メインメニューから機能を呼び出す

本機のすべての機能は、このメインメニューから使うことができます。

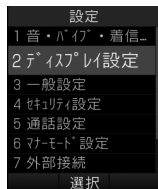
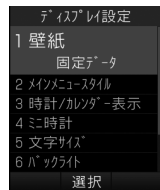
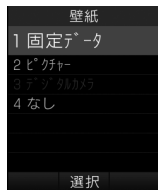
1 待受中に

メインメニュー画面

2 目的の項目を反転表示→（選択）

③ 操作②を繰り返して、目的の機能を呼び出し

〈例〉「壁紙」を変更する場合
「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」

「設定」を反転表示
→■（選択）

「ディスプレイ設定」を反転表示
→■（選択）

「壁紙」を反転表示
→■（選択）

壁紙の設定画面が表示される

- 操作を1つ前の状態に戻すには、CLEARを押します。
- メニュー操作を終了するには、終話ボタンを押します。終話ボタンを押すと待受画面に戻ります。ただし、複数の機能を同時に使っている場合は、起動中の他の機能に切り替わります。
- メニュー操作を途中でやめるには、終話ボタンを押します。設定中の内容を破棄して待受画面やもとの画面に戻ります。ただし、メニューによっては内容を破棄するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- メニュー項目画面や一覧画面に「1」「2」などの項目番号が表示されている場合は、この数字のダイヤルボタンを押すことにより、項目を選択できます。

待受中にショートカットボタンで機能を呼び出す

待受画面でショートカットボタンを押して、機能を呼び出すことができます。

ボタン	呼び出される機能
メールボタン	メールメニュー
メールボタン（1秒以上）	S!メールの作成
Y!ボタン	Yahoo!ケータイのメインメニュー
Y!ボタン（1秒以上）	Yahoo!ケータイメニュー
文字ボタン	ミュージックの一覧画面
文字ボタン（1秒以上）	メディアプレイヤーの音楽再生画面
スイッチボタン	スイッチバー
■（1秒以上）	誤動作防止の設定／解除
上ボタン	カレンダー
下ボタン	電話帳の検索
下ボタン（1秒以上）	電話帳の登録
左ボタン	着信履歴
右ボタン／発信ボタン	発信履歴
CLEAR	録音メッセージの再生

ボタン	呼び出される機能
CLEAR（1秒以上）	簡易留守録の設定／解除
＊（1秒以上）	マナーモード設定画面
＃（1秒以上）	マナーモードの設定／解除
▲／▼	受話音量の調節

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-21

共通の操作

メニューを呼び出す

画面の右下に「メニュー」と表示されているときに Y! を押すと、メニューが表示されます。
メニューを実行するには、目的の項目を反転表示して ■（選択）を押します。

複数の項目を選択／選択解除する

削除や移動などの操作を行うときに「複数」などを選択すると、複数の項目を選択できます。
表示された画面で項目を反転表示して ■（選択）を押すと、項目の横に表示されている □ にチェックが入り ☑ になります。この操作を繰り返して複数の項目を選択します。チェックが入っている項目を反転表示して ■（選択）を押すと、選択解除できます。
すべての項目を選択／選択解除するには Y!（全チェック）／ Y!（全解除）を押します。

この取扱説明書では、複数の項目を選択する操作を「（項目を）チェックする」と表記します。

- 機能により、行える操作が異なります。
- 複数削除する場合にすべての項目を選択したときは、全件削除と同様に操作用暗証番号の入力が必要になります。

着信時の動作の設定

音声電話やメールなど、着信の内容ごとに着信音、着信音量、バイブレータの振動パターンを設定できます。
着信の内容ごとに設定を変えれば、着信音を聞くだけで(バイブレータの振動パターンだけで)、どの着信かを区別できます。

着信音量を設定する

着信音の音量を0(ミュート)～5の6段階で調整できます。

1. ■→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」→「音量」
2. 変更する着信の種類を選択

3. ✥で音量を調節

着信音を設定する

お買い上げ時にすでに本機に登録されている着信音の他にも、インターネットからダウンロードした着信音や着うた、ムービーなどを設定できます。

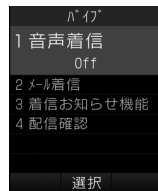
1. ■→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」→「着信音」
2. 変更する着信の種類を選択

3. 着信音の種類を選択
4. 着信音データを選択

着信音データを反転表示→✉(再生)を押すと、データが再生されます。

バイブレータを使う／解除する

着信時のバイブの振動パターンをOff、パターン1～パターン5の6種類から設定できます。

1. ■→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」→「バイブ」
2. 変更する着信の種類を選択

3. バイブの選択操作

■ バイブを使わないとき
「Off」

■ バイブのパターンから選択するとき
「パターン1」～「パターン5」

バイブのパターンを反転表示→✉(再生)を押すと、バイブの震動パターンを確認できます。

使いこなしチェック!

設定

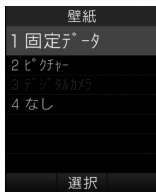
- 音量を設定する(☞P.13-12)
- 音声電話の着信音を設定する(☞P.13-12)
- 電話以外の着信音を設定する(☞P.13-12)
- 電話以外の着信鳴動時間を設定する(☞P.13-12)
- 待ちうた™を探す(☞P.13-12)
- 待ちうた™を設定する(☞P.13-12)
- 待ちうた™の開始/解約を設定する(☞P.13-12)
- 待ちうた™の説明を確認する(☞P.13-12)
- バイブレータを設定する(☞P.13-12)

待受画面

自分で撮影したお気に入りの写真などで、待受画面をお好みに設定できます。

ディスプレイの壁紙を設定する

データフォルダに保存されている静止画などを壁紙に設定できます。また、静止画を表示しないように設定することもできます。

1 ■→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」

2 壁紙の設定操作

■ **データフォルダの画像を設定するとき**

ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→■(設定)

■ **表示しないように設定するとき**

「なし」

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-21

設定

- ディスプレイの壁紙の設定を変更する(☞P.13-13)
- メインメニューの設定を変更する(☞P.13-13)
- 待受画面に表示する情報を設定する(☞P.13-13)
- 待受画面の時計の表示を設定する(☞P.13-13)
- ディスプレイの明るさを調整する(☞P.13-14)
- 待受中にダイヤル入力したときの文字タイプを設定する(☞P.13-14)
- 待受中にダイヤル入力したときの文字サイズを設定する(☞P.13-14)
- 待受中にダイヤル入力したときの文字色を設定する(☞P.13-14)
- 待受中にダイヤル入力したときの背景色を設定する(☞P.13-14)
- 事業者名の表示設定をする(☞P.13-14)

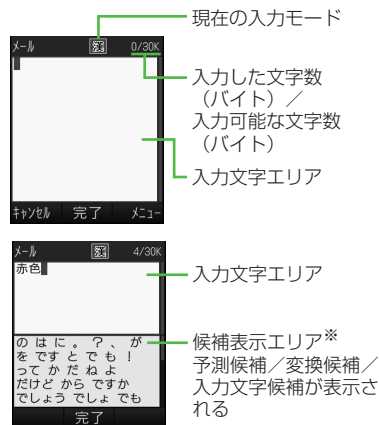
- ディスプレイの表示言語を切り替える（☞P.13-15）
- タイムゾーンの更新の設定をする（☞P.13-15）
- タイムゾーンを変更する（☞P.13-15）
- サマータイムを設定する（☞P.13-15）
- 時刻を設定する（☞P.13-15）
- 「AM」／「PM」を設定する（☞P.13-15）
- 日付を設定する（☞P.13-15）
- 時刻の表示形式を変更する（☞P.13-15）
- 日付の表示形式を変更する（☞P.13-15）

文字入力

漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字、顔文字、ハングルを入力できます。

表示	入力モード	表示	入力モード
漢	漢字／かな（➔P.2-9）	※	全角記号（➔P.2-10）
カ	全角カタカナ（➔P.2-10）	#@	半角記号（➔P.2-10）
ｶﾅ	半角カタカナ（➔P.2-10）	絵	絵文字（➔P.2-11）
A	全角英字（➔P.2-10）	顔	顔文字（➔P.2-11）
Ab	半角英字（➔P.2-10）	韓	ハングル（➔P.2-12）
1	全角数字（➔P.2-10）	a	全角英字（小文字）（➔P.2-10）
12	半角数字（➔P.2-10）	ab	半角英字（小文字）（➔P.2-10）

入力モードの切り替えについては、「入力モードを切り替える」（➔P.2-9）を参照してください。

文字入力画面の見かた

※ 候補表示エリアは、全角および半角のカタカナ、英字、数字の各入力モードでは表示されません。予測入力の機能を解除すると、漢字／かな入力モードでは✉（変換）やY!（英数カナ）で文字を変換したときに表示されます。

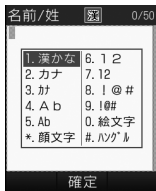
- 日時設定やアラームの時刻設定など数字しか入力できない場合は、文字入力画面には切り替わりません。登録、設定画面の入力欄に数字を直接入力します。
- 文字の入力中や編集中に音声電話がかかってきたときは、そのまま応答してください。通話が終了すると、もとの文字入力画面に戻ります。アラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させるともとの画面に戻ります。

文字入力の流れ

入力モードの選択→文字入力→予測変換→候補を選択

入力モードを切り替える

入力モード(漢字／かな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字、顔文字、ハングル)を切り替えます。

1 文字入力画面で[文字]

2 切り替えたい入力モードを選択

- 文字入力画面で[#]を押すと記号、[*]を押すと絵文字、顔文字に切り替わります。

ひらがな／漢字を入力する

候補表示エリアに表示される予測候補を使って簡単に入力できます。予測候補を使わずに、入力したひらがなを目的の文字に変換することもできます。候補表示エリアにカタカナや絵文字などが表示されたときは、これらの文字も入力できます。
ここでは例として、「鈴木」と入力します。

1 文字入力画面で[文字]

2 「漢かな」

3 [3](3回)

- 「す」と入力されます。

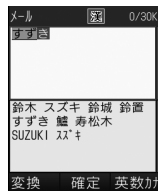
4 [→]→[3](3回)→[*]

- 「ず」と入力されます。

5 [2](2回)

- 「き」と入力されます。

6 [■]

2 共通機能／共通操作

7 予測候補から「鈴木」を反転表示→■（確定）

- 「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるひらがなを入力したあと、[＊]を押します。
- ボタンを押し間違えた場合は、[CLEAR]を押して文字を消し、もう一度ボタンを押します。
- ボタンを押しすぎた場合は、[⌐]を押すと、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻ります。
- 続けて同じボタンの文字を入力する場合は、[▶]を押してカーソルを右に移動します。
- ひらがなで決定する場合は、文字を入力したあと、■（確定）を押します。
- 目的の予測候補が表示されていない場合は、[✉]（変換）→必要に応じて[◀▶]で変換する範囲を変更→[▼]でカーソルを候補表示エリアに移動→目的の変換候補を反転表示→■（確定）→同じ操作を繰り返してすべての文字を決定する操作をします。
- 目的の漢字に変換されないときは、漢字の読みかたを変えて入力してください。一度に変換できない2文字以上の漢字は、変換する範囲を1文字に変更して変換してください。
- 候補表示エリアに予測候補が表示されているときに[✉]（変換）を押すと変換候補が、変換候補が表示されているときに[✉]（予測）を押すと予測候補が表示されます。

カタカナ／英字／数字を入力する

1 文字入力画面で[文字]

2 入力モードを選択

3 文字を入力

- 「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるカタカナを入力したあと、[＊]を押します。
- 英字入力モードで文字を入力したあとに[＊]を押すと、大文字と小文字が切り替わります。
- ボタンを押し間違えた場合は、[CLEAR]を押して文字を消し、もう一度ボタンを押します。
- ボタンを押しすぎた場合は、[⌐]を押すと、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻ります。
- 続けて同じボタンの文字を入力する場合は、[▶]を押してカーソルを右に移動します。
- 漢字／かな入力モードで、文字を入力して[Y!]（英数カナ）を押すとカタカナ／英字／数字に変換できます。例として、「くも」と入力して[Y!]（英数カナ）を押すと、カタカナの「クモ」や英字の「C」、数字の「22277777」が変換候補として表示されます。また入力した文字の条件によっては、時刻や日付も変換候補として表示されます。

記号を入力する

￥や!などの記号を入力できます（➔P.14-10）。

1 文字入力画面で[＃記号]

- 入力したい記号が表示されるまで[＃記号]／[Y!]（次ページ）を押します。

2 候補表示エリアで目的の文字を反転表示→■（選択）

- 続けて記号を入力できます。記号入力をやめるときは、[CLEAR]を押します。

- 全角記号を一度入力すると履歴が残り、候補表示エリアの記号の前に履歴が表示されます。[＃記号]を押すごとに、全角記号の履歴→全角記号→半角記号の順で候補が表示されます。ただし、入力モードが半角カタカナ、半角英字、半角数字、ハングルの場合は、候補の表示は全角記号の履歴→半角記号→全角記号の順になります。

- 漢字／かな入力モードで、文字を入力して[変換キー](変換)を押すと記号に変換できます。例として、「てん」と入力して[変換キー](変換)を押すと、記号の「・」や「･･･」が変換候補として表示されます。

絵文字／顔文字を入力する

絵文字の入力だけでなく、記号を組み合わせることで顔文字の入力も行うことができます(➔P.14-11)。

1 文字入力画面で[*キー]

- 入力したい絵文字(顔文字)が表示されるまで[*キー]／[Y!キー](次ページ)を押します。

2 候補表示エリアで目的の文字を反転表示→[■](選択)

- 続けて絵文字／顔文字を入力できます。絵文字／顔文字入力をやめるときは、[CLEAR]を押します。

- メール本文／件名の入力画面では、絵文字の候補表示エリアで[キー]を押すと、「他社共通絵文字」と「全絵文字」を切り替えることができます。「他社共通絵文字」は、他社携帯で共通して使える絵文字を使う場合に選択します。
- 絵文字を一度入力すると履歴が残り、候補表示エリアの絵文字の前に履歴が表示されます。[*キー]を押すごとに、絵文字の履歴→絵文字→顔文字の順で候補が表示されます。
- 漢字／かな入力モードで、「はーと」や「でんわ」と入力して絵文字に変換できます。同様に、「わーい」や「えーん」などを顔文字に変換することもできます。

改行する

改行の操作は、どの入力モードでも同じです。

1 文字入力画面で[#キー]

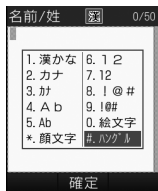
2 改行記号を反転表示→[■](選択)

- 文末で[キー]を押しても改行できます。

- メールの件名入力画面など、画面によっては、改行の操作ができない場合があります。

ハングルを入力する

1 文字入力画面で[文字]

2 「ハングル」

3 文字を入力

- 画面に表示された文字に対応する数字を押して、子音と母音を組み合わせて文字を入力します。

子音の入力例	
ㄱ	[4](1回押す)
ㅋ	[4](2回押す)
ㄲ	[4](3回押す)
母音の入力例	
아	[0][1](ㅣ)、[2](・)
어	[0][2](・)、[1](ㅣ)
오	[0][2](・)、[3](ー)
야	[0][1][2][2]
여	[0][2][2][1]
요	[0][2][2][3]
왜	[0][2](・)、[3](ー)、[1](ㅣ)、[2](・)、[1](ㅣ)

- S!メールでは受信したメールのハングルを表示できますが、S!メールの入力画面でハングルを入力することはできません。

メールアドレス／URLの一部を簡単に入力する

メールなどの一部の文字入力画面で、メールアドレスやURLの一部を簡単に入力することができます。

1 文字入力画面で[Y!]→「簡単アドレス入力」

2 目的のメールアドレス／URLの一部を選択

文字を消去／編集する

1 消去する文字に[方向キー]でカーソルを合わせ[CLEAR]

- カーソル上に文字がない場合は、カーソルの左側の1文字が消去されます。
- カーソル以降の文字をすべて消去するには、[CLEAR]を1秒以上押します。カーソル以降に文字がない場合は、すべての文字が消去されます。
- [終話]を押すと、文字入力を終了するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-21

- 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい
- コピー／カットした文字を貼り付けたい
- 文字をもとに戻したい
- カーソルを先頭／最後に移動したい
- 予測入力機能や学習機能などの設定をしたい

設定

- 文字入力画面の文字サイズを変更する（☞P.13-14）
- 文字入力履歴をリセットする（☞P.13-16）

ユーザ辞書

よく使う単語や文（最大20文字）をユーザ辞書に登録しておくと、「読み」を入力しただけで目的の単語や文が候補表示エリアに表示され、入力が簡単になります。

ユーザ辞書を編集する

1 [■]→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「新規登録」

2 語句欄を選択→単語や文を入力

3 読み欄を選択→文字を入力

4 [✉]（保存）

入力した文字をユーザ辞書に登録する

1 文字入力画面で[Y!]→「ユーザ辞書登録」

2 登録する文字の先頭に[方向キー]でカーソルを合わせ、[■]（始点）

- 現在登録されている単語を確認するときは、[Y!]（ユーザ辞書）→「辞書編集」を選択します。

3 [方向キー]で範囲を指定→[■]（終点）

4 読み欄を選択→文字を入力

5 [✉]（保存）

- 改行を含む範囲を指定すると、改行前までの文字列が語句に登録されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-22

● ユーザ辞書の登録内容を削除したい

設定

● ユーザ辞書を登録する（☞P.13-16）

● ユーザ辞書の登録内容を編集する（☞P.13-16）

● ユーザ辞書の登録内容を削除する（☞P.13-16）

電話帳

本機には最大1,000件の電話帳を登録できます。USIMカードに登録できる件数は、カードの種類によって異なります。USIMカードの電話帳は、カードを差し替えることにより、他のソフトバンク携帯電話でも利用できます。

1件の電話帳に登録できる内容は次のとおりです。

項目／内容		登　録
名前／姓		
	全角／半角文字（USIMカードには「名前」として登録）	740SC本体:○（50バイトまで）
		USIMカード:○[1]
名前／名		
	全角／半角文字（USIMカードには「名前」として登録）	740SC本体:○（50バイトまで）
		USIMカード:○[1]
ヨミガナ／姓		
	半角文字（USIMカードには「ヨミガナ」として登録）	740SC本体:○（50バイトまで）
		USIMカード:○[1]
ヨミガナ／名		
	半角文字（USIMカードには「ヨミガナ」として登録）	740SC本体:○（50バイトまで）
		USIMカード:○[1]
電話番号		
	市外局番も含めて登録	740SC本体:○（32バイトまでで5件）
		USIMカード:○[1 2]
電話番号アイコン		
	7種類から選択	740SC本体:○
		USIMカード:○[3]
Eメールアドレス		
	半角英数字	740SC本体:○（128バイトまでで5件）
		USIMカード:○[1]（1件）
Eメールアドレスアイコン		
	4種類から選択	740SC本体:○
		USIMカード:×（1種類のみ）

項目／内容		登　録
フォト		
	音声電話の着信時に表示させる画像。データフォルダからの選択やカメラでの撮影が可能	740SC本体:○
		USIMカード:×
着信音		
	音声電話／メール着信音。データフォルダからの選択が可能	740SC本体:○
		USIMカード:×
バイブ		
	音声電話／メールのバイブレータを設定	740SC本体:○
		USIMカード:×
グループ		
	「グループなし」を含めた21種類の中から選択	740SC本体:○
		USIMカード:○[2]
シークレットモード		
	On/Off	740SC本体:○
		USIMカード:×
誕生日		
	生年月日	740SC本体:○
		USIMカード:×

項目／内容		登　録
血液型		
	4種類から選択	740SC本体:○
		USIMカード:×
趣味		
	100バイトまで	740SC本体:○
		USIMカード:×
会社		
	64バイトまで	740SC本体:○
		USIMカード:×
役職		
	64バイトまで	740SC本体:○
		USIMカード:×
住所		
	郵便番号は40バイトまで、国名は64バイトまで、都道府県名、市町村名、番地、追加情報は128バイトまで	740SC本体:○(2件)
		USIMカード:×

項目／内容		登　録
住所アイコン		
	2種類から選択	740SC本体:○
		USIMカード:×
ホームページ		
	1024バイトまで	740SC本体:○(2件)
		USIMカード:×
ホームページアイコン		
	3種類から選択	740SC本体:○
		USIMカード:×
メモ		
	512バイトまで	740SC本体:○
		USIMカード:×

1 登録できる文字数は、USIMカードの種類によって異なります。

2 登録できる件数は、USIMカードの種類によって異なります。

3 登録できるアイコンの種類は、USIMカードの種類によって異なります。

- 電話帳が登録されている別のUSIMカードに差し替えた場合、差し替えて初めて電話帳を利用するときに、USIMカードの電話帳の内容を本機にコピーするかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとコピーが開始されます。

注意

- 大切なデータを失わないために
電話帳に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳の見かた

本機の電話帳に登録した各項目(➔P.2-14)は3つのタブに分かれています。
タブを切り替えることで情報を確認することができます。

1 [キー]→電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→[キー]で各項目のタブを切り替え

タブ	項目
[電話/@]	ヨミガナ
	電話番号
	Eメールアドレス

タブ	項目
[人物/音符]	フォト
	着信音
	バイブ
	グループ
	シークレットモード
	誕生日
	血液型
	趣味
[会社/家]	会社
	役職
	住所
	ホームページ
	メモ

2 共通機能/共通操作

電話帳に登録する

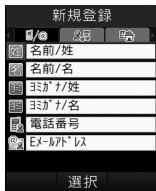
電話帳は、740SC本体とUSIMカードに保存できます。お買い上げ時の電話帳の保存先は「本体」です。USIMカードに保存するには、保存先設定を変更します(➲P.13-11)。
ここでは、電話帳を新規に登録する方法と通話履歴から登録する方法について説明します。

新規に電話帳を登録する

本機に姓名、ヨミガナ、電話番号、Eメールアドレスを登録します。

- 他の項目については、「電話帳に情報を登録したい」(➲P.2-22)を参照してください。

1 □→✉(新規)

- 保存先設定(➲P.13-11)が「毎回確認」に設定されている場合、保存先を確認するメッセージが表示されます。「本体」/「USIM」を選択します。

電話帳の登録画面

2 名前/姓欄を選択→名字を入力

3 名前/名欄を選択→名前を入力

4 ヨミガナ/姓欄を選択→必要に応じて名字のヨミガナを編集

5 ヨミガナ/名欄を選択→必要に応じて名前のヨミガナを編集

6 電話番号欄を選択→電話番号を入力→アイコンを選択

7 Eメールアドレス欄を選択→Eメールアドレスを入力→アイコンを選択

8 ✉(保存)

- 電話番号には、0〜9の数字の他、#、✽、P(ポーズ)、-、+(国際コード)を登録できます。✽、P、- は[✽]を押すごとに切り替わります。+を入力するには、[0]を1秒以上押します。
- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- Samsung New PC Studioで電話帳を同期すると、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、同期されません(パソコン側にバックアップされません)。「シークレットモード-Off」から「シークレットモード-On」に変更した電話帳は、「シークレットモード-On」に設定して同期した時点から同期されなくなります。パソコン側でも削除されます。Samsung New PC Studioについては、SAMSUNG ホームページ(http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/740download.html)からダウンロードしてご利用いただけます。

通話履歴から電話帳を登録する

通話履歴に記録されている電話番号を新規登録したり、既存の電話帳へ追加登録したりできます。

1 （着信履歴）／（発信履歴）

2 登録したい通話履歴を選択→→「電話帳登録」

3 電話帳の登録操作

■ **新しい電話帳に登録するとき**

「新規」→（➔P.2-17 新規に電話帳を登録する②）

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**

「更新」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→電話帳の登録操作（➔P.2-17 新規に電話帳を登録する②）

電話帳を検索する

本機では、「あかさたな」、「ヨミガナ」、「グループ」の検索方法で電話帳を検索できます。

1

電話帳の一覧画面

2 →「設定」→「検索方法」

3 「あかさたな」／「ヨミガナ」／「グループ」

- 変更した検索方法の設定は保存されます。

4 電話帳を検索

■ **「あかさたな」を選択したとき**

電話帳が五十音、英字、ハングル、数字のタブに分かれて表示されます。

で目的の行に切り替え→で目的の電話帳を選択

・カナ欄にヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力しても検索することができます。

■ **「ヨミガナ」を選択したとき**

電話帳がヨミガナのあいうえお順に一覧で表示されます。

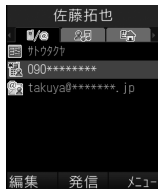
表示された一覧から目的の電話帳を選択

・カナ欄にヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力しても検索することができます。

■ **「グループ」を選択したとき**

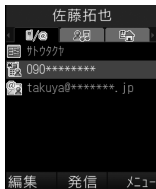
電話帳に登録されているグループが一覧で表示されます。

目的のグループを選択→表示された一覧から目的の電話帳を選択

・目的のグループを選択したあと、カナ欄にヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力しても検索することができます。

電話帳の詳細画面

- セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」のとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、電話帳の検索画面で[Y!]→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)を押して、一時的にシークレットモードを解除してから操作します。

電話帳から電話をかける

1 電話帳を検索(➲P.2-18)→[■](詳細)→目的の電話番号を反転表示

2 電話の発信操作

■ 音声電話をかけるとき

[■](発信)→「音声発信」

■ 国際電話をかけるとき

[■](発信)→「国際発信」→(➲P.3-14 日本から海外へ電話をかける3)

- 一覧画面で目的の電話帳を反転表示→[Y!]→「発信」→「音声発信」/「国際発信」を選択してもかけることができます。1つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、「優先電話番号設定」(➲P.2-25)の「音声通話」に設定されている電話番号(未設定の場合は1件目の電話番号)に発信します。電話番号の選択画面が表示されたとき(「優先電話番号設定」の「音声通話」が「設定なし」の場合)は、電話番号を選択してください。
- **スピード検索と検索結果からの発信**
  「スピード検索設定」(➲P.13-16)を「On」に設定しているときは、ダイヤルボタンの数字を押すと、その数字に割り当てられた文字に対応する「ヨミガナ」を先頭に持つ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。電話番号を反転表示→[発信]/[■](選択)→[■](発信)を押すと音声電話をかけることができます。
- **電話番号検索と検索結果からの発信**
  4桁の数字を入力すると、その番号を先頭または末尾に持つ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。電話番号を反転表示→[発信]/[■](選択)→[■](発信)を押すと音声電話をかけることができます。

電話帳を削除する

1

2 **電話帳の削除操作**

■ **1件削除**

削除したい電話帳を反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除**

[Y!]→「削除」→「複数」→削除したい電話帳をチェック→[✉](削除)→「はい」

■ **すべて削除**

本体またはUSIMカードの電話帳をまとめて削除できます。

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

- 電話帳の詳細画面で[Y!]→「削除」→「はい」を選択しても電話帳を削除できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-22

- 電話帳からメールを作成したい
- USIMカードのグループを作成したい
- グループにメンバーを追加したい
- グループからメンバーを削除したい
- USIMカードに保存されているサービス番号を表示したい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 電話帳からスピードダイヤルに追加したい
- 電話帳をvファイルに変換して送信したい
- vファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい
- 本機とUSIMカードとの間で電話帳をコピーしたい
- 電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい
- メモリ使用状況を確認したい
- 電話帳から項目をコピーしたい
- 優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを用途ごとに設定したい
- 電話番号を入力してから登録したい
- グループ名を編集したい

設定

- 優先的に登録される電話帳を変更する(☞P.13-11)
- 表示される電話帳(本機/USIMカード)を変更する(☞P.13-11)
- 電話帳の検索方法を切り替える(☞P.13-11)
- 電話帳のバックアップをとる(☞P.13-11)
- 電話帳の文字サイズを変更する(☞P.13-11)
- スピード検索の設定をする(☞P.13-16)

便利な機能

便利

メインメニューに関する便利な機能

メインメニューを設定したい

■→✉(スタイル)→スタイルを選択→◈で設定したい色を選択

- メニュー画面の表示スタイルを変更できます。

便利

待受画面の設定に関する便利な機能

静止画を回転して表示させたい

■→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→✉(回転)→■(設定)

- Y!(リセット)を押すともとの表示に戻ります。

便利

文字入力に関する便利な機能

日付や時刻を入力したい

文字入力画面で漢字／かな入力モードにし、数字が割り当てられているボタンを押してひらがなを入力→Y!(英数カナ)→日付や時刻の変換候補を反転表示→■(確定)

全角の記号と半角の記号を切り替えたい

文字入力画面で、全角／半角記号の候補表示エリアの表示中に#

範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい **[コピー]／[カット]**

文字入力画面でY!→「コピー」／「カット」→コピー／カットをする最初の文字に◈でカーソルを合わせ、■(始点)→◈で範囲を指定→■(終点)

- 文字入力画面上のすべての文字をコピー／カットする場合は、Y!(全て)を押します。
- コピー／カットを行うと、コピー／カットをした内容は電源を切っても保持されます。

コピー／カットした文字を貼り付けたい [貼り付け]

文字入力画面で文字を貼り付ける位置に でカーソルを移動→ →「貼り付け」

文字をもとに戻したい [元に戻す]

文字入力画面で →「元に戻す」

- 漢字／かな入力モードで直前に行った文字の入力やカット、貼り付け、削除などの操作をもとに戻すことができます。変換した文字をもとに戻すこともできます。

カーソルを先頭／最後に移動したい [カーソル移動]

文字入力画面で →「カーソル移動」→項目を選択

予測入力機能や学習機能などの設定をしたい [入力／変換設定]

文字入力画面で →「入力／変換設定」

■ **予測入力機能を設定／解除するとき**
「予測入力On」／「予測入力Off」

■ **学習機能を設定／解除するとき**
「学習On」／「学習Off」

■ **入力履歴をリセットするとき**
「ユーザ辞書リセット」→操作用暗証番号を入力→ (OK)→「はい」

■ **絵文字／記号の履歴をリセットするとき**
「絵／記号履歴リセット」

便利

ユーザ辞書に関する便利な機能

ユーザ辞書の登録内容を削除したい [削除]

→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「辞書編集」

■ **1件削除するとき**
削除したいユーザ辞書を反転表示→ →「削除」

■ **すべて削除するとき**
→「全削除」→操作用暗証番号を入力→ (OK)→「はい」

便利

電話帳に関する便利な機能

電話帳に情報を登録したい

→ (新規)

■ **グループを登録するとき**
で に切り替え→グループ欄を選択→グループを選択→ (保存)

■ **シークレットモードを設定するとき**
で に切り替え→シークレットモード欄を選択→項目を選択→ (保存)

■ **誕生日を登録するとき**
で に切り替え→誕生日欄を選択→生年月日を入力→ (保存)

■ **血液型を登録するとき**
で に切り替え→血液型欄を選択→血液型を選択→ (保存)

■ **趣味を登録するとき**
で に切り替え→趣味欄を選択→内容を入力→ (保存)

■ **会社を登録するとき**
で に切り替え→会社欄を選択→会社名を入力→ (保存)

■ **役職を登録するとき**
で に切り替え→役職欄を選択→役職名を入力→ (保存)

■ 住所を登録するとき

[icon]で[icon]に切り替え→住所欄を選択→郵便番号欄を選択→郵便番号を入力→国欄を選択→国名を入力→都道府県欄を選択→都道府県名を入力→市町村欄を選択→市町村名を入力→番地欄を選択→番地を入力→追加情報欄を選択→追加情報を入力→[icon](OK)→アイコンを選択→[icon](保存)

■ ホームページのURLを登録するとき

[icon]で[icon]に切り替え→ホームページ欄を選択→URLを入力→アイコンを選択→[icon](保存)

■ メモを登録するとき

[icon]で[icon]に切り替え→メモ欄を選択→内容を入力→[icon](保存)

- グループ以外はUSIMカードの電話帳には登録できません。

電話帳に着信画像を設定したい

[icon]→[icon](新規)→[icon]で[icon]に切り替え→フォト欄を選択

■ 保存された画像を設定するとき

「ピクチャー」→ファイルを選択→[icon](保存)

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■ 静止画を撮影して設定するとき

「カメラ起動」→静止画を撮影→[icon]([icon])

■ 設定した着信画像を解除するとき

「Off」→[icon](保存)

- メモリカードに保存されているファイルを着信画像に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳に着信音を設定したい

[icon]→[icon](新規)→[icon]で[icon]に切り替え→着信音欄を選択

■ 音声電話の着信音を設定するとき

「音声着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[icon](再生)→[icon](選択)→[icon](完了)→[icon](保存)

■ メールの着信音を設定するとき

「メール着信」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[icon](再生)→[icon](選択)→[icon](完了)→[icon](完了)→[icon](保存)

■ メールの着信鳴動時間を設定するとき

「メール着信」→「鳴動時間」→時間を入力→[icon](完了)→[icon](完了)→[icon](保存)

- メモリカードに保存されているファイルを着信音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳にバイブレータを設定したい

[電話帳アイコン]→[メール](新規)→[十字キー]で[音符アイコン]に切り替え→バイブ欄を選択→着信の種類を選択→振動パターンを反転表示→[メール](再生)→[■](選択)→[メール](完了)→[メール](保存)

電話帳からメールを作成したい **[メール作成]**

[電話帳アイコン]→メールを作成したい電話帳を反転表示→[Y!]→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❺、P.4-8 SMSを作成・送信する❺)

USIMカードのグループを作成したい **[新規グループ]**

[電話帳アイコン]→[Y!]→「新規グループ」→グループ名欄を選択→グループ名を入力→[メール](保存)

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定し(➲P.2-18)、USIM電話帳を表示した状態で作成します(➲P.2-25)。

グループにメンバーを追加したい **[メンバー追加]**

[電話帳アイコン]→メンバーを追加したいグループを選択→[Y!]→「メンバー追加」→追加したいメンバーをチェック→[メール](追加)

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定した状態で追加します(➲P.2-18)。

グループからメンバーを削除したい **[メンバー削除]**

[電話帳アイコン]→メンバーを削除したいグループを選択→[Y!]→「メンバー削除」→削除したいメンバーをチェック→[メール](グループ削除)

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定した状態で操作します(➲P.2-18)。
- グループから削除しても、電話帳からは削除されません。

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい **[発信者番号通知／非通知]**

[電話帳アイコン]→電話をかける相手の電話帳を反転表示→[Y!]→「発信者番号通知／非通知」

■ 発信者番号通知サービスの設定に従うとき

「ネットワーク設定に従う」→[発信]／[■](発信)

■ 番号を通知するとき

「番号通知」→[発信]／[■](発信)

■ 番号を非通知にするとき

「番号非通知」→[発信]／[■](発信)

電話帳からスピードダイヤルに追加したい **[スピードダイヤル登録]**

[電話帳アイコン]→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→[Y!]→「スピードダイヤル登録」→登録する番号欄を選択

電話帳をvファイルに変換して送信したい **[送信]**

[電話帳アイコン]→送信したい電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→[Y!]→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ 赤外線通信で送信するとき

「赤外線通信」(➲P.12-4)

vファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい **[データフォルダに保存]**

[電話帳アイコン]→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→[Y!]→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

本機とUSIMカードとの間で電話帳をコピーしたい　【USIMにコピー】／【本体にコピー】

□→コピーしたい電話帳を反転表示→□→「USIMにコピー」／「本体にコピー」

■ 1件コピーするとき

「1件」→「はい」

- 詳細画面から電話帳を1件コピーするときは、一覧画面で■（詳細）→□を押してから操作します。

■ 複数コピーするとき

「複数」→コピーしたい電話帳をチェック→□（コピー）→「はい」

■ 本機／USIMカードに保存されている電話帳をまとめてコピーするとき

「全件」→「はい」

電話帳を登録するときの保存先を設定したい

□→□→「設定」→「保存先設定」→項目を選択

表示をUSIMカード／本機の電話帳に切り替えたい

□→□→「設定」→「表示切替」→項目を選択

- 電話帳表示を変更すると、次に設定を変更するまで設定は保持されます。

電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい　【シークレット一時解除】

□→□→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」にしているときに、「シークレットモード-On」に設定した電話帳を一時的に表示することができます。

USIMカードに保存されているサービス番号を表示したい　【サービス番号】

□→□→「サービス番号」

- USIMカードの種類によっては、「サービス番号」の項目は表示されません。

メモリ使用状況を確認したい　【メモリ容量確認】

□→□→「メモリ容量確認」

- 確認したメモリを削除するには□（削除）を押します（➲P.11-16 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

電話帳から項目をコピーしたい　【項目コピー】

□→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→コピーしたい項目を反転表示→□→「項目コピー」

優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを用途ごとに設定したい　【優先電話番号設定】

□→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→□→「優先電話番号設定」→「音声通話」／「メール」→電話番号／Eメールアドレスを選択→□（保存）

- 優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを指定しないときは、項目を反転表示→□（リセット）を押すと、「設定なし」に設定できます。
- 優先電話番号設定は本機の電話帳にのみ設定できます。

電話帳からホームページに接続したい

□→ホームページが登録された電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→接続するホームページアドレスを反転表示→■（接続）

電話帳を編集したい

□→編集したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→□（編集）→（➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷）

- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳を編集するときは、あらかじめセキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」にします。

電話番号を入力してから登録したい
[電話帳登録]

電話番号を入力→[Y!]→「電話帳登録」

■ **新規で登録するとき**

「新規」→(➔P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

■ **追加で登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→電話帳の登録操作(➔P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

- 通話中に[Y!]→「電話帳登録」を選択しても、同様に登録できます。
- 姓名、ヨミガナ、Eメールアドレス、グループ以外の項目はUSIMカードの電話帳では登録できません。

グループの設定を変更したい

[■]→「電話機能」→「グループ設定」→設定したいグループを選択

■ **着信画像を設定するとき**

画像欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→[✉](保存)

■ **音声電話の着信音を設定するとき**

着信音欄を選択→「音声着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[✉](再生)→[Y!](選択)→[✉](完了)→[✉](保存)

■ **メールの着信音を設定するとき**

着信音欄を選択→「メール着信」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[✉](再生)→[Y!](選択)→[✉](完了)→[✉](完了)→[✉](保存)

■ **メールの着信鳴動時間を設定するとき**

着信音欄を選択→「メール着信」→「鳴動時間」→時間を入力→[✉](完了)→[✉](完了)→[✉](保存)

■ **バイブレータを設定するとき**

バイブ欄を選択→着信の種類を選択→振動パターンを反転表示→[✉](再生)→[■](選択)→[✉](完了)→[✉](保存)

- 設定された画像やバイブレータ設定を解除して保存するときは、画像欄／バイブ欄を反転表示→[Y!](リセット)→[✉](保存)を押します。
- 設定された各着信音を解除して保存するときは、着信音欄を選択→リセットしたい項目を反転表示→[Y!](リセット)→[✉](完了)→[✉](保存)を押します。各着信音を一度に解除するときは、着信音欄を反転表示→[Y!](リセット)→[✉](保存)を押します。
- 本体のグループにのみ設定できます。
- 着信画像や着信音などを電話帳ごとに個別に設定している場合は、グループごとの設定よりもそちらが優先されます。

グループ名を編集したい
[本体グループから表示]／[USIMグループから表示]

[■]→「電話機能」→「グループ設定」→[Y!]→「本体グループから表示」／「USIMグループから表示」→編集したいグループを選択→グループ名欄を選択→グループ名を入力→[✉](保存)

- 表示切替(➔P.2-25)が「本体」のときは「USIMグループから表示」、「USIM」のときは「本体グループから表示」が表示されます。

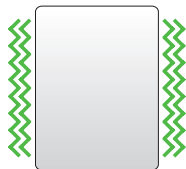
電話

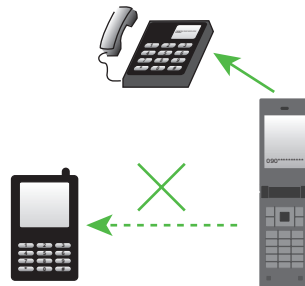
通話方法とオプションサービスについて

本機では、音声電話をするだけでなく、留守番電話、転送電話など様々なオプションサービスを利用することもできます。
この章では、電話のかけかたとオプションサービスについて説明します。

音声電話

音声のみを使って通話します(➔P.3-4)。

電話に出られないときには

本機に着信中、電話に出られないときには簡易留守録などの機能を使用できます(➔P.3-9)。

また、電源を切っていたり、電波の届かない所で着信した場合に留守録を残したり、電話を転送するオプションサービスもあります(➔P.3-16)。

留守番電話のイメージ

また、次のような機能を利用することもできます。

グローバルな通話

本機は、世界対応ケータイに対応しています。
別途お申し込みいただくと、日本だけでなく世界でも本機をご使用できます（➲P.3-14）。
また、国際電話も発信できますので、世界中で世界中の人々と通話を楽しめます。

通話履歴の利用

累積通話時間や、前回の通話時間を確認できます。
また、通話料金の限度値を設定することもできます（➲P.3-13）。

様々なオプションサービスの利用

留守番電話、転送電話など様々なオプションサービスを利用できます（➲P.3-16）。

転送電話のイメージ

音声電話

ここでは、音声電話のかけかた、受けかた、および通話中の操作について説明します。

音声電話をかける

ここでは、電話番号を直接入力して音声電話をかける方法について説明します。
電話帳から音声電話をかける場合は「電話帳から電話をかける」(➲P.2-19)を参照してください。

1 電話番号全桁(市外局番を含む)を入力

電話番号入力画面

2 電話番号を確認→[発信キー]／[■](発信)

3 通話終了→[終話キー]

- 電話番号を押し間違えたときは、[十字キー]で消す数字にカーソルを移動して[CLEAR]を押します。[CLEAR]を1秒以上押すと、すべての数字が消えます。
- 電話番号として「P(ポーズ)」を入力するには、[*]を2回押します。「+(国際コード)」を入力するには、[0]を1秒以上押します。
- 相手がお話し中のときは、[終話キー]を押して電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。「オートリダイヤル」(➲P.13-22)を「On」に設定している場合は、自動的に電話を切ってリダイヤルする動作が繰り返されます。リダイヤルを停止するには、[Y!](キャンセル)または[終話キー]を押します。
- イヤホンマイク(オプション品)を接続している場合は、「イヤホン通話を使う」(➲P.13-22)を「On」に設定すると、待受中にイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すだけで指定した電話番号に電話をかけることができます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。

音声電話を受ける

ここでは、かかってきた電話を受ける方法について説明します。

1 着信中に[発信キー]

2 通話終了→[終話キー]

- 「エニーキーアンサー」(➲P.13-16)を「On」に設定している場合は、着信中に[✉]、[■]、[Y!]、[📞]、[▲]、[▼]を除くどのボタンを押しても音声電話を受けられます。
- 着信中に応答せずに保留にするには、[📞]を押します。保留を終了して通話をするには、保留中に[■](通話)または[⌒]を押します。
- 着信音量を調節するには、着信中に[▲]、[▼]を押します。
- イヤホンマイク(オプション品)を接続しているときは、着信中にイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押しても音声電話を受けられます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。
- 通話中の一時保留をご利用になるには、割込通話サービス(➲P.3-20)もしくはグループ通話サービス(➲P.3-21)へのお申し込みが必要です。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 電話に出なかったときは、不在着信としてお知らせします。[■](表示)を押すと、着信履歴(➲P.3-12)を確認できます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録され、個別またはグループごとの着信音が設定されている場合は、設定されている着信音が鳴ります(➲P.2-23、P.2-26)。それ以外の場合は、モードごとに設定されている着信音が鳴ります(➲P.1-17)。セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合で、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、モードごとに設定されている着信音が鳴ります。
- 相手が電話番号を通知してかけてきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこなかった場合は、「非通知設定」と表示されます。電話帳やグループに着信画像が設定されている場合は、画像も表示されます(➲P.2-23、P.2-26)。セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合で、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、名前や画像は表示されません。
- 電話に出られないときは、転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になれます。着信中に[✉](転送)を押すと、すぐに転送先または留守番電話サービスセンターに転送できます(➲P.3-17、P.3-19)。また、着信中に[■](留守録)を押すと、すぐに簡易留守録を利用することができます(➲P.3-9)。

通話中の操作

ここでは、通話中に使う操作方法について説明します。

通話音量を調節する

通話中に相手の声の音量を調節できます。

1 通話中に[▲]/[▼]

- 変更した音量は、電源を切っても保持されます。

通話を保留する

相手との通話を保留にして、あとから保留を終了して通話を再開することができます。

1 通話中に[■](保留)

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービスまたはグループ通話サービスのお申し込みが必要です。
- 通話に戻るときは[■](再開)を押します。

通話を録音する

通話中に相手の声を録音できます。

1 通話中に[Y!]→「音声録音」→[■](録音)

2 [✉](停止)

- 通話中にボイスレコーダーを利用して、相手の声を録音できます。最長2分間録音できます。
- 録音中に一時停止する場合は[■](一時停止)を押します。録音を再開する場合は[■](録音)、一時停止した所まで保存する場合は[✉](保存)を押します。
- 録音された音声ファイルは、データフォルダの「着うた･メロディ」フォルダに保存されます。
- 割込通話サービスをご利用の場合、録音中に他の相手から電話がかかってくると、録音を終了して着信画面を表示します。
- 録音中に電話が切れると録音が自動的に終了し、音声が保存されます。

メモを作成する

通話中にメモを作成できます。

1 通話中に[Y!]→「メモ」→メモを入力

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-23

- 入力した電話番号を電話帳に登録したい
- 入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 電話番号入力画面から電話帳検索画面に切り替えたい
- 電話番号入力画面から通話履歴画面に切り替えたい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 小さい声で通話したい
- 音声の送信を設定したい
- 通話中に別の相手に電話をかけたい
- 通話中に電話帳を検索したい
- 通話相手の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話中に通話履歴を確認したい
- 通話中にメールを作成したい
- 通話中にプッシュトーンを送信したい
- 通話中のメニュー操作から通話を終了したい

設定

- サイドボタン操作で応答拒否する／着信音を消す（☞P.13-16）
- エニーキーアンサーを設定する（☞P.13-16）
- オープン通話を設定する（☞P.13-16）
- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.13-21）
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする（☞P.13-22）
- 着信音調節機能を設定する（☞P.13-22）
- イヤホン通話を使う（☞P.13-22）
- 通話中の音量を調節する（☞P.13-22）

スピードダイヤル

スピードダイヤルに登録する

よく電話をかける相手をスピードダイヤルに登録すると、簡単な操作で電話をかけることができます。スピードダイヤルは10件登録できます。

1. ■→「電話機能」→「スピードダイヤル設定」
2. 登録したい番号欄を選択
3. 電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→登録したい電話番号を選択

- 登録した電話番号を変更するときは、一覧画面で変更したい相手を反転表示→■(変更)→「はい」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→登録したい電話番号を選択します。
- 登録した番号を削除するときは、一覧画面で削除したい相手を反転表示→Y!→「削除」→「はい」を選択します。
- 登録した番号をすべて削除するときは、一覧画面でY!を押して「設定リセット」→「はい」を選択します。
- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳は、スピードダイヤルに登録できません。
- すでにスピードダイヤルに登録されている電話帳を、「シークレットモード-On」に設定した場合はスピードダイヤルから自動的に削除されます。

スピードダイヤルで電話をかける

1. スピードダイヤルに登録済みの0～9のいずれかを押す
2. ■()／

- 操作1のあと、✉(S!メール)を押すと、メール作成画面に切り替わります。
- 「スピード検索設定」(➔P.13-16)を「On」に設定しているときに数字を入力すると、スピード検索で該当した電話帳の名前と電話番号が表示されます。約5秒経過すると表示が消えます。が表示されたら、スピードダイヤルで電話をかけることができます。

3

電話

緊急電話発信

緊急電話発信とは、緊急時に使用する電話発信「110(警察)」「119(消防)」「118(海上保安部)」のことです。
本機で発信の制限などを設定している場合、緊急電話発信の可否は次のとおりです。

本機の状態	緊急電話発信
電波Offモード中(➔P.1-16)	不可
通話料金上限(➔P.13-20)を超過したとき	「110」「119」「118」可
電源On時ロック中(➔P.10-3)	不可
キー操作ロック中(➔P.10-4)	「110」「119」「118」可
PIN認証(➔P.10-4)で、未認証のとき	不可
USIM照合(➔P.10-4)で、未認証のとき	不可
発信規制中(➔P.3-22)	「110」「119」「118」可

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関(警察など)に対して通知するシステムです。
本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります(遠方の基地局電波を受信した場合など)。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあと、ご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」「119」「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申し込み料金、通信料は一切必要ありません。

注意

- 海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、本機の機能の設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

簡易留守録

電話に出られないとき、相手の用件を本機に録音できます。用件は1件につき最長15秒間録音でき、3件まで保存できます。

簡易留守録を設定／解除する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「簡易留守録設定」

2 「On」／「Off」

- 簡易留守録を設定すると、ディスプレイに■が表示されます。
- 待受画面でCLEARを1秒以上押しても、設定／解除が行えます。
- 留守録された電話は、着信履歴として記録されます。

注意

- 電波の届かない場所にいるときや本機の電源を切っているとき、電波Offモード中は、簡易留守録を利用できません。着信ができない状況の場合は、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。
- 本機のメモリ残量が600Kバイトより少ない場合は、簡易留守録を利用できません。

録音した用件を確認する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」

2 用件を反転表示→■（再生）

- 簡易留守録に伝言メッセージが録音されると、ディスプレイに■が表示されます。
- 待受画面でCLEARを押しても、録音した用件を確認できます。

録音した用件を削除する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」

2 用件の削除操作

■ **1件削除するとき**

削除したい用件を反転表示→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

Y!（全削除）→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- 「簡易留守録」から用件は削除されますが、「着信履歴」には「音声電話の不在着信」として記録が残ります。

着信拒否

着信中の電話を拒否する以外にも、特定の相手からの電話を拒否したり、知らない番号からの電話を拒否したりできます（➔P.13-21）。

着信中の電話を拒否する

1 着信中に[Y!]（拒否）

- 拒否した電話は、着信拒否履歴として記録されます。
- 「サイドキー設定」（➔P.13-16）を「着信拒否」に設定している場合は、着信中に[▲]／[▼]を1秒以上押しても着信を拒否できます。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になっていない場合は、着信中に[✉]（転送）を押すと、着信を拒否します。このとき相手のディスプレイには、こちらがお話し中である旨のメッセージが表示されます。ただし、相手がこの機能に対応していない場合は、メッセージは表示されません。

電話番号を指定して着信を拒否する

1 [■]→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「電話番号指定」→「On/Off設定」→「On」

- 着信拒否に登録した電話番号からかかってきたとき、相手には話中音を流し電話を受けません。待受画面には「不在着信通知」と表示してお知らせします。
  [■]（表示）を押すと着信履歴を確認できます。
- 指定している電話番号の着信を許可する場合は、「Off」を選択してください。

3 「拒否リスト編集」

4 [Y!]→「追加」→「直接入力」／「電話帳」／「通話履歴」→電話番号の登録操作

- 登録した電話番号を編集するには、「拒否リスト編集」→編集したい電話番号を反転表示→[■]（選択）→電話番号を編集→[■]（完了）→[✉]（保存）を押します。
- 登録した電話番号を削除するには、「拒否リスト編集」→削除したい電話番号を反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」／「全件」→「はい」を選択します。「全件」を選択したときは、操作用暗証番号の入力が必要です。

電話帳以外の電話番号の着信を拒否する

1 [■]→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「電話帳以外」→「On」

- 電話帳に登録していない電話番号の着信を許可する場合は、「Off」を選択してください。

非通知の相手からの着信を拒否する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「非通知」→「On」

- 非通知着信を許可する場合は、「Off」を選択してください。

公衆電話からの着信を拒否する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「公衆電話」→「On」

- 公衆電話からの着信を許可する場合は、「Off」を選択してください。

電話番号が通知不可能な相手からの着信を拒否する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「着信拒否」

2 「通知不可」→「On」

- 電話番号が通知不可能な着信を許可する場合は、「Off」を選択してください。

使いこなしチェック!

設定

- 簡易留守録を設定する（☞P.13-20）
- 簡易留守録の応答時間を設定する（☞P.13-20）
- 簡易留守録に録音した用件を確認する（☞P.13-21）
- 応答メッセージの言語を設定する（☞P.13-21）
- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-21）
- 着信拒否する電話番号を登録する（☞P.13-21）
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-21）
- 非通知着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-21）
- 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-21）
- 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-21）

通話履歴（発信履歴／着信履歴）

通話履歴には、着信履歴（かかってきた電話の履歴）と発信履歴（かけた電話の履歴）があります。それぞれの履歴から相手の電話番号や通話時間などを確認したり、履歴を利用して電話をかけたりすることができます。着信履歴、発信履歴はそれぞれ500件まで記録されます。

通話履歴を確認する

1 （着信履歴）／（発信履歴）

一覧画面
（着信履歴の場合）

2 確認したい履歴を反転表示→■（詳細）

- 履歴一覧のアイコン
  履歴一覧には、音声電話を識別するアイコンが表示されます。
  ：音声電話発信
  ：音声電話着信
  ：音声電話の不在着信
  ：音声電話の着信拒否
  ：留守番電話のお知らせ
  ：着信のお知らせ
- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」に設定している場合、電話帳のシークレットモードを「シークレットモード-On」に設定している相手の名前などの情報は表示されません。
- 待受画面で■→「電話機能」→「通話履歴」→「着信履歴」／「発信履歴」を選択しても確認することができます。

通話履歴を使って電話をかける

1 （着信履歴）／（発信履歴）

2 電話をかけたい履歴を反転表示→（発信）→「音声発信」

通話履歴を削除する

1 （着信履歴）／（発信履歴）

2 履歴の削除操作

■ 1件削除するとき
削除したい用件を反転表示→→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき
→「削除」→「複数」→削除したい履歴をチェック→（削除）→「はい」

■ すべて削除するとき
→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

•通話ごとの履歴を確認し、削除するときは、操作❶のあと、削除したい履歴を反転表示→■(詳細)→履歴を確認後[Y!]→「削除」→「はい」を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-25

- 通話履歴からメールを作成したい
- 通話履歴の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話履歴の電話番号を着信拒否リストに追加したい
- 通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい
- 通話履歴の電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけたい
- 通話履歴から自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい

通話時間／通話料金／データ通信量などの確認

「通話後料金表示」は、ご契約の内容によりご利用になれない場合があります。また、「通話後料金表示」がご利用になれない場合、「通話料金上限設定」もご利用になれません。

通話データ管理の各項目から、次の操作ができます。

設　定	設定内容
累積	合計通話時間、合計通話料金の目安を確認、リセットできます。
直前の通話	前回の通話時間、通話料金の目安を確認、リセットできます。
累積データ通信量	累積送信データ量、累積受信データ量の目安を確認、リセットできます。
通話後料金表示	通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定します。
通貨設定	通貨単位の変更ができます。
通話料金上限設定	通話料金の上限の設定ができます。

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話時間・料金」

2 確認したい項目を選択

•確認した項目をリセットするには、✉(リセット)を押します。

使いこなしチェック!

設定

- すべての通話の合計通話時間／合計通話料金を確認する（☞P.13-20）
- 前回の通話時間／通話料金を確認する（☞P.13-20）
- 累積データ通信量を確認する（☞P.13-20）
- 通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する（☞P.13-20）
- 通話料金の通貨単位を変更する（☞P.13-20）
- 通話料金の限度額を設定する（☞P.13-20）
- 通話料金の限度額の設定を解除する（☞P.13-20）

日本から海外へ電話をかける

日本から国際電話をかけることができます。

1 電話番号全桁(市外局番を含む)を入力

2 [Y!]→「国際発信」

3 発信先の国を選択／「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→「日本から」→電話番号を確認→[発信]／[■](発信)

- 海外にいる相手のソフトバンク携帯電話へは、相手のいる国にかかわらず電話番号だけでかけることができます。
- [0]を1秒以上押して「+」を入力→国番号を入力→先頭の「0」を除いた電話番号を入力→[発信]／[■](発信)を押しても、海外へ電話をかけることができます。この場合も、「国際コード」(➔P.13-19)で登録した国際コードが付加されて発信されます。

使いこなしチェック!

設定

● 国際コードを登録する(☞P.13-19)

海外での利用(世界対応ケータイ)

海外でのご利用の詳細については、『世界対応ケータイガイド』またはソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)を参照してください。

海外にお出かけになるときは、『世界対応ケータイガイド』を携帯してください。

ネットワークモードを切り替える

ネットワークモードとは、携帯電話機の通信方式(3GやGSM)を利用した状態を示します。利用するネットワークの切り替えかたを設定します。
お買い上げ時は自動的にネットワークモードが切り替わるように設定されています。手動で特定のネットワークモードを選択するように設定することもできます。

1 [■]→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「3G/GSM選択」

2 設定の選択操作

■ **自動的にネットワークモードを選択させるとき**

「自動」

■ **手動で特定のネットワークモードを選択するとき**

「手動」→「3G/GSM」／「3G」／「GSM」

- ネットワークモードの設定
  「自動」:
  お使いの場所(ネットワークの状態)に応じて、自動的にモードが切り替わる
  「3G」:
  日本国内と海外の3G/UMTSサービスエリアで使用できるモード
  「GSM」:
  海外のGSMサービスエリアで使用できるモード
- 通常は「自動」に設定してお使いになることをおすすめします。

ネットワークを設定する

ネットワークには、代表的なものにSoftBank 3Gとしてご提供している第三世代の3Gや多くの国で標準として使用されているGSMがあります。

接続するネットワークを選択する

ご利用になる地域によって、ネットワーク(事業者)を切り替える必要があります。「手動」で切り替えることもできます。

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」

2 設定の選択操作

■ **自動的にネットワークを選択させるとき**

「自動」

■ **特定のネットワークを選択するとき**

「手動」→ネットワークを選択

優先されるネットワークを設定する

ネットワーク選択を「自動」に設定したときに、優先的に選択されるネットワークの一覧を編集できます。

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先ネットワーク設定」→「優先度リスト」

2 優先度リストの編集操作

■ **ネットワークリストから選択して挿入するとき**

挿入する位置にカーソルを移動→Y!→「挿入」→「ネットワークリスト」→挿入したいネットワークを反転表示→■(挿入)

■ **ネットワークリストから選択して追加するとき**

Y!→「追加」→「ネットワークリスト」→追加したいネットワークを反転表示→■(追加)

・一覧の最後にネットワークが追加されます。

■ **ネットワークを新規挿入/追加するとき**

Y!→「挿入」/「追加」→「新規ネットワーク」→国番号欄を反転表示→国番号を入力→ネットワークコード欄を反転表示→ネットワークコードを入力→ネットワーク名欄を選択→ネットワーク名を入力→ネットワークタイプ欄を選択→「GSM」/「3G」→✉(挿入/追加)

- 操作1のあと、削除したいネットワークを反転表示→Y!→「削除」→「はい」を選択すると、ネットワークを削除できます。
- 「新規ネットワーク」で設定できる項目は次のとおりです。

「国番号」:最大3桁

「ネットワークコード」:最大3桁

「ネットワーク名」:最大20桁

「ネットワークタイプ」:GSM/3Gから選択

海外で電話をかける

海外での緊急通報は、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態、USIM の状態によって動作が異なるため、すべての国やエリアでの接続を保証できるものではありません(➔P.3-8)。

❶ 電話番号を全桁(市外局番を含む)入力→[発信]

❷ 電話の発信操作

■ 日本へ電話をかけるとき

「日本へ」

■ 日本以外の国へかけるとき

「他国番号付加」→発信したい国を選択

■ 滞在国の一般電話や携帯電話にかけるとき

「このまま発信」

- 国番号などを直接入力して電話をかけるには、[0]を1秒以上押して「+」を入力します。続けて国番号、先頭の「0」を除いた電話番号の順に入力して[発信]/[■](発信)を押すと発信できます。イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力します。
- 電話番号の最初に「+国番号」が付く場合は、操作❷が不要です。

使いこなしチェック!

[設定]

- ネットワークモードを切り替える(☞P.13-19)
- 国際コードを登録する(☞P.13-19)
- 国番号を追加/編集/削除する(☞P.13-19)
- 接続するネットワークを選択する(☞P.13-19)
- 優先されるネットワークをリストから挿入する(☞P.13-19)
- 優先されるネットワークをリストから追加する(☞P.13-19)
- 優先されるネットワークをリストから削除する(☞P.13-19)
- 優先されるネットワークを新規追加する(☞P.13-19)
- ネットワーク自動調整を手動で行う(☞P.13-23)

オプションサービス

オプションサービスの種類は次のとおりです。

サービス	内　容
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。 ・「着信お知らせ機能」を設定すると、電源を切っているときや圏外のときにかかってきた電話をSMSでお知らせします(➔P.3-18)。
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えながら通話することもできます。
グループ通話サービス※	通話中に他の相手に音声電話をかけ、最大6人同時に通話できます。相手を切り替えながら通話することもできます。

サービス	内　容
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

※サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

注意

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)でご確認ください。

留守番電話サービス

下記の転送条件に従って、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに転送します。
留守番電話サービスの種類は次のとおりです。

転送条件	内　容
呼出なし	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。不在着信も記録されません。
呼出あり	設定した呼出時間内に電話に出なかったときや、通話中または圏外などのために電話がつながらないときに転送します。

注意

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを設定しているときに留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは解除されます。

留守番電話サービスを設定する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」

2 項目の選択操作

■ **すぐに留守番電話サービスセンターに転送したいとき**
「呼出なし(0秒)」

■ **呼出時間を設定したいとき**
「呼出あり(5-30秒)」→「5秒」/「10秒」/「15秒」/「20秒」/「25秒」/「30秒」

- 「呼出あり」で留守番電話サービスを設定したときは、着信中(呼出時間の設定秒数内)に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に✉(転送)を押すと、すぐに転送できます。

留守番電話サービスを解除する

1 □→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全停止」→「はい」

注意

- 転送電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音されると、その旨の通知画面が表示され、ディスプレイに□が表示されます。

アイコンとメッセージでお知らせする

■ **通知画面が表示されているとき**

□(再生)

・伝言メッセージの詳細情報を確認するときは、通知画面表示中に□(表示)を押します。

・伝言メッセージを聞かずに通知画面を消すときは、□(キャンセル)を押します。

■ **通知画面が表示されていないとき**

「1416」を入力→□/□(発信)

- 本機で伝言メッセージを聞くと、ディスプレイの□が消えます。

着信お知らせ機能を設定する

留守番電話サービス設定中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信があったときは、SMSでお知らせします。また、通話中に留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1 「1414」を入力→□/□(発信)

- 国内の固定電話から設定するときは、「090-665-1414」にかけます。

2 ガイダンスに従って操作

- 待受画面で□→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「着信お知らせ機能」→□(発信)を押しても設定できます。
- 通知されたSMSは、メールではなく着信履歴として管理されます。
- 着信お知らせ機能は、通話料無料で設定できます。

使いこなしチェック!

設定

- 呼出時間なしで留守番電話サービスを開始する(☞P.13-18)
- 呼出時間を設定して留守番電話サービスを開始する(☞P.13-18)
- 留守番電話サービス/転送電話サービスを解除する(☞P.13-18)
- 留守番電話サービス/転送電話サービスの設定を確認する(☞P.13-18)
- 留守番電話の伝言メッセージを聞く(☞P.13-18)
- 着信お知らせ機能を設定する(☞P.13-18)

転送電話サービス

あらかじめ設定した転送条件(➲P.3-17)に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。

注意

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを設定しているときに転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスは解除されます。

転送電話サービスを設定する

サービスを設定するときは転送先を指定します。

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」

2 「呼出なし(0秒)」/「呼出あり(5-30秒)」

3 転送先の設定操作

■ **前回の転送先を設定するとき**
「前回転送先番号」→前回の電話番号を選択

■ **電話帳から転送先を設定するとき**
「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→電話番号を選択

■ **電話番号を入力して設定するとき**
「番号入力」→電話番号を入力

- 「呼出あり」で転送電話サービスを設定するときは、操作3のあとに呼出時間を選択します。

- 「呼出あり」で転送電話サービスを設定したときは、着信中(呼出時間の設定秒数内)に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に✉(転送)を押すと、すぐに転送できます。

転送電話サービスを解除する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全停止」→「はい」

注意

- 留守番電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

使いこなしチェック!

設定

- 転送電話サービスを設定する(☞P.13-18)
- 留守番電話サービス/転送電話サービスを解除する(☞P.13-18)
- 留守番電話サービス/転送電話サービスの設定を確認する(☞P.13-18)

割込通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。このサービスは、音声電話でのみご利用いただけます。

割込通話サービスを設定／解除する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「割込通話」

2 「On」／「Off」

- 現在の設定を確認するには操作2で「設定確認」を選択します。

割込通話を受ける

通話中に着信があったときは、割り込み音と画面表示でお知らせします。通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けることができます。

1 割り込み音が聞こえたら■（通話）→「現在の通話を保留」

- ⌐を押しても、現在の通話を保留にして、あとからかかってきた電話に出ることができます。
- 現在の通話を切って、あとからかかってきた電話に出るときは「現在の通話を終了」を選択します。

2 通話相手の切り替え操作

■ **通話相手を切り替えるとき**

切り替えたい相手を反転表示→■（グループ通話）→「相手切替」

■ **相手を選択して通話を切るとき**

通話を切りたい相手を反転表示→■（グループ通話）→「この相手と終話」

■ **すべての通話を切るとき**

■（グループ通話）→「全ての相手と終話」

- 割込通話中に通話中の相手が電話を切ったときは、■（再開）を押すと、保留にしていた相手との通話になります。
- 転送電話サービスや留守番電話サービスを設定している場合に割り込みに応答しなかったときは、転送先または留守番電話サービスセンターに転送されます。転送条件を「呼出なし」に設定していると、割込通話サービスをご利用になれません。

使いこなしチェック!

設定

- 割込通話サービスを開始／解除する（☞P.13-18）
- 割込通話サービスの設定を確認する（☞P.13-18）

グループ通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。最大6人まで同時に通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

相手につながると、それまで通話していた相手は保留になります。

1 通話中に電話番号を入力

- 電話帳から選択するときは、[Y!]→「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→電話番号を選択します。

2 [発信キー]／[■](発信)→つながったら通話

- 3人目以降に電話をかける場合は、グループ通話中でのみ可能です(保留中の相手がいるときはできません)。

通話相手を切り替える

1 複数の相手と通話中に切り替えたい相手を反転表示→[■](グループ通話)→「相手切替」

- 通話中の相手が電話を切っても、保留中の相手は保留状態のままです。保留中の相手と通話するには、[■](再開)を押して保留を解除します。

すべての相手と通話する

1 複数の相手と通話中に[■](グループ通話)→「全ての相手と通話」

- 個別通話に切り替えるには、通話中に通話したい相手を反転表示→[■](グループ通話)→「この相手と通話」を選択します。

- すべての通話を切るには、通話中に[■](グループ通話)→「全ての相手と終話」を選択します。
- グループ通話中に相手が電話を切ったときは、残された相手との通話になります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-25

発着信規制サービス

音声電話の発着信、SMSの送受信を、次の規制内容で制限できます。

設定項目		内　容
発信規制		
	全発信規制	緊急通話以外、電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
	滞在国以外規制	滞在国以外へ電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
	日本／滞在国以外規制	滞在国と日本以外の国へ、国際電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
着信規制		
	全着信規制	すべての電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。
	国際着信規制	滞在国以外からの電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。

- 設定時には、発着信規制用暗証番号（ご契約時の4桁の暗証番号）の入力が必要です。発着信規制用暗証番号は変更することもできます（➲P.3-23）。
- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

注意

- 発着信規制用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定や解除ができなくなります。この場合は、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.14-24）までご連絡ください。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、「全発信規制」および「全着信規制」はご利用になれません（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます）。

発信規制／着信規制を設定／解除する

発信規制および着信規制は、通話や通信の種別ごとに設定できます。

1. ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」
2. 規制内容の選択操作

■ 発信規制を選択するとき

「発信規制」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」

■ 着信規制を選択するとき

「着信規制」→「全着信規制」／「国際着信規制」

3. 「On」／「Off」
4. 規制暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

発着信規制の制限をすべて解除する

発信規制および着信規制の制限をすべて解除します。

1. ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」
2. 「全ての発着信規制解除」
3. 規制暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

発着信規制の設定状況を確認する

1. ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」
2. 「設定確認」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」／「全着信規制」／「国際着信規制」

発着信規制用暗証番号を変更する

1. ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号変更」
2. 現在の規制暗証番号を入力→■(OK)
3. 新しい規制暗証番号を入力→■(OK)
4. もう一度新しい規制暗証番号を入力→■(OK)

使いこなしチェック!

設定

- 発信規制を設定する(☞P.13-18)
- 着信規制を設定する(☞P.13-18)
- 発着信規制の制限をすべて解除する(☞P.13-18)
- 発着信規制の設定を確認する(☞P.13-18)
- 発着信規制用暗証番号を変更する(☞P.13-18)

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知するかどうか設定するサービスです。

発信者番号の通知/非通知を設定する

1. ■→「設定」→「通話設定」→「発信者番号通知」
2. 「通知/非通知」→「通知する」/「通知しない」

- 操作1のあと、「設定確認」を選択すると現在の設定を確認できます。
- 本サービスの設定にかかわらず、発信するごとに電話番号を通知/非通知にできます(➔P.3-24)。

使いこなしチェック!

設定

- 発信者番号の通知/非通知を設定する(☞P.13-21)

便利な機能

便利

電話に関する便利な機能

入力した電話番号を電話帳に登録したい 【電話帳登録】

電話番号全桁(市外局番を含む)を入力→Y!→「電話帳登録」→(➔P.2-26 電話番号を入力してから登録したい)

入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい 【メール作成】

電話番号全桁を入力→Y!→「メール作成」→「S!メール」/「SMS」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する5、P.4-8 SMSを作成・送信する5)

電話番号入力画面から電話帳検索画面に切り替えたい 【電話帳検索】

電話番号入力画面でY!→「電話帳検索」

電話番号入力画面から通話履歴画面に切り替えたい 【通話履歴】

電話番号入力画面でY!→「通話履歴」

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい　[発信者番号通知／非通知]

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→Y!→「発信者番号通知／非通知」

■ **発信者番号通知サービスの設定に従うとき**

「ネットワーク設定に従う」→発信キー／■（発信）

■ **番号を通知するとき**

「番号通知」→発信キー／■（発信）

■ **番号を非通知にするとき**

「番号非通知」→発信キー／■（発信）

- 「186」を入力→相手の電話番号を入力→発信キー／■（発信）を押しても、通知して電話をかけることができます。
- 「184」を入力→相手の電話番号を入力→発信キー／■（発信）を押しても、非通知で電話をかけることができます。

通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい

通話中に✉（スピーカー）→「はい」

- 通常の通話に切り替えるときは通話中に✉（スピーカーオフ）を押します。

小さい声で通話したい　[ささやきOn]／[ささやきOff]

通話中にY!→「ささやきOn」／「ささやきOff」

- 「ささやきOn」に設定すると、小さい声でも相手に大きな音声で伝えられます。

音声の送信を設定したい　[ミュート]

通話中にY!→「ミュート」→■（☑）を押して「音声」をチェック／チェックを外す→✉（OK）

通話中に別の相手に電話をかけたい　[発信]

通話中にY!→「発信」→電話番号を入力→■（発信）

- 電話帳から検索するには、通話中にY!→「発信」を選択したあと、■（電話帳）を押します。
- グループ通話サービスをご利用の場合に有効です。

通話中に電話帳を検索したい　[電話帳]

通話中にY!→「電話帳」→（➲P.2-18 電話帳を検索する❷）

通話相手の電話番号を電話帳に登録したい　[電話帳登録]

通話中にY!→「電話帳登録」

■ **新規で登録するとき**

「新規」→各項目を登録→✉（保存）

■ **追加で登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→各項目を登録→✉（保存）

通話中に通話履歴を確認したい　[通話履歴]

通話中にY!→「通話履歴」

通話中にメールを作成したい　[メール作成]

通話中にY!→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❷、P.4-8 SMSを作成・送信する❷）

通話中にプッシュトーンを送信したい　[プッシュトーン送信]

通話中にY!→「プッシュトーン送信」→ダイヤルボタンで入力→■（送信）

- 電話帳から検索するには、「プッシュトーン送信」を選択したあと、■（電話帳）を押します。

通話中のメニュー操作から通話を終了したい　[通話終了]

通話中にY!→「通話終了」

便利

通話履歴に関する便利な機能

通話履歴からメールを作成したい 【メール作成】

(着信履歴)/(発信履歴)→宛先にしたい履歴を反転表示→→「メール作成」→「S!メール」/「SMS」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❺、P.4-8 SMSを作成・送信する❺)

通話履歴の電話番号を電話帳に登録したい 【電話帳登録】

(着信履歴)/(発信履歴)→登録したい履歴を反転表示→→「電話帳登録」→(➲P.2-18 通話履歴から電話帳を登録する❸)

通話履歴の電話番号を着信拒否リストに追加したい 【拒否リスト追加】

(着信履歴)/(発信履歴)→着信拒否リストに追加したい履歴を反転表示→→「拒否リスト追加」→「はい」

通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい 【詳細】

(着信履歴)/(発信履歴)→確認したい履歴を反転表示→→「詳細」

通話履歴の電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけたい 【国際発信】

(着信履歴)/(発信履歴)→国際電話をかけたい履歴を反転表示→→「国際発信」→発信先の国を選択/「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→「日本から」/「海外から」→電話番号を確認→/(発信)

通話履歴から自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい 【発信者番号通知/非通知】

(着信履歴)/(発信履歴)→通知/非通知にして電話をかけたい履歴を反転表示→→「発信者番号通知/非通知」

■ **発信者番号通知サービスの設定に従うとき**

「ネットワーク設定に従う」→/(発信)

■ **番号を通知するとき**

「番号通知」→/(発信)

■ **番号を非通知にするとき**

「番号非通知」→/(発信)

便利

グループ通話サービスに関する便利な機能

グループ通話中に相手を選択して通話を切りたい

グループ通話中に通話を切りたい相手を反転表示→(グループ通話)→「この相手と終話」

グループ通話中にすべての通話を保留にしたい

グループ通話中に(グループ通話)→「全ての相手と保留」

- 保留を解除するには、(グループ通話)→「全ての相手と通話」を選択します。

メール

メールについて

本機では、S!メールとSMSの2種類のメールを利用できます。
S!メールを使うと、デコレメールなどを利用することもできます。
この章では、メールの利用方法と管理方法について説明します。

4

メール

S!メールとSMSの違い

S!メールは、長いメッセージを送信するときやソフトバンク携帯電話以外とメールするときに利用します。
S!メールを使うと、メッセージをデコレーションしたり、画像を添付することもできます。

注意

S!メールのご利用には、別途ご契約が必要です。

SMSは、ソフトバンク携帯電話に短いメッセージをメールするときに利用します。

		S!メール[1]	SMS
入力できる項目	宛先	○	○
	件名	○	×
	添付ファイル	○	×
	本文	○	○
送信できる最大文字数		全角で約15,000文字 半角で約30,000文字 (30Kバイトまで)[2]	全角で70文字 半角で70文字 半角英数記号で160文字[3]
送信できる相手		ソフトバンク携帯電話 ソフトバンク以外の携帯電話 パソコン	ソフトバンク携帯電話
送信できるもの		長い文字メッセージ、画像、 サウンド、デコレメール、 フィーリングメール[4]	短い文字メッセージ

1 宛先や件名、メッセージ、添付ファイルなどを含めたメールサイズの合計は300Kバイトです(返信または転送するメールも同様)。

2 添付ファイルのサイズなどにより、送信できる文字数は変わります。

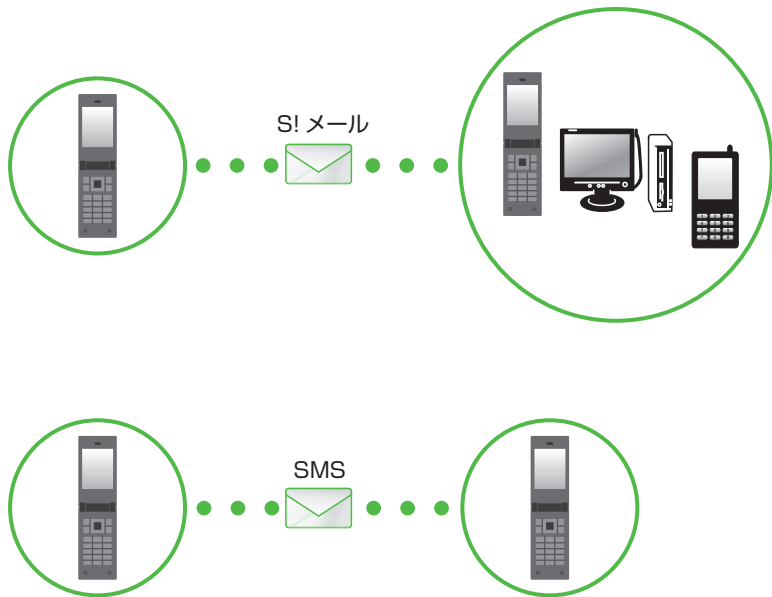
3 「文字コード」(➔P.13-6)を「英語」に設定したときの文字数です。

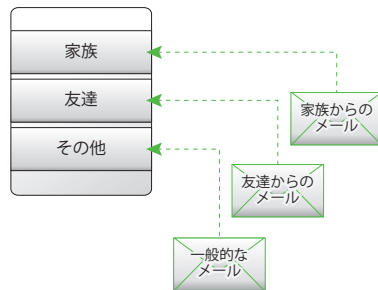
4 フィーリングメール対応機種間でのみ利用できます。

注意

- 本機で作成したメールは、相手側の携帯電話によっては本機と同様に表示されない場合があります。
- 本文にハングルを含むS!メールやSMSを受信した場合は、ハングルを表示できます。ただし、ハングルの入力はSMSの本文にのみできます。
- S!メールで、本文にハングルを含む受信メールを返信/転送すると、ハングルが削除されます。
- SMSの本文をハングルで入力して送信した場合、相手側の携帯電話によっては入力した文字が削除されたりスペースとして表示されることがあります。

メール利用の流れ

メールの送受信の流れは次のとおりです。

メールはフォルダで管理

振り分けルールを登録しておくと、メールが自動的に振り分けられます(➔P.4-18)。

Eメールアドレスの登録／変更

ご契約時のEメールアドレスのアカウント名(@より前の部分)は、ランダムな英数字に設定されています。アカウント名はお好きな文字に変更することができます。
Eメールアドレス変更の詳細については、ソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)でご確認ください。

1 ✉→「設定」→「メール・アドレス設定」

2 画面の指示に従って操作
- Eメールアドレスの変更が完了すると、ソフトバンクよりEメールアドレス変更の完了通知が届きます。

3 ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→Informationからのメールを選択→「はい」

使いこなしチェック!

設定

● Eメールアドレスを変更する（☞P.13-2）

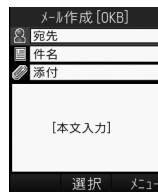
メール作成・送信

作成・送信したメールは、用途に応じてフォルダに振り分けられて管理されます。
たとえば送信したメールは、送信済みボックスに保存されます。
また、作成中のメールは、下書きに保存できます。
S!メールとSMSの作成・送信方法、デコレメールの作成方法、ファイルの添付方法について説明します。

S!メールを作成・送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手にS!メールを送信します。

注意
- S!メールではハングルの表示はできますが、入力や送信はできません。

1 ✉→「新規作成」

S!メール作成画面

2 宛先欄を選択

3 「電話帳検索」→電話帳を検索し、送信したい宛先を選択（➲P.2-18 電話帳を検索する 2）

4 電話番号／Eメールアドレスを選択

5 件名欄を選択→件名を入力

6 ファイルを添付する場合は、添付欄を選択（➲P.4-5）

7 本文入力欄を選択→本文を入力

8 ✉(送信)

・送信履歴や「番号入力」／「アドレス入力」／「グループ検索」からも相手にS!メールを送信することができます（➔P.4-19）。
・待受画面で☒を1秒以上押してもS!メール作成画面を呼び出すことができます。
・S!メールの宛先には電話番号またはEメールアドレスを入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。
・宛先、件名、本文のいずれかを入力した状態、またはファイルを添付した状態でCLEAR／☐／☐を押すとメール作成の終了を確認するメッセージが表示されます。「はい」を選択するとただちにメール作成を終了します。CLEAR／☐を押した場合は、「保存」を選択すると作成中のメールが下書きに保存されます。
・送信したメールは送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」（➔P.13-3）を「On（自動削除）」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。
・作成中のS!メールのサイズは、S!メール作成画面の右上に表示されます。

ファイルを添付する

画像や動画、サウンドを選択して添付できる他、電話帳やカレンダー、予定リスト、オーナー情報の登録内容をvCard形式やvCalendar形式にして添付できます。
S!メールに添付できるファイルのサイズは、宛先や件名、メッセージなどを含めて300Kバイトまでです。
1通のS!メールに添付できるファイルの数は20個までです。

1 ☒→「新規作成」→添付欄を選択

2 ファイルの添付操作

■ データフォルダ内のファイルを添付するとき

「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→添付したいファイルを選択

・添付する画像が300Kバイトを超えている場合は、リサイズ画面が表示されます。サイズを選択してください。

■ 電話帳の登録内容をvCard形式で添付するとき

「電話帳データ」→電話帳を検索し、添付したい電話帳を選択（➔P.2-18）→☒（追加）

■ カレンダー／予定リストの登録内容をvCalendar形式で添付するとき

「カレンダーデータ」→☐で「スケジュール」／「予定」→添付したい登録内容を選択

■ オーナー情報の登録内容をvCard形式で添付するとき

「オーナー情報引用」→☒（追加）

・ファイルを追加するには、添付欄を選択し、「ファイル追加」を選択して操作2を繰り返します。
・ファイルを添付すると、添付ファイルリスト画面にファイルの種別を示すアイコンとファイル名が表示されます。

☐：画像　☐：サウンド
☐：動画　☐：vCalendar
☐：vCard
☐：上記以外のファイル

注意

- メールを送信する相手によっては、添付したファイルを受信できない場合がありますのでご注意ください。ソフトバンク携帯電話が対応するファイルについては、ソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)でご確認ください。
- S!メールで動画を添付するときは、「動画撮影」(➔P.6-9)で撮影したファイルを選択してください。送信できない動画を添付しようとした場合、添付できない旨のメッセージが表示されます。
- オーナー情報の登録内容を添付する場合に、趣味の情報は添付できません。

本文をデコレメールに編集する

ここでは例として、次のとおりに設定します。

- 文字サイズ、背景色を変更
- データフォルダの画像、絵文字を挿入
- 文字を左右に移動表示(スクロール)
- 他の項目については、「S!メール送信に関する便利な機能」(➔P.4-19)を参照してください。

1 ✉→「新規作成」→本文入力欄を選択

2 Y!→「デコレメール」

デコレメール作成画面

3 「サイズ」→「大」/「標準」/「小」→本文を入力

- 続けて他の設定をするときは、✉(装飾)を押して操作します。

4 ✉(装飾)→「背景」

5 背景色を選択

6 ✉(装飾)→「画像」

7 「ピクチャー」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択することができます。
- 画像を撮影して挿入するときは「カメラ起動」を選択します。
- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとにY!を押して「メモリカード」を選択すると、メモリカードからファイルを選択することができます。

8 ✉(装飾)→「マイ絵文字」→絵文字を選択

4 メール

9 ✉(装飾)→Y!(範囲選択)→装飾する最初の箇所に✤でカーソルを合わせ■(始点)→✤で装飾したい範囲を指定→■(終点)

10 「効果」→「スクロール」

11 「右から左へ」/「スウィング」

12 CLEAR→✉(閉じる)→■(完了)

- 1つ前の状態に戻すには、デコレメール作成画面で「戻す」を選択します。
- 装飾をすべてやり直すには、デコレメール作成画面で「解除」→「はい」を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-19

- 宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい
- 宛先を削除したい
- 添付したファイルを削除したい
- S!メールの本文を作成中に文字のサイズを変更したい
- S!メールの本文を作成中に定型文を利用したい
- S!メールの本文を作成中にカーソルを文頭/文末に移動させたい
- S!メールの本文を作成中に予測入力機能や学習機能などの設定をしたい
- S!メールに情報を挿入したい
- S!メールの本文を作成中にユーザ辞書登録したい
- S!メールの本文を作成中にアドレスを簡単に入力したい
- フィーリングメールを送信したい
- フィーリング設定を解除したい
- 作成中のS!メールを下書きに保存したい
- デコレメールテンプレートを登録したい
- テンプレートを利用してS!メールを作成したい
- 入力した本文をすべて削除したい
- S!メール作成画面で本文をスクロールする単位を設定したい
- S!メール作成画面で本文の文頭/文末に移動したい
- 送信前にデルモジ表示を確認したい
- 「アクション設定」を設定したメールを送信したい
- BGM/区切り線を挿入したい
- 入力済みの文字の文字色/文字サイズ/効果を変更したい
- デコレーションを確認したい

設定

- 文字サイズを設定する(☞P.13-2)
- メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する(☞P.13-2)
- 配信レポートの送信を設定する(☞P.13-2)
- 署名の挿入を設定する(☞P.13-2)
- 署名を編集する(☞P.13-2)
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する(☞P.13-3)
- 送信中の進行状況表示を設定する(☞P.13-3)
- 送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する(☞P.13-3)
- 送信メールの優先度を設定する(☞P.13-4)
- 送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する(☞P.13-4)
- 送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する(☞P.13-4)
- 返信先を設定する(☞P.13-5)
- 返信先アドレスを設定する(☞P.13-5)

SMSを作成・送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手にSMSを送信します。

1 ✉→「SMS新規作成」

SMS作成画面

2 宛先欄を選択

3 「電話帳検索」→電話帳を検索し、送信したい宛先を選択（➲P.2-18 電話帳を検索する **2**）

4 電話番号を選択

5 本文入力欄を選択→本文を入力

6 ✉（送信）

- SMSの宛先には電話番号を入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。
- SMSの本文で送信可能な文字数（➲P.4-2）を超えた場合、S!メールに変更する確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとS!メールに切り替わります。本文にハングルが含まれている場合は、ハングルを削除する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとハングルが削除されたS!メールに切り替わります。
- 送信したSMSは送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」（➲P.13-3）を「On（自動削除）」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-23

- 宛先を削除したい
- SMSの本文を作成中に文字のサイズを変更したい
- SMSの本文を作成中に定型文を利用したい
- SMSの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい
- SMSの本文を作成中に予測入力機能や学習機能などの設定をしたい
- SMSに情報を挿入したい
- SMSの本文を作成中にユーザ辞書登録したい
- SMSの本文を作成中にアドレスを簡単に入力したい
- 作成中のSMSを下書きに保存したい
- 作成中のSMSをS!メールに変更したい
- 入力した本文をすべて削除したい
- 送信前にデルモジ表示を確認したい

設定

- 文字サイズを設定する（☞P.13-2）
- メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する（☞P.13-2）
- 配信レポートの送信を設定する（☞P.13-2）
- 署名の挿入を設定する（☞P.13-2）
- 署名を編集する（☞P.13-2）
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.13-3）
- 送信中の進行状況表示を設定する（☞P.13-3）
- 送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する（☞P.13-3）
- 返信先を設定する（☞P.13-5）
- 返信先アドレスを設定する（☞P.13-5）
- メールサーバーへの保存期間を設定する（☞P.13-6）

- SMSセンター番号を設定する（☞P.13-6）
- SMSセンター番号を編集する（☞P.13-6）
- 文字コードを変更する（☞P.13-6）

テンプレートを使ってメールを作成・送信する

1 ✉→「テンプレート」

2 テンプレートの選択操作

■ **デコレメールテンプレートを使用してS!メールを作成・送信するとき**
「デコレメールテンプレート」→使用したいデコレメールテンプレートを選択→■(メール)→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ **定型文を使用してSMSを送信するとき**
「定型文」→使用したい定型文を反転表示→Y!→「送信」→(➔P.4-8 SMSを作成・送信する❷)

メール受信・確認／返信／転送

メールの受信方法には、主に自動受信と手動受信があります。
自動受信は、メール全文が自動的にお客様の機器に送られる受信方法です。
手動受信は、メールの一部分が自動的にお客様の機器に送られる受信方法です。メール全文を受信するためには、続きを受信する必要があります。
受信したメールは、受信ボックスに保存されます。
メールの受信／確認／返信／転送手順について説明します。

新着メールを確認する

メールを受信すると、待受画面に新着メール受信の通知画面が表示され、受信件数と差出人、受信日時が表示されます。

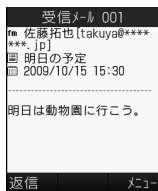
- S!メールでは、添付ファイルを含む全文が自動的に受信されます。お客様のご契約の内容により、所定の料金が発生いたしますので、ご注意ください。自動受信しないように設定することもできます（➔P.4-11）。

受信の通知画面

4 メール

1 通知画面で[■](表示)→フォルダを選択

メール一覧画面

2 新着メールを選択

メッセージ画面
(S!メールの場合)

- デルモジ表示設定の確認メッセージが表示されたときは、「常に表示」/「未読のみ表示」/「表示しない」を選択します。

- デルモジ
デルモジとは、新着または未読のメールを確認するとメッセージが単語や絵文字、顔文字などに合わせた3Dアニメーションで表示されることです。「デルモジ表示設定」(➲P.13-4)を「表示しない」以外に設定している場合、メッセージがデルモジ表示されます。デルモジ表示が終了するか、デルモジ表示中に[✉](停止)を押すと、メッセージ画面が表示されます。各種操作を行う場合は、メッセージ画面が表示されてから操作してください。
- ファイルが添付されている場合は、メールの一番下にファイル名やサムネイルが表示されます。
- 待受画面以外を表示中にメールを受信すると、ディスプレイ最上段に差出人の電話番号またはEメールアドレス(電話帳に登録されている場合は、登録した名前)などがスクロールして表示されます。スクロールが終了すると、ディスプレイ最上段に✉が表示されます(➲P.1-5、P.13-3)。
- 配信レポートを受信すると、ディスプレイ最上段に📄が点滅したあと表示が消えます。待受画面には配信レポート受信の通知画面が表示されます。
- 受信したメールは受信ボックスに保存されます。受信ボックスの「自動削除設定」(➲P.13-2)を「On(自動削除)」に設定している場合、メール受信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます(保護されたメールを除く)。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。

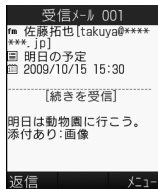
注意

- 海外でのご利用時に「受信設定」の「ローミング自動受信」を「自動受信」に設定すると、メール通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。お買い上げ時は「自動受信」に設定されています(➲P.13-5)。「自動受信」では、お客様の携帯電話に送信されたメール(電話番号宛、Eメールアドレス宛ともに)は自動的に全文受信されます。

メールを手動で受信する

S!メールの「受信設定」(➔P.13-4)を「手動取得」に設定している場合は、受信したS!メールがメールサーバーに一時保存され、メッセージの一部が受信通知として本機に送信されます。続きはメールサーバーから受信する必要があります。

1 ✉→「受信ボックス」

2 フォルダを選択→受信通知を選択

3 「続きを受信」

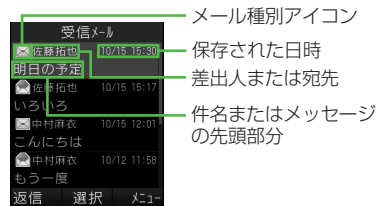
- メール一覧画面に表示される受信通知のアイコン
  未読の受信通知
  :優先度高
  :優先度標準
  :優先度低
  既読の受信通知
  :優先度高
  :優先度標準
  :優先度低

メール一覧からメールを表示する

受信ボックスや下書き、送信済みボックス、未送信ボックスのメール一覧画面から、メッセージを確認できます。

1 ✉→「受信ボックス」/「送信済みボックス」/「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択

メールフォルダー一覧画面
(受信ボックスの場合)

2 メールを選択

メール一覧画面
(受信ボックスの場合)

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、Y!→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→フォルダを選択します。
- メッセージ画面で*/#を押すと、前後のメールのメッセージ画面に切り替わります。
- 受信ボックスや下書き、送信済みボックス、未送信ボックスにデータがない場合は「メールはありません」と表示されます。

- **受信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

未読のS!メール
:優先度高
:優先度標準
:優先度低
:動画やサウンドの挿入あり

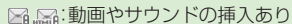
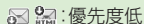
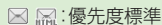
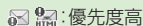
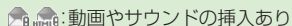
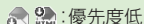
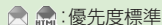
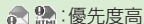
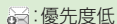
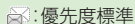
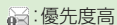
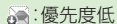
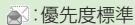
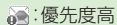
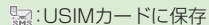
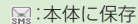
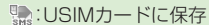
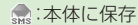
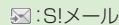
既読のS!メール
:優先度高
:優先度標準
:優先度低
:動画やサウンドの挿入あり

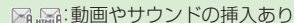
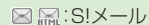
未読の受信通知
:優先度高
:優先度標準
:優先度低

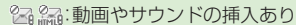
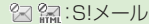
既読の受信通知
:優先度高
:優先度標準
:優先度低

未読のSMS
:本体に保存
:USIMカードに保存

既読のSMS
:本体に保存
:USIMカードに保存

受信中
:S!メール

- **下書きのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S!メール
:S!メール
:動画やサウンドの挿入あり

SMS
:SMS

- **未送信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S!メール
:S!メール
:動画やサウンドの挿入あり
:送信中

SMS
:SMS
:USIMカードに保存
•送信済みボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン
S!メール
:S!メール
:動画やサウンドの挿入あり

SMS
:SMS
:USIMカードに保存

配信レポート
:未読のS!メール
:未読のSMS
•セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」に設定している場合、電話帳のシークレットモードを「シークレットモード-On」に設定している相手とメールの送受信する際に、名前は表示されずに電話番号またはEメールアドレスが表示されます。

受信したメールに返信する

受信したメールの差出人に返信します。

1 →「受信ボックス」

2 フォルダを選択→返信するメールを選択

3 →「返信」→「S!メール」／「S!メール(引用付)」／「SMS」／「SMS(引用付)」

• 受信したメールの本文を残したい場合は、「S!メール(引用付)」または「SMS(引用付)」を選択します。

4 メールの作成操作
(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する5)

•返信するS!メールの件名には「Re:」が自動的に付きます。
•操作3で(返信)を押すと、受信したメールの本文を残したS!メール作成画面またはSMS作成画面が表示されます。

受信したメールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送します。

1 →「受信ボックス」→フォルダを選択

2 転送するメールを反転表示→→「転送」

3 メールの作成操作
(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する2)

•転送するS!メールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
•受信したSMSを転送する場合は、S!メールで転送するかSMSで転送するかを選択できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-25

● 差出人に電話をかけたい
● 受信したS!メールに入力されているすべての宛先へ返信したい
● 受信通知/サーバーメールを転送したい
● 受信通知からメールサーバーに保存されているメールを削除したい
● 添付画像の表示サイズを設定したい

設定

● 文字サイズを設定する(☞P.13-2)
● メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する(☞P.13-2)
● 受信ボックスのメールの自動削除を設定する(☞P.13-2)
● 受信の通知を設定する(☞P.13-3)
● シークレット設定を設定したフォルダの受信通知を設定する(☞P.13-3)
● メール一覧画面の表示方法を設定する(☞P.13-3)
● 受信ボックスのメールの表示方法を設定する(☞P.13-3)
● メッセージのデルモジ表示を設定する(☞P.13-4)
● デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する(☞P.13-4)
● デルモジ表示の表示速度を設定する(☞P.13-4)
● S!メールの受信方法を設定する(☞P.13-4)
● ローミング中に受信するS!メールの受信方法を設定する(☞P.13-5)
● フィーリングメールを受信したときの通知画面に感情の情報を表示するかどうかを設定する(☞P.13-5)
● フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する(☞P.13-5)
● フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する(☞P.13-5)
● フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する(☞P.13-5)
● フィーリングメールの着信音を設定する(☞P.13-5)
● フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する(☞P.13-5)
● 添付画像の表示方法を設定する(☞P.13-5)
● 添付画像の自動再生を設定する(☞P.13-6)
● 添付サウンドの自動再生を設定する(☞P.13-6)

メールの利用

本機では、メールの種類ごとに5種類のメールボックスが用意されています。

メールボックス	メールの種類
受信ボックス	受信したメールが保存されます。
下書き	作成途中で保存したメールが保存されます。
テンプレート	テンプレートとして登録したデコレメールテンプレートやSMSの定型文が保存されます。
送信済みボックス	送信済みのメールが保存されます。
未送信ボックス	送信に失敗したメール、送信をキャンセルしたメール、送信待機中のメールが保存されます。

メールの差出人や宛先、メール内の情報を利用する

メールのメッセージ画面や受信通知画面で、カーソルを合わせると反転表示する情報があります。反転表示された差出人や宛先、メール本文の電話番号、Eメールアドレス、URLを使って、電話帳への登録や、電話の発信、メールの送信、ブックマークへの登録、インターネットへのアクセスを行います。

電話帳に登録する

1 ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→電話番号／Eメールアドレス／URLを選択→「電話帳登録」

2 電話帳の登録操作

■ **新しい電話帳に登録するとき**
「新規」→(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**
「追加」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→電話帳の登録操作(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

ブックマークに登録する

1 ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→URLを選択→「ブックマーク登録」

2 ■(選択)→タイトルを入力→✉(保存)

電話発信／メール送信／インターネットアクセスを行う

メールのメッセージ画面や受信通知画面に表示されている差出人や宛先、電話番号、Eメールアドレス、URLの情報を利用できます。

1 ✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択

2 情報の利用操作

■ **音声電話をかけるとき**
電話番号を選択→「音声通話」

■ **電話番号を変更してから電話をかけるとき**
電話番号を選択→「発信前に電話番号を編集」

■ **メールを送信するとき**
電話番号／Eメールアドレスを選択→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❺、P.4-8 SMSを作成・送信する❺)

■ **インターネットへアクセスするとき**
URLを選択→「URLに接続」→「はい」

- 電話番号を選択してメールを送信する場合は、S!メールを送信するかSMSを送信するかを選択し、メールを作成します。

メールを保護／保護解除する

メールを指定して保護したり、メールボックス内のすべてのメールをまとめて保護します。
保護設定したメールは、削除するときに一度お客様に確認するメッセージを表示します。
保護設定したメールは、その保護を解除できます。

1 ✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択

2 メールの保護／保護解除操作

■ **1件保護／保護解除するとき**
保護／保護解除したいメールを反転表示→Y!→「保護」／「保護解除」→「1件」

■ **複数保護／保護解除するとき**
Y!→「保護」／「保護解除」→「複数」→保護／保護解除したいメールをチェック→✉（保護）／✉（保護解除）

■ **すべて保護／保護解除するとき**
Y!→「保護」／「保護解除」→「全件」

メール／テンプレートを削除する

メールを削除する

メールを指定して削除したり、メールボックス内のすべてのメールをまとめて削除することができます。

1 ✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択

2 メールの削除操作

■ **1件削除するとき**
削除したいメールを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
Y!→「削除」→「複数」→削除したいメールをチェック→✉（削除）→「はい」

■ **選択したボックス内のメールをすべて削除するとき**
Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

テンプレートを削除する

テンプレートを指定して削除したり、登録されているすべてのテンプレートをまとめて削除することができます。

1 ✉→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」／「定型文」

2 テンプレートの削除操作

■ **1件削除するとき**
削除したいデコレメールテンプレート／定型文を反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
Y!→「削除」→「複数」→削除したいデコレメールテンプレート／定型文をチェック→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-26

- 送信済みメール、未送信メールを編集して送信したい
- 受信S!メールや送信済みS!メールをデコレメールテンプレートに保存したい
- デルモジ表示したい
- 差出人や宛先を電話帳に登録したい
- 送信者や宛先を確認したい
- メールの内容をコピーしたい
- 表示中のメールを削除したい
- メールの詳細を確認したい
- メールの文字サイズを設定したい
- メールの文字コードを設定したい
- メッセージ画面のスクロール単位を設定したい
- メッセージ画面の文頭／文末に移動したい
- メール一覧画面の表示方法を設定したい
- メール一覧画面のメールを並べ替えたい
- メールを開封済み／未開封にしたい
- メール一覧画面でSMSを本機／USIMカードに移動したい
- 未送信メールを編集して送信したい
- 未送信メールのエラー詳細を確認したい
- 登録したデコレメールテンプレートをメールで送信したい
- デコレメールテンプレートを移動したい
- デコレメールテンプレートをコピーしたい
- デコレメールテンプレートを送信したい
- デコレメールテンプレートを並べ替えたい
- デコレメールテンプレートを管理したい
- デコレメールテンプレートのフォルダに「シークレット設定」を設定したい
- メールサーバーに保存されているメールを転送したい
- メールリストを利用してサーバー内のメールを削除したい

設定

- 受信ボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.13-2）
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.13-3）
- メール一覧画面の表示方法を設定する（☞P.13-3）

添付ファイルをデータフォルダに保存する

1 ✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択

2 Y!→「添付ファイル保存」

3 ファイルの保存操作

■ 1件保存するとき

保存したいファイルを反転表示→■（選択）

■ 複数保存するとき

Y!→「複数件保存」→保存したいファイルをチェック→✉（保存）

■ すべて保存するとき

Y!→「全件保存」

- 保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは、■（OK）→ファイル名を編集→✉（保存）を押します。

メールのフォルダ管理

受信ボックス、送信済みボックス内に自分でフォルダを作成したり、フォルダにルールを設定して自動でメールを振り分けます。
フォルダには、セキュリティを設定することもできます。ただし、「受信メール」フォルダ、「送信メール」フォルダは削除したり、設定を変更したりすることはできません。

フォルダを作成する

1. ✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」
2. Y!→「フォルダ作成」
3. フォルダ名を編集
   - 新しく作られたフォルダは画面の一番下に位置されます。
   - 同じ名前のフォルダが存在していても、確認メッセージは表示されません。

メールを移動する

1. ✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択
2. メールの移動操作

■ **1件移動するとき**
移動したいメールを反転表示→Y!→「フォルダへ移動」→「1件」

■ **複数移動するとき**
Y!→「フォルダへ移動」→「複数」→移動したいメールをチェック→✉(移動)

■ **すべて移動するとき**
Y!→「フォルダへ移動」→「全件」

3. 移動先のフォルダを選択

- 受信したメールは「受信メール」フォルダに、送信したメールは「送信メール」フォルダに保存されます。他のフォルダに移動したあと、メールをもとのフォルダに戻す場合は、操作❸で「受信メール」フォルダ／「送信メール」フォルダを選択します。

メールを振り分ける

送受信したメールを相手の電話番号やEメールアドレスによって自動的に指定したフォルダに振り分けることができます。S!メールでの件名や、SMSの本文に入力されたテキストでも振り分けることができます。1つのフォルダに設定できるルールは最大20件です。

1. ✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」
2. 振り分けルールを設定したいフォルダを反転表示→Y!→「メール振り分け設定」
3. 振り分けルールの設定操作

■ **振り分ける電話番号／Eメールアドレスを電話帳から選択するとき**
ルール欄を選択→「送信者」／「宛先」→「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ **振り分ける電話番号／Eメールアドレスを直接入力するとき**
ルール欄を選択→「送信者」／「宛先」→「直接入力」→電話番号／Eメールアドレスを入力

■ 振り分ける電話番号／Eメールアドレスを電話帳のグループから選択するとき

ルール欄を選択→「送信者」／「宛先」→「グループ」→グループを選択

・USIMカードに登録されているグループは設定できません。

■ テキストから選択するとき

ルール欄を選択→「件名」→振り分けルールに設定するテキストを入力

4 ✉(OK)

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-31

- フォルダ名を変更したい
- フォルダを削除したい
- シークレット設定を設定したい
- メールの自動振り分けルールを変更したい
- 振り分けルールを削除したい
- フォルダの詳細情報を確認したい

設定

- 受信ボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.13-3）
- 送信済みボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.13-3）

便利な機能

便利

S!メール送信に関する便利な機能

「電話帳検索」以外の方法で宛先を入力したい

S!メール作成画面で宛先欄を選択

■ 履歴から入力するとき

表示されている履歴を選択

■ 電話番号を直接入力するとき

「番号入力」→電話番号を入力

■ Eメールアドレスを直接入力するとき

「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力

■ 電話帳のグループから選択するとき

「グループ検索」→グループを選択

・グループに21件以上登録されている場合、送信したい宛先をチェック→✉(追加)を押してください。

・電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

宛先を追加したい

宛先が入力済みのS!メール作成画面で宛先欄を選択→「宛先追加」

■ 履歴から入力するとき

表示されている履歴を選択→✉(完了)

■ 電話帳から選択するとき

「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→電話番号／Eメールアドレスを選択→✉(完了)

■ 電話番号を直接入力するとき

「番号入力」→電話番号を入力→✉(完了)

■ Eメールアドレスを直接入力するとき

「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力→✉(完了)

■ 電話帳のグループから宛先を選択するとき

「グループ検索」→グループを選択→✉(完了)

・電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

- メール作成画面の宛先欄👤の横に宛先件数が表示されます。

宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい
[TOに変更]／[CCに変更]／[BCCに変更]

S!メール作成画面で宛先欄を選択→変更したい宛先を反転表示→[Y!]→「TOに変更」／「CCに変更」／「BCCに変更」→[✉](完了)

宛先を削除したい **[削除]**

S!メール作成画面で宛先欄を選択

■ 1件削除するとき

削除したい宛先を反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→[✉](完了)

■ すべて削除するとき

[Y!]→「削除」→「全件」→「はい」→[✉](完了)

添付したファイルを確認したい

S!メール作成画面で添付欄を選択→確認したいファイルを反転表示→[■](開く)

添付したファイルを削除したい **[削除]**

S!メール作成画面で添付欄を選択

■ 1件削除するとき

削除したいファイルを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→[✉](完了)

■ すべて削除するとき

[Y!]→「削除」→「全件」→「はい」→[✉](完了)

S!メールの本文を作成中に文字のサイズを変更したい **[文字サイズ]**

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「文字サイズ」→項目を選択

S!メールの本文を作成中に定型文を利用したい **[定型文]**

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「定型文」→定型文を選択

S!メールの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい **[カーソル移動]**

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「カーソル移動」→項目を選択

S!メールの本文を作成中に予測入力機能や学習機能などの設定をしたい **[入力／変換設定]**

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「入力／変換設定」

■ 予測入力機能を設定／解除するとき

「予測入力On」／「予測入力Off」

■ 学習機能を設定／解除するとき

「学習On」／「学習Off」

■ 入力履歴をリセットするとき

「ユーザ辞書リセット」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

■ 絵文字／記号の履歴をリセットするとき

「絵／記号履歴リセット」

S!メールに情報を挿入したい **[その他]**

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「その他」

■ 署名を挿入するとき

「署名挿入」

■ 電話帳の情報を挿入するとき

「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→項目を選択

■ オーナー情報を挿入するとき

「オーナー情報引用」→項目を選択

S!メールの本文を作成中にユーザ辞書登録したい **[ユーザ辞書登録]**

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「ユーザ辞書登録」→(➲P.2-13 入力した文字をユーザ辞書に登録する❷)

S!メールの本文を作成中にアドレスを簡単に入力したい **[簡単アドレス入力]**

S!メールの本文を作成中に[Y!]→「簡単アドレス入力」→項目を選択

フィーリングメールを送信したい **[フィーリング設定]**

S!メール作成画面で[Y!]→「フィーリング設定」→フィーリングを選択→感情を表す絵文字を選択

フィーリング設定を解除したい **[フィーリング設定解除]**

S!メール作成画面で[Y!]→「フィーリング設定解除」

作成中のS!メールを下書きに保存したい　**[下書きに保存]**

S!メール作成画面で[Y!]→「下書きに保存」

- 宛先、件名、本文のいずれかが入力されている、またはファイルが添付／挿入されている場合のみ保存できます。

デコレメールテンプレートを登録したい　**[デコレメールテンプレート保存]**

S!メール作成画面で[Y!]→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

- 本文を装飾している場合のみ、デコレメールテンプレートに保存できます(➔P.4-6)。

テンプレートを利用してS!メールを作成したい　**[デコレメールテンプレート呼出し]**

S!メール作成画面で[Y!]→「デコレメールテンプレート呼出し」→テンプレートを選択

- すでにテンプレートを利用しているときは、編集内容を破棄する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると編集内容は破棄され、新たにテンプレートを呼び出すことができます。

入力した本文をすべて削除したい　**[本文削除]**

S!メール作成画面で本文入力欄を反転表示→[Y!]→「本文削除」→「はい」

S!メール作成画面で本文をスクロールする単位を設定したい　**[スクロール単位]**

S!メール作成画面で本文入力欄を反転表示→[Y!]→「スクロール単位」→項目を選択

S!メール作成画面で本文の文頭／文末に移動したい　**[画面移動]**

S!メール作成画面で入力した本文入力欄を反転表示→[Y!]→「画面移動」→項目を選択

送信前にデルモジ表示を確認したい　**[デルモジ表示]**

S!メール作成画面で[Y!]→「デルモジ表示」

「アクション設定」を設定したメールを送信したい　**[アクション設定]**

S!メール作成画面で[Y!]→「アクション設定」

■相手がメールを読むと自動で削除されるかどうか設定するとき

「メール自動消去」→項目を選択

■相手に返信を要求するとき

「返信リクエスト」→「On/Off設定」→「On」→返信を要求する旨のメッセージを入力

・「On」に設定しているときは、「返信リクエスト」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■相手が転送できないようにするとき

「転送NG」→「On/Off設定」→「On」→転送できない旨のメッセージを入力

・「On」に設定しているときは、「転送NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■相手が削除できないようにするとき

「削除NG」→「On/Off設定」→「On」→削除できない旨のメッセージを入力

・「On」に設定しているときは、「削除NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■相手がクイズ(一問一答)に答えないとメールを読めないようにするとき

「クイズ」→「On/Off設定」→「一問一答」→問題欄を選択→問題を入力→答え欄を選択→答えを入力→メッセージ(正解時)欄を選択→正解の場合のメッセージを入力→メッセージ(不正解時)欄を選択→不正解の場合のメッセージを入力→[✉](完了)

・問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

■ 相手がクイズ(選択式)に答えないとメールを読めないようにするとき

「クイズ」→「On/Off設定」→「選択式」→問題欄を選択→問題を入力→答え欄を反転表示→[キー]で正解番号を選択→選択肢1～4欄を選択し、それぞれに選択肢を入力→メッセージ(正解時)欄を選択→正解の場合のメッセージを入力→メッセージ(不正解時)欄を選択→不正解の場合のメッセージを入力→[メール](完了)

・問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

- 「アクション設定」を設定すると、メールを受け取った相手側の動作を設定できます。

作成中のS!メールの配信確認を設定したい

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「配信確認」→項目を選択

- 「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートが本機に送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のS!メールの返信先を設定したい

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「返信先指定」→項目を選択

- 返信先は「返信先アドレス設定」(➔P.13-5)から設定できます。

作成中のS!メールの優先度を設定したい

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「優先度」→項目を選択

作成中のS!メールのメールサーバーに保存する期限を設定したい

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択

作成中のS!メールの配信時間を指定したい

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択

サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうか設定したい

S!メール作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「サーバーメール転送設定」→項目を選択

- サーバーメール転送時(➔P.4-30)のみ設定できます。

BGM／区切り線を挿入したい

[デコレメール]

S!メール作成画面で本文入力欄を選択→[Y!]→「デコレメール」→「挿入」

■ データフォルダからBGMを挿入するとき

「BGM」→「着うた･メロディ」／「ミュージック」→ファイルを選択

■ BGMを録音して挿入するとき

「BGM」→「ボイスレコーダー起動」→[■](録音)→[メール](停止)→[Y!]→「メールに追加」

■ 区切り線を挿入するとき

「区切り線」

挿入したBGMを解除したい

BGMが挿入済みのデコレメール作成画面で本文入力欄を選択→[メール](装飾)→「挿入」→「BGMを削除」

入力済みの文字の文字色／文字サイズ／効果を変更したい　[デコレメール]

文字が入力済みのS!メール作成画面で本文入力欄を選択→Y!→「デコレメール」→Y!(範囲選択)→装飾する最初の文字に✣でカーソルを合わせ■(始点)→✣で変更したい範囲を指定→■(終点)

■ **文字色を変えるとき**

「色」→文字色を選択

■ **文字サイズを変えるとき**

「サイズ」→項目を選択

■ **効果を変えるとき**

「効果」→効果を選択→項目を選択

■ **もとに戻すとき**

「戻す」

デコレーションを確認したい　[プレビュー]

デコレメールの本文を作成中にY!→「プレビュー」

便利

SMS送信に関する便利な機能

「電話帳検索」以外の方法で宛先を入力したい

SMS作成画面で宛先欄を選択

■ **履歴から入力するとき**

表示されている履歴を選択

■ **電話番号を直接入力するとき**

「番号入力」→電話番号を入力

■ **電話帳のグループから選択するとき**

「グループ検索」→グループを選択

・グループに21件以上登録されている場合、送信したい宛先をチェック→✉(追加)を押してください。

・電話番号が複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号を選択してください。

・「優先電話番号設定」の「メール」にEメールアドレスが設定されている電話帳は、宛先に設定できません。

宛先を追加したい

宛先が入力済みのSMS作成画面で宛先欄を選択→「宛先追加」

■ **履歴から入力するとき**

表示されている履歴を選択→✉(完了)

■ **電話帳から選択するとき**

「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→電話番号を選択→✉(完了)

■ **電話番号を直接入力するとき**

「番号入力」→電話番号を入力→✉(完了)

■ **電話帳のグループから選択するとき**

「グループ検索」→グループを選択→✉(完了)

・電話番号が複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号を選択してください。

・「優先電話番号設定」の「メール」にEメールアドレスが設定されている電話帳は、宛先に設定できません。

- SMS作成画面の宛先欄👤の横に宛先件数が表示されます。

宛先を削除したい 【削除】

SMS作成画面で宛先欄を選択

■ 1件削除するとき

削除したい宛先を反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→[✉](完了)

■ すべて削除するとき

[Y!]→「削除」→「全件」→「はい」→[✉](完了)

SMSの本文を作成中に文字のサイズを変更したい 【文字サイズ】

SMSの本文を作成中に[Y!]→「文字サイズ」→項目を選択

SMSの本文を作成中に定型文を利用したい 【定型文】

SMSの本文を作成中に[Y!]→「定型文」→定型文を選択

SMSの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい 【カーソル移動】

SMSの本文を作成中に[Y!]→「カーソル移動」→項目を選択

SMSの本文を作成中に予測入力機能や学習機能などの設定をしたい 【入力／変換設定】

SMSの本文を作成中に[Y!]→「入力／変換設定」

■ 予測入力機能を設定／解除するとき

「予測入力On」／「予測入力Off」

■ 学習機能を設定／解除するとき

「学習On」／「学習Off」

■ 入力履歴をリセットするとき

「ユーザ辞書リセット」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

■ 絵文字／記号の履歴をリセットするとき

「絵／記号履歴リセット」

SMSに情報を挿入したい 【その他】

SMSの本文を作成中に[Y!]→「その他」

■ 署名を挿入するとき

「署名挿入」

■ 電話帳の情報を挿入するとき

「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→項目を選択

■ オーナー情報を挿入するとき

「オーナー情報引用」→項目を選択

SMSの本文を作成中にユーザ辞書登録したい 【ユーザ辞書登録】

SMSの本文を作成中に[Y!]→「ユーザ辞書登録」→(➔P.2-13 入力した文字をユーザ辞書に登録する②)

SMSの本文を作成中にアドレスを簡単に入力したい 【簡単アドレス入力】

SMSの本文を作成中に[Y!]→「簡単アドレス入力」→項目を選択

作成中のSMSを下書きに保存したい 【下書きに保存】

SMS作成画面で[Y!]→「下書きに保存」

- 宛先、本文のいずれかが入力されている場合のみ保存できます。

作成中のSMSをS!メールに変更したい 【S!メールに変換】

SMS作成画面で[Y!]→「S!メールに変換」

作成中のSMSの配信確認を設定したい

SMS作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「配信確認」→項目を選択

- 「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートが本機に送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のSMSの有効期限を設定したい

SMS作成画面で[Y!]→「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択

入力した本文をすべて削除したい **[本文削除]**

SMS作成画面で本文入力欄を反転表示→Y!→「本文削除」→「はい」

送信前にデルモジ表示を確認したい **[デルモジ表示]**

SMS作成画面でY!→「デルモジ表示」

便利

受信メールに関する便利な機能

手動でメールを受信したい

✉→「新着メール受信」

差出人に電話をかけたい **[発信]**

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを反転表示→Y!→「発信」

- 宛先人が電話番号の場合のみ利用できます。

受信したS!メールに入力されているすべての宛先へ返信したい **[全員に返信]**

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「全員に返信」→項目を選択→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❺)

受信通知／サーバーメールを転送したい **[転送]**

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→転送したい受信通知を選択→Y!→「転送」→項目を選択→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

受信通知からメールサーバーに保存されているメールを削除したい **[削除]**

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→受信通知を選択→Y!→「削除」→項目を選択→「はい」

添付画像の表示サイズを設定したい **[画像表示設定]**

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「画像表示設定」→項目を選択

便利

メールの利用／管理に関する便利な機能

送信済みメール、未送信メールを編集して送信したい　[編集と送信]

✉→「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→Y!→「編集と送信」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❷、P.4-8 SMSを作成・送信する❷)

添付ファイルを確認したい

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→ファイルを選択→「開く」

- 確認前にファイルをデータフォルダに保存するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「保存」を選択します。
- 確認前にvCardやvCalendarを電話帳やカレンダー、予定リストに登録するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「電話帳登録」／「カレンダーに登録」を選択します。
- 確認後にvCardやvCalendarを電話帳やカレンダー、予定リストに登録するには、■(登録)を押します。
- コンテンツ・キーの購入／取得が必要なファイルが添付されている場合は、確認メッセージが表示されます。ファイルを確認するときは、「はい」を選択してコンテンツ・キーを購入または取得します。
- 回数制限があり、1回だけ再生／表示できるファイルが添付されているときは、表示／再生回数が1回だけ残っていることをお知らせするメッセージが表示されます。

受信S!メールや送信済みS!メールをデコレメールテンプレートに保存したい　[デコレメールテンプレート保存]

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

- 本文を装飾している場合のみ、デコレメールテンプレートに保存できます(➲P.4-6)。

デルモジ表示したい　[デルモジ表示]

✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→Y!→「デルモジ表示」

差出人や宛先を電話帳に登録したい　[電話帳登録]

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「電話帳登録」→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ 新しい電話帳に登録するとき

「新規」→(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

■ 既存の電話帳に追加登録するとき

「追加」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→電話帳の登録操作(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

送信者や宛先を確認したい　[メールアドレス表示]

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→Y!→「メールアドレス表示」

メールの内容をコピーしたい　**[コピー]**

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「コピー」

■ 差出人や宛先をコピーするとき

「アドレス」→コピーしたいアドレスを選択

■ 件名をコピーするとき

「件名」(➔P.2-21 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい)

■ 本文をコピーするとき

「本文」(➔P.2-21 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい)

表示中のメールを削除したい　**[削除]**

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「削除」→「はい」

メールの詳細を確認したい　**[詳細]**

✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを反転表示→[Y!]→「詳細」

メールの文字サイズを設定したい　**[文字サイズ]**

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「文字サイズ」→項目を選択

メールの文字コードを設定したい　**[文字コード変換]**

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「文字コード変換」→項目を選択

メッセージ画面のスクロール単位を設定したい　**[スクロール単位]**

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「スクロール単位」→項目を選択

メッセージ画面の文頭／文末に移動したい　**[画面移動]**

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→[Y!]→「画面移動」→項目を選択

メール一覧画面の表示方法を設定したい　**[表示切替]**

✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→[Y!]→「表示切替」→項目を選択

- メニューから行った表示切替は、メール一覧画面を閉じると無効になります。
- 表示切替の項目は、選択するフォルダによって異なります。

メール一覧画面のメールを並べ替えたい　**[ソート]**

✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→[Y!]→「ソート」→項目を選択

- 並べ替えができる項目は、次のとおりです。
  - 日付の順(「日付:新しい順」／「日付:古い順」)
  - 送信者の順(「送信者順」)
  - 宛先の順(「宛先順」)
  - 未読／既読を分けて表示(「未読／既読順」)
  - メールの種類ごとに分けて表示(「メールタイプ順」)
  - 件名の順(「件名順」)
  - メールサイズの大きい順(「サイズ順」)
  - 添付ファイルあり／なしを分けて表示(「添付順」)
  - 優先度の順(「優先度順」)
  - 保護されている／されていないメールを分けて表示(「保護順」)
- 「メールタイプ順」を選択したときは、S!メール(受信通知を含む)、USIMカードに保存されているSMS、本機に保存されているSMSの順で表示されます。

- 「送信者順」「件名順」を選択したときは、半角記号、半角数字、半角英字、半角カタカナ、全角記号、全角ひらがな、全角カタカナ、漢字、全角数字、全角英字の順で表示されます。ただし、「件名順」を選択したときは「タイトルなし」が優先されます。

メールを開封済み／未開封にしたい　**[開封済みに変更]／[未開封に変更]**

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択

■ 1件開封済み／未開封にするとき

開封済み／未開封にしたいメールを反転表示→Y!→「開封済みに変更」／「未開封に変更」→「1件」

■ 複数開封済み／未開封にするとき

開封済み／未開封にしたいメールを反転表示→Y!→「開封済みに変更」／「未開封に変更」→「複数」→開封済み／未開封にしたいメールをチェック→✉(未読／既読)

■ すべて開封済み／未開封にするとき

Y!→「開封済みに変更」／「未開封に変更」→「全件」

メール一覧画面でSMSを本機／USIMカードに移動したい　**[本体に移動]／[USIMに移動]**

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→移動したいSMSを反転表示→Y!→「本体に移動」／「USIMに移動」

- USIMカードには、最大10通のSMSを保存できます。USIMカードに保存できる件数は、カードの種類によって異なります。
- 作成したフォルダにある受信SMSをUSIMカードに移動する場合は、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとUSIMカードに移動します。

下書きからメールを送信したい

✉→「下書き」→メールを選択→✉(送信)

- 宛先が入力されていないときは✉(送信)は表示されません。

配信レポートを確認したい

✉→「送信済みボックス」→フォルダを選択→「配信確認」を設定したメールを選択→✉(レポート)

- SMSまたは電話番号を宛先にしたS!メールで送信した場合に、確認できます。

未送信メールを再送信したい

✉→「未送信ボックス」→再送信したいメールを反転表示→✉(再送信)

未送信メールを編集して送信したい　**[編集]**

✉→「未送信ボックス」→編集したいメールを反転表示→Y!→「編集」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷、P.4-8 SMSを作成・送信する❷)

未送信メールのエラー詳細を確認したい　**[エラー詳細]**

✉→「未送信ボックス」→確認したいメールを反転表示→Y!→「エラー詳細」

登録したデコレメールテンプレートを表示して確認したい

✉→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択

登録したデコレメールテンプレートを編集したい

✉→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→■(メール)→本文入力欄を選択→本文を入力→■(完了)→Y!→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

登録したデコレメールテンプレートをメールで送信したい　**[メール添付送信]**

✉→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→Y!→「メール添付送信」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

4 メール

デコレメールテンプレートを移動したい　[移動]

✉→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→必要に応じてフォルダを選択

■ 1件移動するとき

移動したいデコレメールテンプレートを反転表示→Y!→「移動」→「1件」→移動先を選択

■ 複数移動するとき

Y!→「移動」→「複数」→移動したいデコレメールテンプレートをチェック→✉(移動)→移動先を選択

■ すべて移動するとき

Y!→「移動」→「全件」→移動先を選択

- 新規にフォルダを作成してその中に移動する場合は、Y!(作成)→フォルダ名を入力します。

デコレメールテンプレートをコピーしたい　[コピー]

✉→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→必要に応じてフォルダを選択

■ 1件コピーするとき

コピーしたいデコレメールテンプレートを反転表示→Y!→「コピー」→「1件」→コピー先を選択

■ 複数コピーするとき

Y!→「コピー」→「複数」→コピーしたいデコレメールテンプレートをチェック→✉(コピー)→コピー先を選択

■ すべてコピーするとき

Y!→「コピー」→「全件」→コピー先を選択

デコレメールテンプレートを送信したい　[送信]

✉→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→必要に応じてフォルダを選択→送信したいデコレメールテンプレートを反転表示→Y!→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ 赤外線通信で送信するとき

「赤外線通信」→送信したいデコレメールテンプレートをチェック→✉(送信)(➔P.12-4)

デコレメールテンプレートを並べ替えたい　[ソート]

✉→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→Y!→「ソート」→項目を選択

デコレメールテンプレートを管理したい　[データ管理]

✉→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→必要に応じてフォルダ／デコレメールテンプレートを反転表示→Y!→「データ管理」

■ フォルダ名／テンプレート名を変更するとき

「フォルダ名変更」／「テンプレート名変更」→名前を入力

■ フォルダを作成するとき

「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

デコレメールテンプレートのフォルダに「シークレット設定」を設定したい　[シークレット設定]

✉→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→フォルダを反転表示→Y!→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→■(OK)

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、Y!→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■(OK)を押します。

よく使う文を定型文に登録したい

✉→「テンプレート」→「定型文」

■ 1件も登録されていないとき

✉(新規追加)→文を入力

■ すでに登録されているとき

Y!→「新規追加」→文を入力

- 定型文は、最大70文字まで登録できます。

定型文を編集したい

✉→「テンプレート」→「定型文」→編集したい内容を反転表示→■(編集)→文を編集

メールサーバーに保存されているメールを確認したい

✉→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」

- メールリストを受信後に✉(更新)またはY!→「メールリスト更新」を選択すると、再度更新ができます。

メールリストからメールを受信したい

✉→「サーバーメール操作」

■ メールを選択して受信するとき

「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→受信したいメールを反転表示→■(受信)

■ すべてのメールを受信するとき

「メール全受信」

・「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→Y!→「メール全受信」を選択しても同じ操作を行うことができます。

メールサーバーに保存されているメールを転送したい **[サーバーメール転送]**

✉→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→メールを反転表示→Y!→「サーバーメール転送」→宛先欄を選択

■ 履歴を利用して宛先を選択するとき

表示されている履歴を選択→✉(送信)

■ 電話帳から宛先を選択するとき

「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→電話番号/Eメールアドレスを選択→✉(送信)

■ 電話番号を宛先として直接入力するとき

「番号入力」→電話番号を入力→✉(送信)

■ Eメールアドレスを宛先として直接入力するとき

「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力→✉(送信)

■ 電話帳のグループから宛先を選択するとき

「グループ検索」→グループを選択→宛先の選択画面が表示された場合は入力したい宛先を選択→✉(送信)

- 件名や本文を編集するには、宛先入力後に件名欄または本文入力欄を選択し、編集操作(➔P.4-4)をします。
- 転送するメールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうかをあらかじめ設定することができます(➔P.4-22 サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうか設定したい)。

メールサーバーに保存されているメールをすべて削除したい

✉→「サーバーメール操作」→「メール全削除」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→項目を選択

メールリストを利用してサーバー内のメールを削除したい **[削除]**

✉→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」

■ 1件削除するとき

削除したいメールを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y!→「削除」→「複数」→削除したいメールをチェック→✉(削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

メールサーバーの使用状況を確認したい

✉→「サーバーメール操作」→「サーバーメール容量」

- 最新の情報に更新する場合は■(更新)を押します。

メモリの使用状況を確認したい

✉→「メモリ容量確認」

- 「受信ボックス」/「下書き」/「送信済みボックス」/「未送信ボックス」のサイズ容量が表示されます。
- メールの件数容量を確認したいときは、Y!(件数)を押します。
- USIMカード内に保存したSMSの件数は、メールの件数容量が表示されている画面でのみ確認できます。
- 確認したメモリを削除するには✉(削除)→「はい」を選択します(➲P.11-16 登録/保存した内容を削除してメモリを整理したい)。

便利

フォルダ管理に関する便利な機能

フォルダ名を変更したい　【フォルダ名変更】

✉→「受信ボックス」/「送信済みボックス」→変更したいフォルダを反転表示→Y!→「フォルダ名変更」→名前を入力

フォルダを削除したい　【削除】

✉→「受信ボックス」/「送信済みボックス」→削除したいフォルダを反転表示→Y!→「削除」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

シークレット設定を設定したい　【シークレット設定】

✉→「受信ボックス」/「送信済みボックス」→シークレット設定を設定したいフォルダを反転表示→Y!→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→■(OK)

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、Y!→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■(OK)押します。

メールの自動振り分けルールを変更したい　【ルール変更】

✉→「受信ボックス」/「送信済みボックス」→ルールを変更したいフォルダを反転表示→Y!→「メール振り分け設定」→変更したいルール欄を反転表示→Y!→「ルール変更」→(➲P.4-18 メールを振り分ける❸)

振り分けルールを削除したい　【削除】

✉→「受信ボックス」/「送信済みボックス」→ルールを削除したいフォルダを反転表示→Y!→「メール振り分け設定」

■ 1件削除するとき

削除したいルール欄を反転表示→Y!→「削除」→「1件」

■ すべて削除するとき

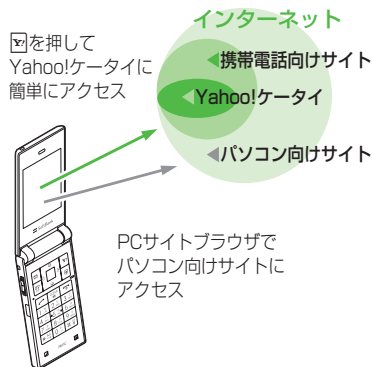
Y!→「削除」→「全件」→「はい」

フォルダの詳細情報を確認したい　【詳細】

✉→「受信ボックス」/「送信済みボックス」→詳細情報を確認したいフォルダを反転表示→Y!→「詳細」

インターネット

インターネットについて

本機では、Yahoo!ケータイやPCサイトブラウザでインターネットにアクセスし、コンテンツの閲覧や、画像やサウンドなどのダウンロードを行うことができます。
この章では、インターネットの使いかたについて説明します。

- Yahoo!ケータイやPCサイトブラウザでインターネットにアクセスしたとき、表示される画面を情報画面といいます。
- 本書では、ソフトバンクのポータルサイトを「Yahoo!ケータイ」、PCサイトブラウザを利用して閲覧できるサイトを「PCサイト」とし、これらの総称を「インターネット」と表記しています。
- インターネットのご利用には、別途ご契約が必要です。
- インターネットのご利用前に、あらかじめネットワーク自動調整を行う必要があります。

注意

- 情報画面への接続時にパケット通信料がかかります。

安全に通信するしくみ(SSL/TLS)

SSL(Secure Sockets Layer) とTLS (Transport Layer Security)とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル(通信規約)です。SSL/TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーにかかわる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。

本機では、あらかじめ認証機関から発行されたサーバー証明書が登録されていて、確認することもできます(➔P.5-12、P.5-15)。

注意

- SSL/TLSの利用について
  セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてSSL/TLSを利用するものとします。
  お客様自身によるSSL/TLSの利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、エントラストジャパン株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社は、お客様に対しSSL/TLSの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

一時保存用メモリ(キャッシュ)ですばやく表示

キャッシュとは、インターネットで入手したメニューや情報を、一時的に保存するメモリです。キャッシュに保存された情報は、インターネットを終了したり電源を切ったりしても保持されますが、メモリの容量がいっぱいになると古い情報から自動的に消去されます。
キャッシュに情報が保存されている情報画面を再表示すると、サービスセンター内の最新情報ではなく、以前に表示した情報画面が表示される場合があります。最新の情報を表示するには、情報を更新してください。

- 本機に他のUSIMカードを取り付けたときは、キャッシュに保存されている情報が自動的に消去されます。
- 有効期限が設定されている情報が保存されているときは、設定されている期限になると、キャッシュから自動的に消去されます。

Yahoo!ケータイ

Yahoo!ケータイを利用すれば、いろいろなコンテンツを閲覧したり、ダウンロードすることができます。
Yahoo!ケータイの利用方法には、メインメニューからアクセスする方法と、メニューリストからアクセスする方法、URLを直接入力する方法、閲覧履歴を利用する方法があります。

Yahoo!ケータイのメインメニューからアクセスする

Yahoo!ケータイのメインメニューから項目を選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

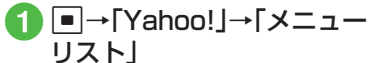
1 [Y!]
2 **項目を選択**

- お買い上げ後に初めてインターネットにアクセスすると、操作1でネットワーク自動調整画面が表示されます。ネットワーク自動調整を行うと、情報画面が表示されます。
- PCサイトブラウザの情報画面に切り替えるには、Yahoo!ケータイの情報画面で[Y!]→「便利機能」→「PCサイトブラウザ切替」→「このページ」/「リンク先」→警告メッセージが表示されたときは、[■](OK)→「はい」/「いいえ」を選択します。

注意

- 「Referer送出」を「送出しない」に設定していると、情報画面を表示できない場合があります(➔P.5-12)。

Yahoo!ケータイのメニューリストからアクセスする

Yahoo!ケータイのメニューリストから項目を選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

1 [■]→「Yahoo!」→「メニューリスト」
2 **項目を選択**

URLを入力してアクセスする

Yahoo!ケータイのURL入力から閲覧したい情報画面のURLを入力することで、目的の情報画面にアクセスできます。

1 ■→「Yahoo!」→「URL入力」

- URL欄には、あらかじめ「http://」が入力されています。

2 URLを入力

一度見たサイトにアクセスする(閲覧履歴)

Yahoo!ケータイからアクセスしたサイトは、Yahoo!ケータイの閲覧履歴に登録されます。
閲覧履歴では、閲覧したいサイトを選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

1 ■→「Yahoo!」→「閲覧履歴」

2 サイトを選択

使いこなしチェック!

便利 (☞P.5-10)

- 情報画面で次の情報画面に移動したい
- 情報画面のテキストをコピーしたい
- 情報画面を最新の情報に更新したい
- 情報画面でURLを入力して他の情報画面にアクセスしたい
- URLを簡単に入力したい
- 履歴を使ってURLを入力したい
- 閲覧履歴を送信したい
- 閲覧履歴を削除したい
- 情報画面からYahoo!ケータイのメインメニューに移動したい
- メニュー操作からブラウザを終了したい

設定

- 情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する(☞P.13-6)
- 情報画面でのスクロール単位を設定する(☞P.13-6)
- 情報画面で画像を表示するかどうか設定する(☞P.13-6)
- 情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する(☞P.13-6)
- 情報画面のキャッシュ/Cookie/認証情報を消去する(☞P.13-6)
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する(☞P.13-7)
- Refererを送信するかどうか設定する(☞P.13-7)
- Cookieの有効/無効を設定する(☞P.13-7)
- スクリプトの有効/無効を設定する(☞P.13-7)
- ルート証明書を確認する(☞P.13-7)
- 認証情報の保存期間を設定する(☞P.13-7)
- ブラウザを初期化する(☞P.13-7)
- 設定をリセットする(☞P.13-7)

PCサイトの閲覧

PCサイトブラウザを利用すれば、パソコン向けに作成された情報画面にアクセスし、コンテンツを閲覧したり、ダウンロードすることができます。
PCサイトの閲覧方法には、メインメニューからアクセスする方法と、URLを直接入力する方法、閲覧履歴を利用する方法があります。

PCサイトブラウザのホームページからアクセスする

PCサイトブラウザのホームページから項目を選択し、パソコン向けサイトの情報画面にアクセスできます。

1 **■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ホームページ」**

- 警告メッセージが表示されたときは、■(OK)を押し、「はい」／「いいえ」を選択します。

2 **項目を選択**

- PCサイトブラウザを起動すると、ディスプレイ最上段に■が表示されます。
- サイトによっては正しく表示されない場合があります。
- Yahoo!ケータイの情報画面に切り替えるには、PCサイトブラウザの情報画面でY!→「便利機能」→「ブラウザ切替」→「このページ」／「リンク先」→警告メッセージが表示されたときは、■(OK)→「はい」／「いいえ」を選択します。

注意

- 「Referer送出」を「送出しない」に設定していると、情報画面を表示できない場合があります(➔P.5-15)。
- データ量の多い情報画面を表示するときはパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

URLを入力してアクセスする

PCサイトブラウザのURL入力から閲覧したい情報画面のURLを入力することで、目的の情報画面にアクセスできます。

1 **■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「URL入力」**

- URL欄には、あらかじめ「http://」が入力されています。

2 **URLを入力**

- 警告メッセージが表示されたときは、■(OK)を押し、「はい」／「いいえ」を選択します。

一度見たサイトにアクセスする（閲覧履歴）

PCサイトブラウザからアクセスしたサイトは、PCサイトブラウザの閲覧履歴に登録されます。
閲覧履歴では、閲覧したいサイトを選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

1 ■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」

2 サイトを選択

- 警告メッセージが表示されたときは、■（OK）を押し、「はい」／「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-13

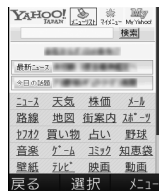
- 情報画面で次の情報画面に移動したい
- 情報画面のテキストをコピーしたい
- 情報画面を最新の情報に更新したい
- 情報画面でURLを入力して他の情報画面にアクセスしたい
- URLを簡単に入力したい
- 履歴を使ってURLを入力したい
- 閲覧履歴を送信したい
- 閲覧履歴を削除したい
- 情報画面からPCサイトブラウザのメインメニューに移動したい
- 情報画面の表示幅を変更したい
- メニュー操作からブラウザを終了したい

設定

- 情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する（☞P.13-7）
- 情報画面でのスクロール単位を設定する（☞P.13-7）
- 情報画面で画像を表示するかどうか設定する（☞P.13-7）
- 情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する（☞P.13-7）
- 情報画面のキャッシュ／Cookie／認証情報を消去する（☞P.13-7）
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する（☞P.13-7）
- Refererを送信するかどうか設定する（☞P.13-8）
- Cookieの有効／無効を設定する（☞P.13-8）
- スクリプトの有効／無効を設定する（☞P.13-8）
- ルート証明書を確認する（☞P.13-8）
- 認証情報の保存期間を設定する（☞P.13-8）
- 警告メッセージを表示するかどうか設定する（☞P.13-8）
- ブラウザを初期化する（☞P.13-8）
- 設定をリセットする（☞P.13-8）

情報画面の操作

情報画面では、文字や画像などが表示されます。
表示された文字などは、拡大したり縮小したりすることもできます。
情報画面では、メニューなどを選択して閲覧したい情報画面にリンクしたり、ラジオボタンを選択して条件を設定することができます。

メニューを選択する

情報画面
（Yahoo!ケータイ）

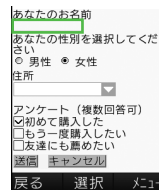
1 [上]／[下]で上方向／下方向にスクロール

- [上]／[下]を押すと、上方向／下方向に複数行分スクロールします。
- 情報画面の下部に横方向のスクロールバーが表示されている場合は、[左]／[右]を押すと左方向／右方向にスクロールします。

2 目的のメニューを反転表示→[■]（選択）

- 前の情報画面がない状態で[✉]（戻る）／[CLEAR]を押すと、インターネット接続終了の確認メッセージが表示され、「はい」を選択するとインターネット接続を終了します。
- [✉]（戻る）／[CLEAR]を押すと、1つ前の情報画面へ戻ります。
- リンクなどを反転表示して[■]（選択）を押すと、選択した情報画面に進みます。
- [Y!]→「進む」を選択すると、[✉]（戻る）／[CLEAR]を押す前の状態に戻ります。

文字を入力する

登録内容や認証のパスワードなどを入力します。

1 文字入力欄を選択

2 文字を入力

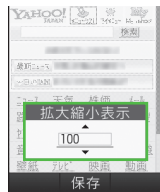
注意

- 文字入力や項目選択の表示は、表示する情報画面によって異なる場合があります。

5 インターネット

画面の一部分を拡大する／縮小する

1 Y!→「便利機能」→「拡大縮小表示」

2 ◎で倍率を選択→■（保存）

複数の画面を切り替えて表示する（タブ）

画面上部に表示されるタブを利用して、最大3つの情報画面を表示できます。

1 情報画面を表示

■ **新しいタブで開くとき**

表示したいリンクを反転表示→Y!→「タブメニュー」→「新しいタブで開く」

■ **タブを切り替えるとき**

Y!→「タブメニュー」→「タブ切替」→◎で表示したいタブに切り替え→■（選択）

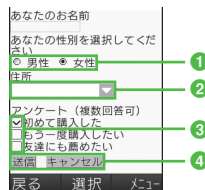
■ **選択中のタブを閉じるとき**

Y!→「タブメニュー」→「選択中のタブを閉じる」

■ **タブを選択して閉じるとき**

Y!→「タブメニュー」→「他のタブを閉じる」→◎で閉じたいタブに切り替え→■（選択）

- Yahoo!ケータイの情報画面とPCサイトブラウザの情報画面は同時に表示できません。
- 情報画面によっては、自動的にタブが追加されることがあります。
- 複数の情報画面を表示しているときは、情報画面が一部表示できないことがあります。不要となった情報画面は閉じて閲覧することをおすすめします。

ボタン／チェックボックス／ラジオボタンなどを利用する

1 ラジオボタン

複数の選択項目から1つの項目を選択するには、○の項目を反転表示→■（選択）

◉に変わり、選択された状態になります。

2 メニュー欄

メニューを表示して項目を選択するには、メニューを反転表示→■（選択）→項目を反転表示→■（選択）

3 チェックボックス

複数の選択項目から複数の項目を選択するには、□の項目を反転表示→■（選択）

☑に変わり、選択された状態になります。

❹ 実行ボタン
ボタンに表示されている操作を実行するには、ボタンを反転表示→■(選択)

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-16

設定

- 情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する(☞P.13-6、P.13-7)
- 情報画面でのスクロール単位を設定する(☞P.13-6、P.13-7)
- 情報画面で画像を表示するかどうか設定する(☞P.13-6、P.13-7)
- 情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する(☞P.13-6、P.13-7)
- メニューリストのメニュー文字サイズを変更する(☞P.13-14)
- Yahoo!ケータイの情報画面の文字サイズを変更する(☞P.13-14)
- PCサイトブラウザの情報画面の文字サイズを変更する(☞P.13-14)

ブックマーク/画面メモ

ブックマークには情報画面のURLが登録され、インターネットに接続することで情報画面を表示できます。
画面メモには情報画面そのものが登録され、インターネットに接続せずに情報画面を表示できます。

ブックマークに登録する

ブックマークは、Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザそれぞれで最大50件まで保存できます。

1 情報画面を表示

2 Y!→「ブックマーク」→「登録」

3 タイトルを入力

ブックマークから接続する

1 ■→「Yahoo!」→「ブックマーク」

- PCサイトブラウザのブックマークから接続するときは、■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」を選択します。

2 ブックマークを選択

注意

- 情報画面への接続時には、パケット通信料が発生します。

画面メモに登録する

画面メモは、Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザでそれぞれ最大30件まで登録できます。

1 情報画面を表示

2 Y!→「画面メモ」→「登録」

3 タイトルを入力

画面メモを表示する

1 ■→「Yahoo!」→「画面メモ」

- PCサイトブラウザの画面メモを表示するときは、■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「画面メモ」を選択します。

2 画面メモを選択

注意

- 画面メモを保存したときに取り付けていたUSIMカードを差し替えると、画面メモは表示できません。

5 インターネット

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-17

- ブックマークを直接入力して登録したい
- ブックマークのURLをメールで送信したい
- ブックマークのURLを赤外線通信で送信したい
- ブックマークを並べ替えたい
- ブックマークをデータフォルダに保存したい
- ブックマークの詳細を確認したい
- Yahoo!ケータイのブックマークを削除したい
- PCサイトブラウザのブックマークを削除したい
- 画面メモのタイトルを編集したい
- 画面メモを並べ替えたい
- Yahoo!ケータイの画面メモを削除したい
- PCサイトブラウザの画面メモを削除したい

便利な機能

便利

Yahoo!ケータイに関する便利な機能

情報画面で次の情報画面に移動したい [進む]

情報画面でY!→「進む」

情報画面のテキストをコピーしたい [テキストコピー]

情報画面でY!→「テキストコピー」

■ **文字を選択してコピーするとき**

コピーしたい最初の文字に✥でカーソルを合わせ■(始点)→✥で範囲を指定→■(終点)

■ **文字入力画面上のすべての文字をコピーするとき**

Y!(全て)

情報画面を最新の情報に更新したい [更新]

情報画面でY!→「更新」

情報画面でURLを入力して他の情報画面にアクセスしたい [URL入力]

情報画面でY!→「URL入力」→URLを入力

URLを簡単に入力したい　**[簡単アドレス入力]**

URL入力画面で[Y!]→「簡単アドレス入力」→項目を選択

履歴を使ってURLを入力したい　**[URL入力履歴]**

URL入力画面で[Y!]→「URL入力履歴」→URLを選択

- URL入力画面で履歴を使ってURLを入力することができます。URL入力履歴は、新しいものから順に最大10件まで表示されます。最大件数を超えたときは、古い履歴から順に消去されます。

ブラウザを切り替えたい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「PCサイトブラウザ切替」→項目を選択

- 警告メッセージが表示されたときは、[■](OK)を押して「はい」/「いいえ」を選択します。
- 「リンク先」は、情報画面中のリンクを選択しているときのみ選択できます。

情報画面のテキストを検索したい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「ページ内検索」→検索語を入力

- 一致する語句が反転表示されます。[✉](前)/[■](次)を押すと、前後のテキストを検索します。情報画面に戻るときは[Y!](キャンセル)を押します。

表示しているページの文頭／文末へ移動したい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「文頭へ移動」/「文末へ移動」

情報画面のURLをメールで送信したい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「URL送信」→「S!メール」/「SMS」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷、P.4-8 SMSを作成・送信する❷)

以前に表示した情報画面を表示したい

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

[■]→「Yahoo!」→「閲覧履歴」→表示したいURLを選択

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「閲覧履歴」→表示したいURLを選択

- 履歴にはアクセスした情報画面のURLが最大50件まで記録されます。

閲覧履歴を送信したい　**[URL送信]**

[■]→「Yahoo!」→「閲覧履歴」→送信したいURLを反転表示→[Y!]→「URL送信」→「S!メール」/「SMS」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷、P.4-8 SMSを作成・送信する❷)

- 情報画面で[Y!]→「便利機能」→「閲覧履歴」→送信したいURLを反転表示→[Y!]→「URL送信」→「S!メール」/「SMS」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴を削除したい　**[削除]**

[■]→「Yahoo!」→「閲覧履歴」

■ 1件削除するとき

削除したいURLを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

[Y!]→「削除」→「複数」→削除したい履歴をチェック→[✉](削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

- 情報画面で[Y!]→「便利機能」→「閲覧履歴」→削除したいURLを反転表示→[Y!]→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

選択中のフレームだけを表示したい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「フレームイン」

- 情報画面によっては、画面が分割されていることがあります。このとき分割された1つ1つの画面を「フレーム」と呼びます。
- もとに戻るには、[Y!]→「便利機能」→「フレームアウト」を選択します。

表示中の情報画面のプロパティを確認したい

情報画面でY!→「便利機能」→「プロパティ表示」

■ ページ情報を確認するとき

「ページ情報」

■ サーバー証明を確認するとき

「サーバー証明」

情報画面からYahoo!ケータイのメインメニューに移動したい

[Yahoo!ケータイ]

情報画面でY!→「Yahoo!ケータイ」

情報画面の文字サイズを変更したい

情報画面でY!→「設定」→「文字サイズ」→項目を選択

文字コードを変更したい

情報画面でY!→「設定」→「エンコード」→項目を選択

- 情報画面のテキスト情報が正しく表示されない場合、文字コードを変更すると正しく表示されることがあります。

情報画面のスクロール幅を変更したい

情報画面でY!→「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

情報画面で画像やサウンドを表示／再生するかどうか設定したい

情報画面でY!→「設定」→「画像·音設定」

■ 画像の設定をするとき

「画像表示」→項目を選択

■ サウンドの設定をするとき

「音再生」→項目を選択

キャッシュに保存された情報を消去したい

情報画面でY!→「設定」→「メモリ操作」→「キャッシュ消去」→「はい」

Cookieを消去したい

情報画面でY!→「設定」→「メモリ操作」→「Cookie消去」→「はい」

認証情報を消去したい

情報画面でY!→「設定」→「メモリ操作」→「認証情報消去」→「はい」

製造番号を通知するかどうか設定したい

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→項目を選択

Referer情報の転送を設定したい

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「Referer送出」→項目を選択

- Refererとは、情報画面にアクセスする際にウェブサーバーへ送信するリンク元のURL情報のことです。

Cookieの設定をしたい

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→項目を選択

- 「毎回確認」を選択するとCookieの記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。
- Cookieとは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に本機に記録する仕組みです。Cookieには、ユーザ情報やアクセス日時などが記録されます。

スクリプト設定をしたい

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択

ルート証明書を確認したい

情報画面でY!→「設定」→「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→証明書を選択

- 本機にあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。

認証情報の設定をしたい

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択

保存された情報を初期化したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

- ブラウザの設定やブックマーク、画面メモなどの保存された情報を初期化できます。

Yahoo!ケータイの設定をリセットしたい

情報画面で[Y!]→「設定」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

メニュー操作からブラウザを終了したい 【ブラウザ終了】

情報画面で[Y!]→「ブラウザ終了」

便利

PCサイトブラウザに関する便利な機能

情報画面で次の情報画面に移動したい 【進む】

情報画面で[Y!]→「進む」

情報画面のテキストをコピーしたい 【テキストコピー】

情報画面で[Y!]→「テキストコピー」

■ 文字を選択してコピーするとき

コピーしたい最初の文字に[✥]でカーソルを合わせ[■](始点)→[✥]で範囲を指定→[■](終点)

■ 文字入力画面上のすべての文字をコピーするとき

[Y!](全て)

情報画面を最新の情報に更新したい 【更新】

情報画面で[Y!]→「更新」

情報画面でURLを入力して他の情報画面にアクセスしたい 【URL入力】

情報画面で[Y!]→「URL入力」→URLを入力

URLを簡単に入力したい 【簡単アドレス入力】

URL入力画面で[Y!]→「簡単アドレス入力」→項目を選択

履歴を使ってURLを入力したい 【URL入力履歴】

URL入力画面で[Y!]→「URL入力履歴」→URLを選択

- URL入力画面で履歴を使ってURLを入力することができます。URL入力履歴は、新しいものから順に最大10件まで表示されます。最大件数を超えたときは、古い履歴から順に消去されます。

ブラウザを切り替えたい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「ブラウザ切替」→項目を選択

- 警告メッセージが表示されたときは、[■](OK)を押して「はい」/「いいえ」を選択します。
- 「リンク先」は、情報画面中のリンクを選択しているときのみ選択できます。

情報画面のテキストを検索したい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「ページ内検索」→検索語を入力

- 一致する語句が反転表示されます。[✉](前)/[■](次)を押すと、前後のテキストを検索します。情報画面に戻るときは[Y!](キャンセル)を押します。

表示しているページの文頭／文末へ移動したい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「文頭へ移動」／「文末へ移動」

情報画面のURLをメールで送信したい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「URL送信」→「S!メール」／「SMS」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷、P.4-8 SMSを作成・送信する❷)

以前に表示した情報画面を表示したい

■ PCサイトブラウザから操作するとき

[■]→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」→表示したいURLを選択

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「閲覧履歴」→表示したいURLを選択

- 履歴にはアクセスした情報画面のURLが最大50件まで記録されます。

閲覧履歴を送信したい　[URL送信]

[■]→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」→送信したいURLを反転表示→[Y!]→「URL送信」→「S!メール」／「SMS」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷、P.4-8 SMSを作成・送信する❷)

- 情報画面で[Y!]→「便利機能」→「閲覧履歴」→送信したいURLを反転表示→[Y!]→「URL送信」→「S!メール」／「SMS」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴を削除したい　[削除]

[■]→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」

■ 1件削除するとき

削除したいURLを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

[Y!]→「削除」→「複数」→削除したい履歴をチェック→[✉](削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

- 情報画面で[Y!]→「便利機能」→「閲覧履歴」→削除したいURLを反転表示→[Y!]→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

選択中のフレームだけを表示したい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「フレームイン」

- 情報画面によっては、画面が分割されていることがあります。このとき分割された1つ1つの画面を「フレーム」と呼びます。
- もとに戻るには、[Y!]→「便利機能」→「フレームアウト」を選択します。

表示中の情報画面のプロパティを確認したい

情報画面で[Y!]→「便利機能」→「プロパティ表示」

■ ページ情報を確認するとき

「ページ情報」

■ サーバー証明を確認するとき

「サーバー証明」

情報画面からPCサイトブラウザのメインメニューに移動したい　[ホームページ]

情報画面で[Y!]→「ホームページ」

情報画面の文字サイズを変更したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「文字サイズ」→項目を選択

文字コードを変更したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「エンコード」→項目を選択

- 情報画面のテキスト情報が正しく表示されない場合、文字コードを変更すると正しく表示されることがあります。

情報画面のスクロール幅を変更したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

情報画面で画像やサウンドを表示／再生するかどうか設定したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「画像･音設定」

■ 画像の設定をするとき

「画像表示」→項目を選択

■ サウンドの設定をするとき

「音再生」→項目を選択

キャッシュに保存された情報を消去したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「メモリ操作」→「キャッシュ消去」→「はい」

Cookieを消去したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「メモリ操作」→「Cookie消去」→「はい」

認証情報を消去したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「メモリ操作」→「認証情報消去」→「はい」

製造番号を通知するかどうか設定したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→項目を選択

Referer情報の転送を設定したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「Referer送出」→項目を選択

- Refererとは、情報画面にアクセスする際にウェブサーバーへ送信するリンク元のURL情報のことです。

Cookieの設定をしたい

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→項目を選択

- 「毎回確認」を選択すると、Cookieの記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。
- Cookieとは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に本機に記録する仕組みです。Cookieには、ユーザ情報やアクセス日時などが記録されます。

スクリプト設定をしたい

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択

ルート証明書を確認したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→証明書を選択

- 本機にあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。

認証情報の設定をしたい

情報画面で[Y!]→「設定」→「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択

警告メッセージの表示を設定したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「警告画面表示設定」→「PCサイトブラウザ起動･切替時」／「Yahoo!ケータイ切替時」→項目を選択

- Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザを切り替えたとき、またはPCサイトブラウザを起動したときに警告メッセージを表示するかどうか設定できます。

保存された情報を初期化したい

情報画面で[Y!]→「設定」→「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

- ブラウザの設定やブックマーク、画面メモなどの保存された情報を初期化できます。

PCサイトブラウザの設定をリセットしたい

情報画面でY!→「設定」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

情報画面の表示幅を変更したい **[スモールスクリーン]/[PCスクリーン]**

情報画面でY!→「スモールスクリーン」/「PCスクリーン」

メニュー操作からブラウザを終了したい **[ブラウザ終了]**

情報画面でY!→「ブラウザ終了」

便利

情報画面操作に関する便利な機能

情報画面内の電話番号/Eメールアドレスを電話帳に登録したい

電話番号/Eメールアドレスが表示されている情報画面で電話番号/Eメールアドレスを選択→「電話帳登録」→「本体」/「USIM」

■ **新しい電話帳に登録するとき**

「新規」→(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→電話帳の登録操作(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

- 利用できる電話番号/Eメールアドレスには、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の電話番号/Eメールアドレスを利用してメールを送信したい

電話番号/Eメールアドレスが表示されている情報画面で電話番号/Eメールアドレスを選択→「メール作成」→「S!メール」/「SMS」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❺、P.4-8 SMSを作成・送信する❺)

- 利用できる電話番号/Eメールアドレスには、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の電話番号を利用して電話をかけたい

電話番号が表示されている情報画面で電話番号を選択→「音声通話」

- 利用できる電話番号には、アンダーラインが表示されます。

情報画面内のURLを利用して他の情報画面にアクセスしたい

URLが表示されている情報画面でURLを選択

- 利用できるURLには、アンダーラインが表示されます。

情報画面から画像や各種ファイルを保存したい

■ **情報画面内に表示されている画像を保存するとき**

画像が表示されている情報画面でY!→「保存」→「ファイル保存」→保存したい画像を選択→「保存」/「マイ絵文字で保存」

- Yahoo!ケータイでは、画像が複数あるときのみ、保存したい画像を選択します。

■ **背景画像を保存するとき**

背景画像が表示されている情報画面でY!→「保存」→「背景画像を保存」→「保存」

■ バックグラウンドで再生されるサウンドを保存するとき

バックグラウンドでサウンドが再生される情報画面で[Y!]→「保存」→「ファイル保存」→[■](保存)

- PCサイトブラウザでは保存できません。

■ リンク先の各種ファイルを保存するとき

リンクが表示されている情報画面で保存したいファイルのリンクを反転表示→[■](選択)→「保存」

- 自動保存形式のファイルの場合は、リンクを選択すると自動で保存を行います。
- リンクを反転表示して[■](選択)を押したときやファイルを保存したときは、次の操作を行うことができます(ファイルにより、行える操作が異なります)。

  「表示」:ファイルを表示

  「再生」:ファイルを再生

  「設定」:保存したファイルを各種の画面／着信音に設定

  「詳細」:ファイルの詳細情報を表示

  「ブラウザへ戻る」:情報画面へ戻る

- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

便利

ブックマークに関する便利な機能

情報画面を表示中にブックマークから接続したい

情報画面で[Y!]→「ブックマーク」→「一覧表示」→表示したいブックマークを選択

- ブックマークを新しいタブで表示したいときは、表示したいブックマークを反転表示→[Y!]→「新しいタブで開く」を選択します。

ブックマークのタイトルやURLを編集したい

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

[■]→「Yahoo!」→「ブックマーク」→編集したいブックマークを反転表示→[✉](編集)→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→URLを編集→[✉](保存)

■ PCサイトブラウザから操作するとき

[■]→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→編集したいブックマークを反転表示→[✉](編集)→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→URLを編集→[✉](保存)

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で[Y!]→「ブックマーク」→「一覧表示」→編集したいブックマークを反転表示→[✉](編集)→タイトル欄を選択→タイトルを編集→URL欄を選択→URLを編集→[✉](保存)

ブックマークを直接入力して登録したい 【新規登録】

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

[■]→「Yahoo!」→「ブックマーク」→[Y!]→「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→URL欄を選択→URLを入力→[✉](保存)

■ PCサイトブラウザから操作するとき

[■]→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→[Y!]→「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→URL欄を選択→URLを入力→[✉](保存)

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で[Y!]→「ブックマーク」→「一覧表示」→[Y!]→「新規登録」→タイトル欄を選択→タイトルを入力→URL欄を選択→URLを入力→[✉](保存)

ブックマークのURLをメールで送信したい　[送信]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

■→「Yahoo!」→「ブックマーク」→メールで送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「メール」→「添付して送信」/「SMS本文に挿入」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❷、P.4-8 SMSを作成・送信する❷)

■ PCサイトブラウザから操作するとき

■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→メールで送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「メール」→「添付して送信」/「SMS本文に挿入」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❷、P.4-8 SMSを作成・送信する❷)

■ 情報画面から操作するとき

情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→メールで送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「メール」→「添付して送信」/「SMS本文に挿入」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❷、P.4-8 SMSを作成・送信する❷)

ブックマークのURLを赤外線通信で送信したい　[送信]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

■→「Yahoo!」→「ブックマーク」→赤外線通信で送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「赤外線通信」(➲P.12-4)

■ PCサイトブラウザから操作するとき

■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→赤外線通信で送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「赤外線通信」(➲P.12-4)

■ 情報画面から操作するとき

情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→赤外線通信で送信したいブックマークを反転表示→Y!→「送信」→「赤外線通信」(➲P.12-4)

ブックマークを並べ替えたい　[並べ替え]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

■→「Yahoo!」→「ブックマーク」→移動したいブックマークを反転表示→Y!→「並べ替え」→移動させる位置に◆でカーソルを移動→■(選択)

■ PCサイトブラウザから操作するとき

■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→移動したいブックマークを反転表示→Y!→「並べ替え」→移動させる位置に◆でカーソルを移動→■(選択)

■ 情報画面から操作するとき

情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→移動したいブックマークを反転表示→Y!→「並べ替え」→移動させる位置に◆でカーソルを移動→■(選択)

ブックマークをデータフォルダに保存したい　[データフォルダに保存]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

■→「Yahoo!」→「ブックマーク」→保存したいブックマークを反転表示→Y!→「データフォルダに保存」→「本体」/「メモリカード」→「はい」

■ PCサイトブラウザから操作するとき

■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→保存したいブックマークを反転表示→Y!→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

■ 情報画面から操作するとき

情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→保存したいブックマークを反転表示→Y!→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

ブックマークの詳細を確認したい 【詳細】

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

■→「Yahoo!」→「ブックマーク」→詳細を確認したいブックマークを反転表示→Y!→「詳細」

■ PCサイトブラウザから操作するとき

■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→詳細を確認したいブックマークを反転表示→Y!→「詳細」

■ 情報画面から操作するとき

情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→詳細を確認したいブックマークを反転表示→Y!→「詳細」

Yahoo!ケータイのブックマークを削除したい 【削除】

■→「Yahoo!」→「ブックマーク」

■ 1件削除するとき

削除したいブックマークを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y!→「削除」→「複数」→削除したいブックマークをチェック→✉(削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

- 情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→削除したいブックマークを反転表示→Y!→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

PCサイトブラウザのブックマークを削除したい 【削除】

■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」

■ 1件削除するとき

削除したいブックマークを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y!→「削除」→「複数」→削除したいブックマークをチェック→✉(削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

- 情報画面でY!→「ブックマーク」→「一覧表示」→削除したいブックマークを反転表示→Y!→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

便利

画面メモに関する便利な機能

情報画面を表示中に画面メモを表示したい

情報画面で[Y!]→「画面メモ」→「一覧表示」→表示したい画面メモを選択

- 画面メモを新しいタブで表示したいときは、表示したい画面メモを反転表示→[Y!]→「新しいタブで開く」を選択します。

画面メモのタイトルを編集したい　【ページ名変更】

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

[●]→「Yahoo!」→「画面メモ」→編集したい画面メモを反転表示→[Y!]→「ページ名変更」→名前を入力

■ PCサイトブラウザから操作するとき

[●]→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「画面メモ」→編集したい画面メモを反転表示→[Y!]→「ページ名変更」→名前を入力

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で[Y!]→「画面メモ」→「一覧表示」→編集したい画面メモを反転表示→[Y!]→「ページ名変更」→名前を入力

画面メモを並べ替えたい　【並べ替え】

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

[●]→「Yahoo!」→「画面メモ」→移動したい画面メモを反転表示→[Y!]→「並べ替え」→移動させる位置に[◆]でカーソルを移動→[●](選択)

■ PCサイトブラウザから操作するとき

[●]→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「画面メモ」→移動したい画面メモを反転表示→[Y!]→「並べ替え」→移動させる位置に[◆]でカーソルを移動→[●](選択)

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で[Y!]→「画面メモ」→「一覧表示」→移動したい画面メモを反転表示→[Y!]→「並べ替え」→移動させる位置に[◆]でカーソルを移動→[●](選択)

Yahoo!ケータイの画面メモを削除したい　【削除】

[●]→「Yahoo!」→「画面メモ」

■ 1件削除するとき

削除したい画面メモを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

[Y!]→「削除」→「複数」→削除したい画面メモをチェック→[✉](削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[●](OK)→「はい」

- 情報画面で[Y!]→「画面メモ」→「一覧表示」→削除したい画面メモを反転表示→[Y!]→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

PCサイトブラウザの画面メモを削除したい　【削除】

[●]→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「画面メモ」

■ 1件削除するとき

削除したい画面メモを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

[Y!]→「削除」→「複数」→削除したい画面メモをチェック→[✉](削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[●](OK)→「はい」

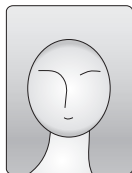
- 情報画面で[Y!]→「画面メモ」→「一覧表示」→削除したい画面メモを反転表示→[Y!]→「削除」を選択しても同じ操作を行うことができます。

カメラ

カメラについて

本機では、カメラを使って写真や動画を撮影できます。
この章では、写真や動画の撮影方法について説明します。

写真／動画の撮影

本機では、カメラを使って写真や動画を撮影できます。
写真の撮影では、連続写真の撮影やフレーム付きの写真撮影などいろいろな撮影モードがあります(➔P.6-3)。
動画の撮影では、1回で1時間まで撮影できます(➔P.6-9)。

撮影モードごとの撮影サイズは、次のとおりです。

撮影モード		使用できる撮影サイズ
静止画	通常撮影 夜間撮影	2M(1200×1600) 1.3M(960×1280) VGA(480×640) 壁紙(240×320)
	連写 フォトコンビ フレーム	壁紙(240×320)
動画	S!メール添付 標準	176×144 128×96

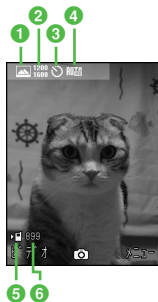
カメラ利用時のご注意

- カメラのレンズ部に指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズ部をきれいにしてください。
- 手振れにご注意ください。画像がぶれる原因となります。本機が動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマーで撮影してください。
- カメラ利用時に、本機を静電気が発生する装置に近づけないでください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- 本機を暖かい場所に長時間置いたあとで撮影したり画像を保存したりした場合は、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、画像が変色することがあります。
- 電池の残量が少ないと、カメラが起動しないことがあります。

静止画撮影

静止画撮影では、用途に合わせて撮影モードを設定できます。
撮影モードは、1枚ずつ撮影するときは「通常撮影」、連写するときは「連写」または「フォトコンビ」、フレーム付きの静止画を撮影するときは「フレーム」、夕暮れや夜の背景で人物を撮影するときは「夜間撮影」に設定します。
撮影した静止画は、JPEG形式でデータフォルダの「ピクチャー」フォルダに保存されます。メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダにも保存できます。

静止画ビューファインダー(撮影画面)の見かた

本機のカメラを起動すると、ビューファインダーは縦向きで表示されます。

静止画ビューファインダー

1 撮影モード

- :通常撮影
- :連写(6枚)
- :連写(9枚)
- :フォトコンビ
- :フレーム
- :夜間撮影

2 撮影サイズ

- 1200 1600:2M(1200×1600)※
- 960 1280:1.3M(960×1280)※
- 480 640:VGA(480×640)※
- 240 320:壁紙(240×320)

※撮影モードが「通常撮影」/「夜間撮影」時のみ

3 セルフタイマー

:Off　:3秒　:5秒　:10秒

4 ホワイトバランス

:オート　:晴天　:白熱灯　:蛍光灯

:曇り

6

カメラ

5 保存先設定

[icon]:本体、毎回確認

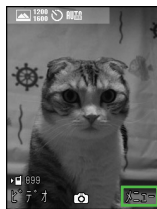
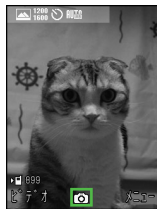
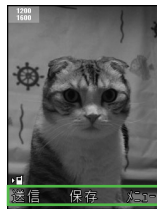
[icon]:メモリカード、デジタルカメラ

6 撮影可能残数

静止画撮影の流れ

ビューファインダーで
[Y!]を押す

[↑↓]／[←→]と[■]で
撮影方法を設定

[■]([カメラ])を押す

「自動保存設定」が「Off」
の場合のみ、保存／送信
／登録などを行う静止
画保存確認画面が表示

- 「自動保存設定」(➔P.13-9)を「Off」に設定している場合は、静止画撮影後にファイルをメールに添付したり(➔P.6-12)、壁紙に設定(➔P.6-12)することもできます。

撮影モードについて

撮影モード	特　長
通常撮影	メールに添付したり待受画面の壁紙にしたり、携帯電話で利用するのに適したサイズの静止画を撮影できます。
連写	6、9枚の静止画を自動で連続撮影できます。
フォトコンビ	手動で連続撮影できます。フレームを選択して撮影すると、連続撮影したすべての静止画が縮小されて1枚の静止画内に配置されます。
フレーム	フレーム付きの静止画を撮影できます。
夜間撮影	夕暮れや夜の背景で人物を撮影できます。

ショートカット(ボタン操作)を使った撮影前の設定変更について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に設定を変更できます。選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

ボタン	項　目	内　容
1	撮影モード	通常撮影、連写6枚、連写9枚、フォトコンビ、フレーム、夜間撮影
2	セルフタイマー	Off、3秒、5秒、10秒
0	クイック再生	本体、メモリカード、デジタルカメラ
(メールボタン)	カメラ／ビデオ切り替え	―
(方向ボタン)または(▲)／(▼)	ズーム	―
(方向ボタン)	明るさ調整	―

•静止画撮影中にボタン操作を行っても、操作音は鳴りません。

6 カメラ

通常撮影する

撮影した静止画は「ピクチャー」フォルダに保存されます。メモリカードを取り付けているときは、撮影サイズが「VGA」以上の場合、「デジタルカメラ」フォルダにも保存できます。

- メモリカードを取り付けて保存先を「デジタルカメラ」に設定していても、撮影サイズが「壁紙」の静止画は、自動的に保存先が「メモリカード」に変更されて保存されます。

1 ■→「カメラ」→「カメラ」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います（➲P.6-12）。

2 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ✥または▲／▼を押すと拡大／縮小できます。
- ◀▶を押すと明るさを調整できます。

3 ■（📷）

静止画保存確認画面

- 撮影をやり直す場合は、CLEARを押します。

4 ■（保存）

- 撮影サイズが「2M」に設定されているときは、ズームは使用できません。

連続写真を撮影する

1 ■→「カメラ」→「カメラ」

2 Y!→🖼を反転表示→「連写」→連写枚数を選択

- 必要に応じて撮影前に設定を行います（➲P.6-12）。

3 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ✥または▲／▼を押すと拡大／縮小できます。
- ◀▶を押すと明るさを調整できます。

4 ■（📷）

- 撮影をやり直す場合は、CLEARを押します。

5 保存する写真をチェック→✉（保存）

- 連写では、撮影サイズが「壁紙」になり、変更することができません。また、セルフタイマーは使用できません。

分割撮影(フォトコンビ)をする

1. ■→「カメラ」→「カメラ」
2. Y!→を反転表示→「フォトコンビ」
   - ✉(表示)を押すと、◎で各フレームを確認できます。一覧画面に戻るときは、✉(リスト)を押します。
3. フレームを選択
   - 必要に応じて撮影前に設定を行います(➲P.6-12)。
4. 撮影したい被写体をビューファインダーに表示→選択したフレームに合わせて■(📷)
   - ◎または▲/▼を押すと拡大/縮小できます。
   - ◎を押すと明るさを調整できます。
5. 操作4を繰り返して撮影したい被写体を撮影→■(📷)
   - 撮影をやり直す場合は、CLEARを押します。
6. ■(保存)

- フォトコンビでは、撮影サイズが「壁紙」になり、変更することができません。また、セルフタイマーは使用できません。

フレーム付きの静止画を撮影する

1. ■→「カメラ」→「カメラ」
2. Y!→を反転表示→「フレーム」
   - ✉(表示)を押すと、◎で各フレームを確認できます。一覧画面に戻るときは、✉(リスト)を押します。
3. フレームを選択
   - 必要に応じて撮影前に設定を行います(➲P.6-12)。
4. 撮影したい被写体をビューファインダーに表示
   - ◎または▲/▼を押すと拡大/縮小できます。
   - ◎を押すと明るさを調整できます。
5. ■(📷)
   - 撮影をやり直す場合は、CLEARを押します。
6. ■(保存)

- フレーム付き撮影では、撮影サイズが「壁紙」になり、変更することができません。

暗い背景で人物などを撮影する

1. ■→「カメラ」→「カメラ」
2. Y!→を反転表示→「夜間撮影」
   - 必要に応じて撮影前に設定を行います(➲P.6-12)。
3. 撮影したい被写体をビューファインダーに表示
   - ◎または▲/▼を押すと拡大/縮小できます。
   - ◎を押すと明るさを調整できます。
4. ■(📷)
   - 撮影をやり直す場合は、CLEARを押します。
5. ■(保存)

- 夜間撮影では、ホワイトバランスは設定できません。

撮影した静止画を見る（クイック再生）

撮影して保存した静止画をビューファインダーから確認することができます。

1 [■]→「カメラ」→「カメラ」

2 [0]→[◀▶]または[▲]／[▼]で静止画を確認

- [■]（ズーム）→[▲]／[▼]を押すと、静止画を拡大／縮小できます。
- メモリカードを取り付けているときは、[0]を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから静止画を確認します。
- 撮影した静止画は、データフォルダから確認することもできます（➔P.11-4）。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.6-12

- 撮影モードを切り替えたい
- 撮影サイズを設定したい
- セルフタイマーの設定をしたい
- ホワイトバランスの設定をしたい
- 撮影効果（色調）の設定をしたい
- 撮影した写真を確認したい
- 静止画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい
- 撮影した静止画の保存時にファイル名を入力したい
- 撮影した静止画を各種の画面に設定したい
- 撮影した静止画を拡大して確認したい
- クイック再生で表示した静止画を削除したい
- クイック再生で表示した静止画を各種の画面に設定したい
- クイック再生をスライドショーで再生したい
- クイック再生で静止画の詳細を確認したい

設定

- ビューファインダーのアイコン表示を設定する（☞P.13-9）
- 自動保存を設定する（☞P.13-9）
- 機能説明を設定する（☞P.13-9）
- 画質を設定する（☞P.13-9）
- ISOを設定する（☞P.13-9）
- 測光モードを設定する（☞P.13-9）
- 保存先を設定する（☞P.13-9）
- グリッド線の表示を設定する（☞P.13-9）
- シャッター音を設定する（☞P.13-9）

動画撮影

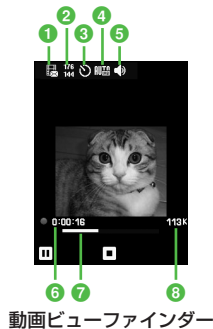
手軽に動画を撮影できます。撮影した動画は、3GP形式でデータフォルダの「ムービー」フォルダに保存されます。メールに添付／挿入する動画を撮影する場合は撮影モードを「S!メール添付」(➔P.6-14)に設定してください。

動画ビューファインダー(撮影画面)の見かた

動画ビューファインダー

❶ 撮影モード

:S!メール添付

:標準

❷ 撮影サイズ

:176×144

:128×96

❸ セルフタイマー

:Off :3秒 :5秒 :10秒

❹ ホワイトバランス

:オート :晴天 :白熱灯 :蛍光灯

:曇り

❺ 録音設定

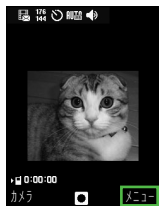
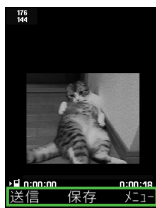
:映像+音 :映像のみ

❻ 撮影経過時間

❼ プログレスバー

❽ 撮影データの容量／撮影可能時間

- 撮影サイズが「S!メール添付」の場合は撮影データの容量、「標準」の場合は撮影可能時間が表示されます。

動画撮影の流れ

- 「自動保存設定」(➔P.13-9)を「Off」に設定している場合は、動画撮影後にファイルをメールに添付(➔P.6-14)することもできます。

撮影モードについて

撮影モード	特　長
S!メール添付	メールに添付する短い動画(295KBまで)を撮影できます。
標準	長時間の動画(1時間まで)を撮影できます。

ショートカット(ボタン操作)を使った撮影前の設定変更について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に設定を変更できます。選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

ボタン	項　目	内　容
1	撮影モード	S!メール添付、標準
2	セルフタイマー	Off、3秒、5秒、10秒
3	音声録音	映像＋音、映像のみ
	カメラ／ビデオ切り替え	－
または／	ズーム	－
	明るさ調整	－

- 動画撮影中にボタン操作を行っても、操作音は鳴りません。

6
カメラ

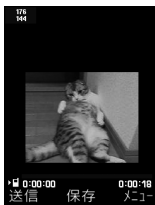
動画を撮影する

1回の動画撮影について、最大1時間まで撮影できます。

1 ■→「カメラ」→「ビデオカメラ」
- 必要に応じて撮影前に設定を行います(➔P.6-14)。

2 撮影したい被写体をビューファインダーに表示
- ◎または▯/▯を押すと拡大/縮小できます。
- ◎を押すと明るさを調整できます。

3 ■(●)
- 撮影中に一時停止する場合は✉(Ⅱ)を押します。撮影を再開する場合は✉(●)を押します。

4 ■(■)

動画保存確認画面

- 撮影が終了します。撮影時間が経過した場合は、自動的に撮影が終了します。

5 ■(保存)

撮影した動画を見る

ビューファインダーからデータフォルダの「ムービー」フォルダを呼び出し、撮影して保存した動画を確認することができます。

1 ■→「カメラ」→「ビデオカメラ」

2 Y!→▣を反転表示→「ムービー」

3 ◎で動画を反転表示→■(再生)

使いこなしチェック!

便利 ☞P.6-14
- 撮影モードを設定したい
- 撮影サイズを設定したい
- セルフタイマーの設定をしたい
- ホワイトバランスの設定をしたい
- 撮影効果(色調)の設定をしたい
- 録音の設定をしたい
- 動画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい
- 撮影した動画を保存前に確認したい
- 撮影した動画の保存時にファイル名を入力したい

設定
- ビューファインダーのアイコン表示を設定する(☞P.13-9)
- 自動保存を設定する(☞P.13-9)
- 機能説明を設定する(☞P.13-9)
- 画質を設定する(☞P.13-10)
- 保存先を設定する(☞P.13-10)

便利な機能

便利

静止画撮影に関する便利な機能

撮影モードを切り替えたい

ビューファインダーで[Y!]→[アイコン]を反転表示→項目を選択

撮影サイズを設定したい

ビューファインダーで[Y!]→[1200/1600]を反転表示→項目を選択

セルフタイマーの設定をしたい

ビューファインダーで[Y!]→[アイコン]を反転表示→項目を選択

ホワイトバランスの設定をしたい

ビューファインダーで[Y!]→[AUTO WB]を反転表示→項目を選択

撮影効果（色調）の設定をしたい

ビューファインダーで[Y!]→[アイコン]を反転表示→項目を選択

撮影した写真を確認したい

ビューファインダーで[Y!]→[アイコン]を反転表示→「ピクチャー」／「デジタルカメラ」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」を選択できます。

静止画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい

ビューファインダーで[Y!]→[HELP]を反転表示

撮影した静止画を送信したい

静止画保存確認画面で[✉]（送信）

■ メールで送信するとき

「メール添付」→（➔P.4-4 S!メールを作成･送信する❷）

- 撮影した静止画が300Kバイトを超えている場合は、データフォルダに保存されたあと、画像のリサイズ画面へ移動します。サイズを変更してから添付してください（➔P.4-5ファイルを添付する）。

■ 赤外線通信で送信するとき

「赤外線通信」（➔P.12-4）

撮影した静止画の保存時にファイル名を入力したい 【名前を付けて保存】

静止画保存確認画面で[Y!]→「名前を付けて保存」→ファイル名を入力

撮影した静止画を各種の画面に設定したい 【設定】

静止画保存確認画面で[Y!]→「設定」

■ ディスプレイの壁紙に設定するとき

「壁紙」→必要に応じて[✉]（回転）で向きを調節→必要に応じて[▲]／[▼]でサイズを調整→[■]（設定）

■ 電話帳の着信画像に設定するとき

「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→[■]（設定）

撮影した静止画を拡大して確認したい 【ズーム】

静止画保存確認画面で[Y!]→「ズーム」

- [▲]／[▼]を押すと拡大／縮小できます。
- [✥]を押すと表示位置を変更できます。

クイック再生で表示した静止画を送信したい

ビューファインダーで[0]→[←→]または[↑]／[↓]で静止画を確認→[✉](送信)

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ **赤外線通信で送信するとき**

「赤外線通信」(➔P.12-4)

- メモリカードを取り付けているときは、[0]を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから静止画を確認します。

クイック再生で表示した静止画を削除したい　**[削除]**

ビューファインダーで[0]→[←→]または[↑]／[↓]で静止画を確認→[Y!]→「削除」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、[0]を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから静止画を確認します。

クイック再生で表示した静止画を各種の画面に設定したい　**[設定]**

ビューファインダーで[0]→[←→]または[↑]／[↓]で静止画を確認→[Y!]→「設定」

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**

「壁紙」→必要に応じて[✉](回転)で向きを調節→必要に応じて[↑]／[↓]でサイズを調整→[■](設定)

■ **電話帳の着信画像に設定するとき**

「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→[■](設定)

- メモリカードを取り付けているときは、[0]を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから静止画を確認します。

クイック再生をスライドショーで再生したい　**[スライドショー]**

ビューファインダーで[0]→[Y!]→「スライドショー」

- 再生中に[✉](停止)を押すと、スライドショーを停止します。
- メモリカードを取り付けているときは、[0]を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択します。

クイック再生で静止画の詳細を確認したい　**[詳細]**

ビューファインダーで[0]→[←→]または[↑]／[↓]で静止画を確認→[Y!]→「詳細」

- メモリカードを取り付けているときは、[0]を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから静止画を確認します。

クイック再生で表示した静止画を拡大して確認したい

ビューファインダーで[0]→[←→]または[↑]／[↓]で静止画を確認→[■](ズーム)

- [↑]／[↓]を押すと拡大／縮小できます。
- [✥]を押すと表示位置を変更できます。
- メモリカードを取り付けているときは、[0]を押したあと「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択してから静止画を確認します。

便利

動画撮影に関する便利な機能

撮影モードを設定したい

ビューファインダーで[Y!]→[アイコン]を反転表示→項目を選択

- 「標準」に設定したときは、通常撮影で最大約1時間の撮影ができます。
- 「S!メール添付」に設定したときは、画質設定が自動的に「エコノミー」に設定されます。

撮影サイズを設定したい

ビューファインダーで[Y!]→[176/144]を反転表示→項目を選択

セルフタイマーの設定をしたい

ビューファインダーで[Y!]→[アイコン]を反転表示→項目を選択

ホワイトバランスの設定をしたい

ビューファインダーで[Y!]→[AUTO WB]を反転表示→項目を選択

撮影効果(色調)の設定をしたい

ビューファインダーで[Y!]→[アイコン]を反転表示→項目を選択

録音の設定をしたい

ビューファインダーで[Y!]→[アイコン]を反転表示→項目を選択

動画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい

ビューファインダーで[Y!]→[HELP]を反転表示

撮影した動画を送信したい

動画保存確認画面で[メール](送信)

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ 赤外線通信で送信するとき

「赤外線通信」(➔P.12-4)

撮影した動画を保存前に確認したい **[再生]**

動画保存確認画面で[Y!]→「再生」

撮影した動画の保存時にファイル名を入力したい **[名前を付けて保存]**

動画保存確認画面で[Y!]→「名前を付けて保存」→ファイル名を入力

6 カメラ

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーについて

本機では、メディアプレイヤーを利用して、音楽や動画を楽しめます。
音楽や動画は、Yahoo!ケータイからダウンロードしたり、自分好みのプレイリストを作成することができます。
この章では、メディアプレイヤーの利用方法について説明します。

音楽／動画の再生

メディアプレイヤーから音楽／動画を再生できます(➲P.7-5、P.7-8)。
フォルダやプレイリストなど様々な方法で再生できます。

プレイヤー	ファイル(拡張子)
ミュージック	MPEG4 Audio(mp4、m4a、3gp(音声のみ))
ムービー	MPEG4／H.263(mp4、3gp)

音楽／動画のダウンロード

Yahoo!ケータイへ直接アクセスし、音楽や動画をダウンロードできます(➲P.7-3)。

プレイリストの作成

お気に入りの音楽や動画をプレイリストに登録することができます。
プレイリストを作成すれば、自分だけのアルバムを作ることができます(➲P.7-9)。

- 上記以外の、メディアプレイヤーに対応していない音楽ファイルを再生したい場合は、データフォルダの「着うた･メロディ」フォルダからファイルを選択します。この場合、対応しているファイルでも、「着うた･メロディ」フォルダ以外の場所に保存したときは再生できません。
- 再生音はスピーカーからだけでなく、イヤホンマイクを利用して聴くことができます。また、スピーカー再生するときは、イヤホンマイクを本体から外します(マナーモード中にイヤホンマイクを接続した状態で音楽や動画ファイルを再生すると、イヤホンマイクを本体から外したときに本体から再生するかどうかの確認画面が表示されます)。
- イヤホンマイクは音楽再生だけでなく、通話にもお使いいただけます。イヤホンマイクを取り付けて再生している場合に、電話をかけてきた相手と通話するときは、イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すと通話できます。

注意

- 動画ファイルの場合は、解像度が176×144を超えるファイルは再生できません。

音楽／動画のダウンロード

Yahoo!ケータイにアクセスすれば、音楽や動画をダウンロードできます。
また、ご自宅のパソコンから本機へ音楽や動画をコピーすることもできます。

音楽／動画をダウンロードする

Yahoo!ケータイに直接アクセスし、音楽や動画をダウンロードできます。

1 ■→「メディア」

2 音楽／動画のダウンロード操作

■ 音楽をダウンロードするとき
「ミュージック」→「全曲一覧」→「Y!ケータイで探す」／「ミュージックサーチ」
・「ミュージックサーチ」を選択すると、サイトへアクセスし、音楽を検索できます。

■ 動画をダウンロードするとき
「ムービー」→「全ムービー一覧」→「Y!ケータイで探す」

注意

• データ量の多い音楽や動画をダウンロードするときはパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

パソコンの音楽／動画をメモリカードに保存する

1 本機にメモリカードを取り付ける

• ■→「データフォルダ」→▣(メモリカード)を選択して、フォルダが生成されていることを確認してください。

2 メモリカードを本機から取り外し(➔P.11-10)、パソコンとメモリカードを接続する

3 パソコン内の音楽／動画をメモリカード内の指定のフォルダに保存する

• 保存するファイルの種類別に、メモリカード内の次のフォルダに保存してください。
音楽ファイル：PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Music
PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Sounds & Ringtones
動画ファイル：PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Videos
• ファイルの保存後、メモリカードの読み込みが完了すると、ファイルの再生が可能となります。

音楽再生

ミュージックのフォルダ構成は次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生	最後に再生したファイルを表示
全曲一覧	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルを表示
プレイリスト	「ミュージック」で再生できるファイルから任意で作成するフォルダを表示
最近聴いた曲	最近再生したファイルの履歴を最大100件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく聴く曲	再生回数の多いファイルの履歴を最大100件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）
アーティスト	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをアーティスト別に表示
アルバム	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをアルバム別に表示
ジャンル	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをジャンル別に表示

- 再生できるファイルが保存されたメモリカードを取り付けているときに、ファイルを一覧表示するまで時間がかかることがあります。
- フォルダの表示・非表示は「ミュージックメニュー」（➔P.13-10）から設定できます。

音楽再生画面の見かた

音楽再生画面

❶ 著作権保護

❷ 再生音量

❸ タイトル（タイトル情報がない場合はファイル名）

❹ アーティスト名

❺ ファイル番号／総ファイル数

❻ 状態：再生／一時停止／停止

❼ 再生経過時間

❽ 部分的にリピート

❾ 再生パターン設定
：Off
：1曲リピート
：全てリピート
：シャッフル

❿ プログレスバー

⓫ 総再生時間

ショートカット(ボタン操作)について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に操作できます。再生している状態やファイルの種類によっては、操作できない場合があります。

ボタン	内　容
■	再生／一時停止
□◀	次の曲へ
▶□	前の曲へ／再生中の曲の先頭へ
▲／▲	音量アップ
▼／▼	音量ダウン
✉	停止
Y!	メニュー
文字	部分的にリピート
1	再生パターン設定
3	タイムサーチ

音楽を再生する

1 ■→「メディア」→「ミュージック」

2 ファイルの選択操作

■ **最後に再生したファイルを再生するとき**

「続き再生」

■ **すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき**

「全曲一覧」→ファイルを反転表示→■(再生)

■ **プレイリストからファイルを選択するとき**

「プレイリスト」→プレイリストを選択→ファイルを反転表示→■(再生)

■ **最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき**

「最近聴いた曲」→ファイルを反転表示→■(再生)

■ **よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき**

「よく聴く曲」→ファイルを反転表示→■(再生)

■ **アーティスト別の一覧からファイルを選択するとき**

「アーティスト」→アーティストを選択→ファイルを反転表示→■(再生)

■ **アルバム別の一覧からファイルを選択するとき**

「アルバム」→アルバムを選択→ファイルを反転表示→■(再生)

■ **ジャンル別の一覧からファイルを選択するとき**

「ジャンル」→ジャンルを選択→ファイルを反転表示→■(再生)

- 「全曲一覧」やプレイリスト名を反転表示して✉(再生)を押すと、該当するファイルの一覧をすべて再生します。
- 再生を一時停止するには、■(一時停止)を押します。もう一度再生するには、■(再生)を押します。
- 再生を終了して一覧画面に戻るには、✉(停止)を押し、CLEARを押します。ただし、メニュー表示中またはメニュー操作中にCLEARを押した場合は、メニューを閉じるか1つ前の画面に戻ります。
- メモリカードを取り付けているときは、「全曲一覧」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルには■が表示されます。

- メディアプレイヤー画面で音楽を再生中に電話がかかってきたときは、再生が一時停止され、着信音が鳴ります。通話が終了すると、音楽再生が一時停止のまま、音楽再生画面に戻ります。
- メディアプレイヤー画面で音楽を再生中にアラームの設定時刻になったときは、再生が一時停止され、アラームを音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まり、表示が消えます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-9

- タイトルやアーティスト名でファイルを探したい
- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルを送信したい
- ファイルの順序を変更したい
- 著作権保護ファイルのコンテンツ·キーを購入または取得したい
- ファイルを削除したい
- ファイル名を編集したい
- ファイルを保護して編集や削除などを制限したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい
- 指定した位置から再生したい
- ウェブリンクに接続したい
- ボタンに割り当てられた機能を確認したい

設定

- 再生パターンを設定する（☞P.13-10）
- 再生中の音量を設定する（☞P.13-10）
- 表示するフォルダを設定する（☞P.13-10）

動画再生

ムービーのフォルダ構成は、次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生	最後に再生したファイルを表示
全ムービー一覧	「ムービー」で再生できるすべてのファイルを表示
プレイリスト	「ムービー」で再生できるファイルから任意で作成するフォルダを表示
最近見たムービー	最近再生したファイルの履歴を最大100件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく見るムービー	再生回数の多いファイルの履歴を最大100件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）

- フォルダの表示·非表示は「ムービーメニュー」（➔P.13-11）から設定できます。

注意

- 「全ムービー一覧」フォルダ内のファイルを削除したり設定を変更したりすると、その内容はデータフォルダ内の「ムービー」フォルダにも反映されます。

動画再生画面の見かた

動画再生画面

1. 著作権保護
2. 再生音量
3. ビデオタイトル（ビデオタイトルがない場合はファイル名）とアーティスト名
4. 状態：再生／一時停止／停止
5. 再生経過時間
6. ファイル番号／総ファイル数
7. プログレスバー
8. 総再生時間
9. 再生パターン設定
   - ：Off
   - ：1曲リピート
   - ：全てリピート
   - ：シャッフル

ショートカット（ボタン操作）について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に操作できます。再生している状態やファイルの種類によっては、操作できない場合があります。

標準画面表示時

ボタン	内　容
■	再生／一時停止
□◀	次のムービーへ
▶□	前のムービーへ／再生中のムービーの先頭へ
／	音量アップ
／	音量ダウン
✉	停止
Y!	メニュー
文字	部分的にリピート
1 あ	再生パターン設定
2 かABC	全画面表示
3 さDEF	タイムサーチ
4 たGHI	画面サイズ切り替え
5 なJKL	画面キャプチャ
6 はMNO	再生速度アップ
7 まPQRS	再生速度ダウン

全画面表示時

ボタン	内　容
■	再生／一時停止
□◀／	音量アップ
▶□／	音量ダウン
	次のムービーへ
	前のムービーへ／再生中のムービーの先頭へ
文字	部分的にリピート
1 あ	再生パターン設定
2 かABC	標準画面表示
5 なJKL	画面キャプチャ
6 はMNO	再生速度アップ
7 まPQRS	再生速度ダウン

動画を再生する

1 ■→「メディア」→「ムービー」

2 ファイルの選択操作

■ **最後に再生したファイルを再生するとき**
「続き再生」

■ **すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき**
「全ムービー一覧」→ファイルを反転表示→■(再生)

■ **プレイリストからファイルを選択するとき**
「プレイリスト」→プレイリストを選択→ファイルを反転表示→■(再生)

■ **最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき**
「最近見たムービー」→ファイルを反転表示→■(再生)

■ **よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき**
「よく見るムービー」→ファイルを反転表示→■(再生)

- 「全ムービー一覧」やプレイリスト名を反転表示して✉(再生)を押すと、該当するファイルの一覧をすべて再生します。
- 再生を一時停止するには、■(一時停止)を押します。もう一度再生するには、■(再生)を押します。
- 再生を終了して一覧画面に戻るには、✉(停止)を押し、CLEARを押します。ただし、メニュー表示中またはメニュー操作中にCLEARを押した場合は、メニューを閉じるか1つ前の画面に戻ります。
- メモリカードを取り付けているときは、「全ムービー一覧」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルにはSDが表示されます。

使いこなしチェック!

便利 (☞P.7-11)

- タイトルやアーティスト名でファイルを探したい
- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルを送信したい
- ファイルの順序を変更したい
- 著作権保護ファイルのコンテンツ·キーを購入または取得したい
- ファイルを削除したい
- ファイル名を編集したい
- ファイルを保護して編集や削除などを制限したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい
- 画面全体に動画を表示したい
- 表示サイズを変更したい
- 指定した位置から再生したい
- 動画から静止画を切り取りたい
- ウェブリンクに接続したい
- 再生速度を変更したい
- ボタンに割り当てられた機能を確認したい

設定

- 再生パターンを設定する(☞P.13-11)
- 再生中の音量を設定する(☞P.13-11)
- バックライトを設定する(☞P.13-11)
- 表示するフォルダを設定する(☞P.13-11)
- サムネイル表示を設定する(☞P.13-11)
- リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定する(☞P.13-11)

プレイリスト

プレイリストを作成すれば、自分だけのアルバムを作ることができます。

プレイリストを作成する

プレイリストは最大20件作成でき、1件のプレイリストには最大100件のファイルを登録できます。

1 ■→「メディア」→「ミュージック」/「ムービー」→「プレイリスト」→Y!→「プレイリスト作成」

2 プレイリスト名を入力

3 作成したプレイリストを選択

4 Y!→「追加」→「ファイル」

5 登録するファイルをチェック→✉(保存)

プレイリストを再生する

1 ■→「メディア」→「ミュージック」/「ムービー」→「プレイリスト」

2 再生したいプレイリストを反転表示→✉(再生)

- プレイリストに登録したファイルを削除した場合や、メモリカードのファイルを登録しメモリカードを取り外した場合は再生できません。メモリカードを再度取り付けてファイルの読み込みが完了すると、再生できるようになります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-13

● 既存のプレイリストのファイルをすべて選択してプレイリストを作成したい

便利な機能

便利

音楽再生に関する便利な機能

ファイルを通常モードの着信音に設定したい

■→「メディア」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→✉(設定)→項目を選択

- 音楽再生画面で再生停止中に✉(設定)を押しても同じ操作を行うことができます。
- 着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。

タイトルやアーティスト名でファイルを探したい 【検索】

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」→Y!→「検索」→検索したい項目をチェック→検索欄を選択→タイトルまたはアーティスト名を入力→✉(検索)

ファイルをプレイリストに追加したい【プレイリストに追加】

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」

■ 1件追加するとき

追加したいファイルを反転表示→Y!→「プレイリストに追加」→「1件」→プレイリストを選択

■ 複数追加するとき

Y!→「プレイリストに追加」→「複数」→追加したいファイルをチェック→✉(保存)→プレイリストを選択

ファイルを送信したい【送信】

■→「メディア」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→Y!→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➔P.12-4)

ファイルの順序を変更したい【ソート】

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」→Y!→「ソート」→項目を選択

- 待受画面に戻ると、ソート内容は初期化されます。

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい【コンテンツ・キー再取得】

■→「メディア」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→Y!→「コンテンツ・キー再取得」

ファイルを削除したい【削除】

■→「メディア」→「ミュージック」→フォルダを選択

■ 1件削除するとき

削除したいファイルを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y!→「削除」→「複数」→削除したいファイルをチェック→✉(削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→「はい」

- 「全曲一覧」フォルダ内のファイルをすべて削除するときは、操作用暗証番号の入力が必要になります。

ファイル名を編集したい【ファイル名変更】

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」→ファイルを反転表示→Y!→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

ファイルを保護して編集や削除などを制限したい【保護】/【保護解除】

■→「メディア」→「ミュージック」→「全曲一覧」→ファイルを反転表示→Y!→「保護」/「保護解除」

ファイルの詳細情報を確認したい【詳細】

■→「メディア」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→Y!→「詳細」

- 音楽再生画面でY!を押しても同じ操作を行うことができます。

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい【順序変更】

■→「メディア」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→移動したいファイルを反転表示→Y!→「順序変更」→◆で移動先を反転表示→■(OK)

プレイリスト名を編集したい【プレイリスト名変更】

■→「メディア」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを反転表示→Y!→「プレイリスト名変更」→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい　**[削除]**

■→「メディア」→「ミュージック」→「プレイリスト」

■ 1件削除するとき

削除したいプレイリストを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

指定した位置から再生したい　**[タイムサーチ]**

音楽再生画面でY!→「タイムサーチ」→時間を入力→■(再生)

ウェブリンクに接続したい　**[ウェブリンクに接続]**

音楽再生画面でY!→「ウェブリンクに接続」→「はい」

- ウェブリンクに接続できるファイルは、音楽再生画面にが表示されます。

ボタンに割り当てられた機能を確認したい　**[ヘルプ]**

音楽再生画面でY!→「ヘルプ」

便利

動画再生に関する便利な機能

ファイルを通常モードの着信音に設定したい

■→「メディア」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→✉(設定)→項目を選択

- 動画再生画面で再生停止中に✉(設定)を押しても同じ操作を行うことができます。
- 着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。

タイトルやアーティスト名でファイルを探したい　**[検索]**

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→Y!→「検索」→検索したい項目をチェック→検索欄を選択→タイトルまたはアーティスト名を入力→✉(検索)

ファイルをプレイリストに追加したい　**[プレイリストに追加]**

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」

■ 1件追加するとき

追加したいファイルを反転表示→Y!→「プレイリストに追加」→「1件」→プレイリストを選択

■ 複数追加するとき

Y!→「プレイリストに追加」→「複数」→追加したいファイルをチェック→✉(保存)→プレイリストを選択

ファイルを送信したい　**[送信]**

■→「メディア」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→Y!→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➲P.12-4)

ファイルの順序を変更したい　**[ソート]**

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→Y!→「ソート」→項目を選択

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい **[コンテンツ・キー再取得]**

■→「メディア」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→Y!→「コンテンツ・キー再取得」

ファイルを削除したい **[削除]**

■→「メディア」→「ムービー」→フォルダを選択

■ 1件削除するとき

削除したいファイルを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

Y!→「削除」→「複数」→削除したいファイルをチェック→✉(削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→「はい」

- 「全ムービー一覧」フォルダ内のファイルをすべて削除するときは、操作用暗証番号の入力が必要になります。

ファイル名を編集したい **[ファイル名変更]**

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ファイルを反転表示→Y!→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

ファイルを保護して編集や削除などを制限したい **[保護]/[保護解除]**

■→「メディア」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ファイルを反転表示→Y!→「保護」/「保護解除」

ファイルの詳細情報を確認したい **[詳細]**

■→「メディア」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→Y!→「詳細」

- 動画再生画面でY!を押しても同じ操作を行うことができます。

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい **[順序変更]**

■→「メディア」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→移動したいファイルを反転表示→Y!→「順序変更」→◆で移動先を反転表示→■(OK)

プレイリスト名を編集したい **[プレイリスト名変更]**

■→「メディア」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを反転表示→Y!→「プレイリスト名変更」→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい **[削除]**

■→「メディア」→「ムービー」→「プレイリスト」

■ 1件削除するとき

削除したいプレイリストを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

画面全体に動画を表示したい **[全画面表示]**

動画再生画面でY!→「全画面表示」

表示サイズを変更したい **[画面表示サイズ]**

動画再生画面でY!→「画面表示サイズ」→項目を選択

指定した位置から再生したい **[タイムサーチ]**

動画再生画面でY!→「タイムサーチ」→時間を入力→■(再生)

動画から静止画を切り取りたい **[画面キャプチャ]**

動画再生画面でY!→「画面キャプチャ」→■(保存)

ウェブリンクに接続したい　**[ウェブリンクに接続]**

動画再生画面でY!→「ウェブリンクに接続」→「はい」

- ウェブリンクに接続できるファイルは、動画再生画面にが表示されます。

再生速度を変更したい　**[再生スピード]**

動画再生画面でY!→「再生スピード」→項目を選択

- 速度変更中は音声が再生されません。

ボタンに割り当てられた機能を確認したい　**[ヘルプ]**

動画再生画面でY!→「ヘルプ」

便利

プレイリストに関する便利な機能

既存のプレイリストのファイルをすべて選択してプレイリストを作成したい　**[追加]**

■ ミュージックのプレイリストを作成するとき

■→「メディア」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→Y!→「追加」→「プレイリスト」→全ファイル追加するプレイリストを選択

■ ムービーのプレイリストを作成するとき

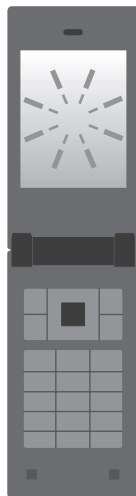
■→「メディア」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→Y!→「追加」→「プレイリスト」→全ファイル追加するプレイリストを選択

ニュース／エンタテイメント

ニュース／エンタテイメントについて

本機では、インターネットにアクセスして、様々なコンテンツをダウンロードしたり閲覧したりすることができます。
また、コンテンツを登録することによって、最新情報を自動的に受信できます。
ここでは、コンテンツのダウンロード方法と利用方法について説明します。

注意

次のコンテンツのご利用には、別途お申し込みが必要です。
- S!情報チャンネル
- S!電話帳バックアップ

S!情報チャンネル／お天気（➔P.8-3）

無料コンテンツ（➔P.8-4）

S!電話帳バックアップ（➔P.12-9）

S!情報チャンネル

S!情報チャンネルでは、登録したニュースなどを夜間にお届けします。また、待受画面にお天気情報をアイコンでお知らせします。

- 日本国内だけで利用できるサービスです。
- S!情報チャンネルのご利用には、別途お申し込みが必要です。

サービス登録を行う

1 ■→「ニュース／エンタメ」→「S!情報チャンネル／お天気」→「サービス登録・解除」

2 画面の指示に従って操作

新着情報を確認する

S!情報チャンネルの情報は自動的に受信され、待受画面に通知が表示されます。

1 通知情報が表示されている間に■（表示）

2 画面の指示に従って操作

- 操作方法は、Yahoo!ケータイと同様です。

お天気アイコンを利用する

S!情報チャンネルのサービス登録を行うと、現在いる地域の天気を示すマーク（お天気アイコン）が、待受画面に表示されます。

☀：晴れ（昼）
☽：晴れ（夜）
☁：曇り
☂：雨
☃：雪
⚡：雷雨
▶：のち
/：時々
例：☁/☂→曇り時々雨

- 上記以外に、降水確率や季節情報なども表示されます。

注意

- S!情報チャンネルのご利用時には、パケット通信料が発生します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-4

設定

- お天気アイコンを表示するかどうかを設定する（☞P.13-8）
- お天気アイコンが更新されたときに通知するかどうかを設定する（☞P.13-8）
- お天気アイコンを自動的に更新するかどうかを設定する（☞P.13-8）

無料コンテンツ

無料コンテンツには、情報料無料でコンテンツをダウンロードできるダウンロードページへのショートカットが用意されています。デコレメール素材をダウンロードできます。

1. ■→「ニュース／エンタメ」→「無料コンテンツ」
2. 「タダデコ」
3. 画面の指示に従って操作
   - 操作方法は、Yahoo!ケータイと同様です。

注意

- 無料コンテンツのダウンロード時には、パケット通信料が発生します。

便利な機能

便利

S!情報チャンネルに関する便利な機能

通知が消えたあとで確認したい

■→「ニュース／エンタメ」→「S!情報チャンネル／お天気」→「最新情報」

以前受信した情報を確認したい

■→「ニュース／エンタメ」→「S!情報チャンネル／お天気」→「バックナンバー」→項目を選択

受信できなかった情報を再度受信したい

■→「ニュース／エンタメ」→「S!情報チャンネル／お天気」→「再配信要求」→「はい」

天気予報を表示したい

■→「ニュース／エンタメ」→「S!情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「天気予報」

お天気アイコンを手動で更新したい

■→「ニュース／エンタメ」→「S!情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「手動更新」→「はい」

ツール

ツールについて

本機では、カレンダーやボイスレコーダーなど様々なツールが用意されています。
この章では、本機に用意されているツールについて説明します。

カレンダー

カレンダーを表示したり、スケジュールを登録することができます（➲P.9-3）。

アラーム

アラーム機能を設定できます（➲P.9-5）。

電卓

電卓機能を使用できます（➲P.9-6）。

通貨・単位換算

金額を各国の通貨に換算したり、長さや重さなどを他の単位に換算できます（➲P.9-7）。

世界時計

世界各国の都市の現在時刻を見ることができます（➲P.9-8）。

メモ帳

メモを登録／確認できます（➲P.9-8）。

予定リスト

予定リストを登録／確認できます（➲P.9-8）。

ボイスレコーダー

音声を録音／再生できます（➲P.9-9）。

ストップウォッチ

ストップウォッチ機能を使用できます（➲P.9-10）。

ファイルビューア

ドキュメントファイルを閲覧できます（➲P.9-11）。

辞典

日本語の英語訳や英単語の日本語訳を調べられます（➲P.9-12）。

カレンダー

カレンダーを表示したり、カレンダーにスケジュールを登録できます。
3種類の方法でカレンダーを表示できます。
スケジュールには、件名、開始日などを登録できます。
予定リストと合わせて最大200件登録できます。

カレンダーの見かた

1ヶ月、1週間、1日の3つの表示モードがあります。

- 表示モードを切り替えるときは、→「表示切替」(➔P.9-13)を押します。
- スケジュールが登録されている日付を選択すると、スケジュールが表示されます。

1ヶ月表示画面

1週間表示画面

□:反転表示位置
背景色ありの日付:今日
青色の日付:土曜日
赤色の日付:日曜日、祝日
⌟(青色):スケジュール登録あり

1日表示画面

- 1ヶ月表示画面を前後の月に切り替えるには、／または年月欄を反転表示してを押します。
- 1週間表示画面を前後の週に切り替えるには、／または年月欄を反転表示してを押します。
- 1日表示画面を前後の日付に切り替えるには、を押します。
- スケジュールやアラームを登録している日などを表示すると、スケジュールの件名やアイコンなどが表示されます。
  - :スケジュール(カテゴリなし)
  - :スケジュール(約束)
  - :スケジュール(会議)
  - :スケジュール(仕事)
  - :スケジュール(祝日)
  - :スケジュール(記念日)
  - :スケジュール(誕生日)
  - :スケジュール(電話)
  - :スケジュール(デート)
  - :スケジュール(旅行)
  - :スケジュール(その他)
  - :祝日
  - :アラームの設定あり
  - :繰り返しの設定あり

カレンダーを表示する

1 [カレンダーキー]

スケジュールを登録する

予定リストと合わせて最大200件登録できます。
ここでは例として、件名、開始日、開始時間を登録します。

- 他の項目については、「スケジュールの内容を登録したい」（➔P.9-12）を参照してください。

1 [カレンダーキー]
2 [メールキー]（新規）
3 件名を入力
4 開始日時欄を反転表示→開始日時を入力
5 [メールキー]（保存）

- 操作2の前に、カレンダー画面で目的の日付を選択しておくと、開始日欄や終了日欄にその日付が表示されます。

スケジュールを確認する

1 [カレンダーキー]
2 確認したい日付にカーソルを合わせ[■]（選択）
3 確認したいスケジュールを選択

- スケジュールを編集するには、操作3のあとに[■]（編集）を押します。項目を編集し、[メールキー]（保存）を押すと保存できます。
- カレンダーの登録状況を確認するには、カレンダー画面またはスケジュールの一覧画面で、[Y!]→「メモリ容量確認」を選択すると、スケジュールと予定リストの登録件数を確認できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-12

- 表示モードを切り替えたい
- 日付を指定して表示を切り替えたい
- カテゴリごとにスケジュールを確認したい
- スケジュールを送信したい
- スケジュールを削除したい
- シークレット設定したスケジュールを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい
- カレンダーの登録状況を確認したい
- スケジュールをvファイルに変換して送信したい
- スケジュールをvファイルに変換して保存したい

アラーム

アラームを5件登録できます。時刻などを登録しておけば、「On」または「Off」に切り替えるだけで設定や解除ができます。1回限りの起動だけでなく、特定の曜日や毎日の起動を登録することもできます。

アラームを設定／リセットする

ここでは例として、アラーム時刻のみ設定します。

- 他の項目については、「アラームの内容を登録したい」(➔P.9-15)を参照してください。

設定する

1 ■→「アラーム」

2 「アラーム1」～「アラーム5」のいずれかを選択

3 アラーム時刻を入力

4 ✉(保存)

- アラームの設定／編集をして✉(保存)を押すと、そのアラームは自動的に「On」に設定されます。

- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。バイブレータを「Off」以外に設定しているときはバイブレータでもお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音とバイブレータが止まり、表示が消えます。
- アラーム設定時刻に通話中または接続中(「呼び出し中･･･」と表示)、発信中(「ダイヤル中…」と表示)だったときは、短い通知音と表示でお知らせします。ただし、「効果音」(➔P.13-12)の「通話中イベント通知」がチェックされていない場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、いずれかのボタンを押すと消えます。スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、Y!(終了)を押すと消えます。
- アラームを設定すると、ディスプレイに🔔が表示されます。
- 複数のアラームに同じ起動時刻が登録されている場合は、最初に設定した内容が優先されます。ただし、スケジュールや予定リストのアラームと「アラーム」機能のアラームが同じ起動時刻に設定されているとき、設定した順番にかかわらず「アラーム」機能のアラームが優先されます。
- マナーモード設定時は、アラーム音とバイブレータは「マナーモード時設定」(➔P.9-16)の設定に従います。
- 動画撮影中または音声録音中だったときは、撮影または録音の終了と同時に、アラーム音と表示でお知らせします。

リセットする

1 ■→「アラーム」→リセットしたいアラームを反転表示→Y!→「1件リセット」

- すべてのアラームをリセットするには、「全件リセット」を選択します。

アラームの内容を編集する

1 ■→「アラーム」→「アラーム1」〜「アラーム5」→設定時刻を入力→✉(保存)

■ アラーム名を編集するとき

アラーム名欄を選択→アラーム名を入力→✉(保存)

■ 1回のみまたは毎日起動に設定するとき

繰り返し欄を選択→「1回のみ」／「毎日」→✉(保存)

■ 通知する曜日を設定するとき

繰り返し欄を選択→「曜日指定」→設定する項目をチェック→✉(完了)→✉(保存)

■ アラーム音やムービーを設定するとき

アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉(再生)→Y!(選択)→✉(保存)

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-15

● マナーモード時の音量／バイブレータを設定したい

電卓

13桁までの四則演算ができます。

1 ■→「ツール」→「電卓」

2 ダイヤルボタンと✥、■で計算

- 「＋」／「－」／「×」／「÷」を入力するには、▶／◀／▲／▼を押します。
- 計算結果を表示させるには、■を押します。
- 小数点、「(」「)」を入力するには、✉(.( ))を繰り返し押します。
- カーソルを左／右に移動するには、＊／＃を押します。
- 数式を1文字消すには、消す文字の後ろにカーソルを移動してCLEARを押します。
- 数式と計算結果をまとめて消すには、Y!(C)を押すか、またはCLEARを1秒以上押します。

ツール

9

通貨・単位換算

金額を各国の通貨に換算できます。長さや重さなどを他の単位に換算することもできます。

通貨換算する

1 ■→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」

2 換算元の通貨欄を選択

3 通貨を選択

4 金額欄を反転表示→金額を入力

- 小数点を入力するには、[＊]を押します。

5 換算する通貨欄を選択→通貨を選択

6 表示された金額を確認

- 換算元の通貨と換算する通貨を入れ替えるには、[Y!]（切替）を押します。

他の単位に換算する

1 ■→「ツール」→「通貨・単位換算」→「長さ」／「重さ」／「体積」／「面積」／「温度」

2 換算元の単位欄を選択→単位を選択

3 換算元の単位の数値欄を反転表示→数値を入力

4 換算する単位欄を選択→単位を選択

5 表示された数値を確認

- 換算元の単位と換算する単位を入れ替えるには、[Y!]（切替）を押します。
- 温度を換算するときに±を切り替えるには、[＃]を押します。
- 数値を消去するには、[✉]（消去）を押します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-16

世界時計

世界各国の都市の現在時刻を確認できます。

世界時計を見る

1 ■→「ツール」→「世界時計」

地域を登録する

よく確認する地域を登録しておくと、世界時計を呼び出すだけで簡単に表示できます。

1 ■→「ツール」→「世界時計」
2 地域1欄／地域2欄を反転表示→◘で目的の都市名を選択
3 ■(保存)

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-17

メモ帳

最大20件のメモを登録できます。メモ帳は通話中にも登録できます(➔P.3-6)。

メモを登録する

1 ■→「ツール」→「メモ帳」
2 「<新規作成>」→内容を入力

メモを確認する

1 ■→「ツール」→「メモ帳」→確認したいメモ帳を反転表示→■(表示)

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-17

- メモを削除したい
- メモをメールで送信したい
- メモの登録状況を確認したい

予定リスト

予定リストをスケジュールと合わせて最大200件登録して、リストで管理できます。

予定リストを登録する

ここでは例として、件名、期限日、開始時間を登録します。

- 他の項目については、「予定リストの内容を登録したい」(➔P.9-17)を参照してください。

1 ■→「ツール」→「予定リスト」
2 Y!→「新規登録」
3 件名を入力
4 期限日時欄を反転表示→期限日時を入力
5 ✉(保存)

ツール 9

予定リストを確認する

1 ■→「ツール」→「予定リスト」

- 予定リスト一覧画面で⊡を押すと、「全予定リスト」、「処理済」、「未処理」、「期限切」を切り替えることができます。
- 予定リストを編集するには、予定リストを選択して詳細を表示し、■(編集)を押します。項目を編集し、✉(保存)を押すと保存できます。

予定リストに処理済みのマークを付ける

1 ■→「ツール」→「予定リスト」

2 処理済みにしたい予定リストを反転表示→✉(ステータス)→「処理済」

- 処理済みのマークを消すときは、✉(ステータス)→「未処理」を選択します。

使いこなしチェック!

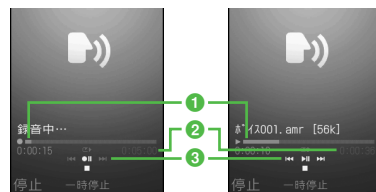
便利 ☞P.9-17

- 予定リストの内容を登録したい
- 予定リストをvファイルに変換して送信したい
- 予定リストを並べ替えたい
- 指定した日付の予定リストを表示したい
- 予定リストを削除したい
- 予定リストをvファイルに変換して保存したい
- シークレット設定した予定リストを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい
- 予定リストの登録状況を確認したい

ボイスレコーダー

音声を最長60分間録音できます。ボイスレコーダーは、ツールメニューの他、通話中やデータフォルダ、メール作成画面のメニューからも起動できます。

ボイスレコーダーの表示画面の見かた

ソフトキーの表示や、マルチファンクションボタンのガイド表示に従って操作します。

録音中の画面　再生中の画面

1. 経過時間
2. 録音可能時間(録音中)／総再生時間(再生中)
3. マルチファンクションボタンのガイド表示

音声を録音する

録音した音声は、データフォルダの「着うた･メロディ」フォルダに保存されます。

1. ■→「ツール」→「ボイスレコーダー」
2. ■(録音)
3. ✉(停止)／□
   - 録音が終了し、自動的に保存されます。録音時間が経過した場合は、自動的に録音が終了し、保存されます。
   - ■(一時停止)を押すと、録音を一時停止します。一時停止中画面では、✉(保存)を押すと録音を終了して保存、■(録音)を押すと録音を再開できます。

- 録音後、すぐに録音内容を確認したい場合は■(再生)で確認できます。もう一度■(一時停止)を押すと、一時停止できます。
- 録音後、すぐに次の録音をしたい場合は□を押し、■(録音)を押します。

音声を再生する

データフォルダに保存されている音声ファイルを再生します。

1. ■→「ツール」→「ボイスレコーダー」
2. Y!→「データフォルダ」
3. ファイルを反転表示→■(再生)

- □／□を押すと、再生音量の調節ができます。
- □を押すと、巻き戻し／早送りができます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-19

- 録音後、続けて録音したい
- 録音した音声ファイルを送信したい
- 録音した音声ファイルを削除したい
- 録音した音声ファイル名を編集したい
- 録音した音声ファイルを保護して変更や削除などを制限したい
- 録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい

ストップウォッチ

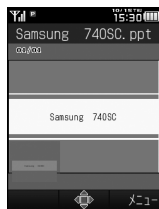
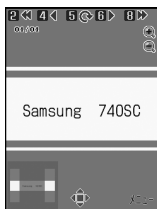
本機をストップウォッチとして使えます。最大10回のラップタイムと合計タイムも計れます。

1. ■→「ツール」→「ストップウォッチ」
2. ■(スタート)
3. ✉(停止)

- ラップタイムを計るときは、計測中に■(ラップタイム)を押します。

ファイルビューア

ファイルビューアでドキュメントファイルを確認する

ドキュメントファイルは、標準表示または全画面表示で確認できます。どちらの表示でも、メニューやショートカット(ボタン操作)を使って画面を操作できます。

標準表示

全画面表示

1 ■→「データフォルダ」

2 「その他ファイル」→ファイルを選択

3 メニューやショートカットを使って画面を確認

- データフォルダ内のドキュメントファイル(PDF、XLS、DOC、PPT、TXT)を確認できます。データフォルダの一覧画面でこれらのファイルを選択すると、自動的にファイルビューアが起動します。
- 画面をスクロールするには、✥を押します。
- ファイルビューアの起動中は、スイッチバー(➔P.2-3)を表示できません。
- 約10Mバイトまでのファイルを閲覧することができます。ファイルの内容によってはサイズが10Mバイト内であっても表示できないことがあります。

注意

- ページ数の多いドキュメントや複雑なデザインを含むドキュメントなどでは、ファイルをすべて表示できない場合があります。
- 日本語や英語以外の言語がファイルに含まれている場合は、正しく表示できないことがあります。

ショートカット(ボタン操作)について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に操作できます。

ボタン	内　容
▲(サイドキー上)	ズームイン
▼(サイドキー下)	ズームアウト
2	最初のページに移動
4	前のページに移動
5	時計回りに90度回転／もとに戻す
6	次のページに移動
8	最後のページに移動
*	全画面表示／標準表示に切り替え

ファイルを拡大／縮小する

1 ■→「データフォルダ」

2 「その他ファイル」→ファイルを選択

3 Y!→「ズームイン／アウト」→「ズームイン」／「ズームアウト」

ツール

9

使いこなしチェック!

便利 ☞P.9-20

- 全画面表示／標準表示を切り替えたい
- ファイルを拡大／縮小したい
- ファイルの幅や高さに合わせた表示に切り替えたい
- ページを移動したい
- 画面をキャプチャしたい
- ファイルを時計まわりに90度回転したい
- ページ内の文字列を検索したい
- ファイルを送信したい
- ファイル名を編集したい
- ファイルを保護して変更や削除などを制限したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- ファイルを削除したい
- ボタンに割り当てられたショートカットを確認したい

和英辞典／英和辞典

日本語の単語の英語訳や、英単語の日本語訳を調べることができます。

1. ■→「ツール」→「辞典」
2. 「英和辞典」／「和英辞典」→調べる単語を入力
3. 目的の見出し語を選択

便利な機能

便利

カレンダーに関する便利な機能

スケジュールの内容を登録したい

□→✉(新規)→件名を入力→開始日時欄を反転表示→開始日時を入力

■ **終了日と終了時間を設定するとき**

終了日時欄を選択→終了日時欄を反転表示→終了日時を入力→✉(保存)

■ **スケジュールを終日に設定するとき**

開始日時欄または終了日時欄を選択→✉(チェック)→■(OK)→✉(保存)

■ **カテゴリを設定するとき**

カテゴリ欄を選択→項目を選択→✉(保存)

■ アラームを設定するとき

アラーム欄を選択→設定時刻欄を選択→項目を選択→鳴動時間欄を選択→項目を選択→アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→☒（再生）→Y!（選択）→音量欄を選択→✥で音量を調節→☒（再生）→■（OK）→バイブ欄を選択→振動パターンを反転表示→☒（再生）→■（選択）→☒（完了）→☒（保存）

- 設定時刻／鳴動時間で「その他」を選択したときは、設定時刻／鳴動時間を入力します。
- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■ 設定したスケジュールを繰り返すとき

繰り返し欄を選択→項目を選択→繰り返す回数を入力→■（OK）→☒（保存）

- 「一回のみ」を選択したときは、繰り返す回数を入力する操作はありません。

■ 場所を設定するとき

場所欄を選択→場所を入力→☒（保存）

■ スケジュールを自動で削除するとき

有効期限欄を選択→項目を選択→☒（保存）

- 有効期限を過ぎると、カレンダーから自動的に削除されます。たとえば表示期限が「1年後」の場合、繰り返しを設定していないときは、終了日から1年経過すると削除されます。繰り返しを設定しているときは、繰り返しの最終日から1年で削除されます。自動的に削除されないようにするには、「設定しない」を選択します。

■ 詳細を設定するとき

詳細欄を選択→内容を入力→☒（保存）

■ シークレット設定をするとき

シークレット設定欄を選択→項目を選択→☒（保存）

スケジュールを編集したい

凸→日付を選択→編集したいスケジュールを選択→■（編集）→スケジュールの登録操作（➲P.9-12）→☒（保存）

表示モードを切り替えたい **[表示切替]**

凸→Y!→「表示切替」→項目を選択

日付を指定して表示を切り替えたい **[表示日指定]**

凸→Y!→「表示日指定」

■ 今日の日付を表示するとき

「今日」

■ 確認したい日付に表示を切り替えたいとき

「日付指定」→年月日を入力

カテゴリごとにスケジュールを確認したい **[カテゴリ別表示]**

凸→Y!→「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択

スケジュールを送信したい **[赤外線通信]**

凸→Y!→「赤外線通信」→送信したいスケジュールをチェック→☒（送信）→「はい」（➲P.12-4）

スケジュールを削除したい　【削除】

[カレンダーキー]

■ 1件削除するとき

日付を選択→削除したいスケジュールを反転表示→[Y!]→「削除」→「1件」→「はい」

■ 選択した日のスケジュールを削除するとき

削除したい日付を反転表示→[Y!]→「削除」→「1日」→「はい」

- 1日表示画面で表示している日のスケジュールをすべて削除するには、[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」を選択します。

■ 特定の期間のスケジュールを削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で[Y!]→「削除」→「期間指定」→開始日を反転表示→開始日を入力→終了日を反転表示→終了日を入力→[■](削除)→「はい」

■ 表示中の月／週のスケジュールを削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で[Y!]→「削除」→「今月」／「今週」→「はい」

■ 反転表示中の日付より前の全スケジュールを削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で[Y!]→「削除」→「選択日より前」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

■ すべてのスケジュールを削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で[Y!]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)→「はい」

■ カテゴリごとに複数のスケジュールをまとめて削除するとき

1ヶ月表示画面／1週間表示画面で[Y!]→「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択→[Y!]→「削除」→「複数」→削除したいスケジュールをチェック→[✉](削除)→「はい」

- カテゴリ内のすべてのスケジュールを削除するときは、「このカテゴリ全て」→「はい」を選択します。

祝日を追加したい

[カレンダーキー]→[Y!]→「設定」→「祝日設定」→登録したい欄を選択→タイトルを入力→日付を入力→頻度を入力→[✉](保存)

祝日の表示を変更したい

[カレンダーキー]→[Y!]→「設定」→「祝日設定」→有効にしたい祝日設定をチェック→[✉](保存)

追加した祝日を編集したい

[カレンダーキー]→[Y!]→「設定」→「祝日設定」→編集したい祝日設定を反転表示→[Y!]→「編集」→項目を編集→[✉](保存)

追加した祝日を削除したい

[カレンダーキー]→[Y!]→「設定」→「祝日設定」→削除したい祝日設定を反転表示→[Y!]→「削除」

週の始まりを設定したい

[カレンダーキー]→[Y!]→「設定」→「週の始まり」→「日曜日」／「月曜日」

カレンダー起動時の表示画面を設定したい

[カレンダーキー]→[Y!]→「設定」→「基本表示モード」→項目を選択

リマインダーを設定したい

[カレンダーキー]→[Y!]→「設定」→「リマインダー」→On/Off設定欄を選択→「On」

■ 通知する時間を設定するとき

時間欄を選択→時間を入力→[✉](保存)

■ アラーム音の鳴動時間を設定するとき

鳴動時間欄を選択→項目を選択→[✉](保存)

- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ アラーム音やムービーを設定するとき

アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[✉](再生)→[Y!](選択)→[✉](保存)

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■ アラーム音量を調節するとき

音量欄を選択→[十字キー]で音量を調節→[メール](再生)→[●](OK)→[メール](保存)

■ バイブレータを設定するとき

バイブ欄を選択→振動パターンを反転表示→[メール](再生)→[●](選択)→[メール](保存)

シークレット設定したスケジュールを確認したい　[シークレット一時解除]

[カメラ]→[Y!]→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→[●](OK)

アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい [未確認イベント一覧]

[カメラ]→[Y!]→「未確認イベント一覧」→確認したいスケジュールを選択

カレンダーの登録状況を確認したい [メモリ容量確認]

[カメラ]→[Y!]→「メモリ容量確認」

スケジュールをvファイルに変換して送信したい [送信]

[カメラ]→日付を選択→スケジュールを反転表示→[Y!]→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➲P.12-4)

スケジュールをvファイルに変換して保存したい　[データフォルダに保存]

[カメラ]→日付を選択→スケジュールを反転表示→[Y!]→「データフォルダに保存」→「本体」／「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

便利

アラームに関する便利な機能

アラームの内容を登録したい

[●]→「アラーム」→「アラーム1」～「アラーム5」→設定時刻を入力

■ アラーム名を編集するとき

アラーム名欄を選択→アラーム名を入力→[メール](保存)

■ 1回のみまたは毎日起動に設定するとき

繰り返し欄を選択→「1回のみ」／「毎日」→[メール](保存)

■ 通知する曜日を設定するとき

繰り返し欄を選択→「曜日指定」→設定する項目をチェック→[メール](完了)→[メール](保存)

■ アラーム音やムービーを設定するとき

アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[メール](再生)→[Y!](選択)→[メール](保存)

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■ アラーム音量を調節するとき

音量欄を選択→[十字キー]で音量を調節→[メール](再生)→[●](OK)→[メール](保存)

■ バイブレータを設定するとき

バイブ欄を選択→振動パターンを反転表示→[メール](再生)→[●](選択)→[メール](保存)

■ スヌーズを設定するとき

スヌーズ欄を選択→項目を選択→[メール](保存)

- スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、スヌーズを解除するまでアラーム通知を設定した時間毎に設定した回数繰り返します。アラーム通知中にボタン操作を行わなかったとき、または[終話]、[Y!](終了)以外のいずれかのボタンを押したときは、アラーム音が止まり、設定した時間が経過するとアラーム通知を行うようにセットされます。
  スヌーズを解除するには、[終話]または[Y!](終了)を押します。
- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ スヌーズの繰り返し回数を設定するとき

スヌーズ繰り返し回数欄を選択→項目を選択→[メール](保存)

■ アラーム音の鳴動時間を設定するとき

鳴動時間欄を選択→項目を選択→[メール](保存)

- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

アラームを設定/解除したい

[●]→「アラーム」→切り替えたいアラームを反転表示→[メール](On/Off)

マナーモード時の音量/バイブレータを設定したい　【マナーモード時設定】

[●]→「アラーム」→[Y!]→「マナーモード時設定」

■ アラーム音量を設定するとき

「アラーム音量」→[十字キー]で音量を調節→[メール](再生)→[●](OK)

■ バイブレータを設定するとき

「バイブ」→項目を選択

便利

通貨・単位換算に関する便利な機能

為替レートを確認したい

[●]→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→基準にする通貨欄を反転表示→[メール](レート表示)

為替レートを変更したい

[●]→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→基準にする通貨欄を反転表示→[メール](レート表示)→レートを変更したい通貨を反転表示→[●](編集)→レートを入力→[●](保存)

通貨単位を追加したい

[●]→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→[メール](レート表示)→[メール](追加)→通貨単位名とレートを入力

追加した通貨単位を削除したい

[●]→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→[メール](レート表示)→削除したい通貨を反転表示→[Y!](削除)

便利

世界時計に関する便利な機能

サマータイムを設定したい

■→「ツール」→「世界時計」→Y!(サマータイム)→サマータイムを設定したい地域をチェック→✉(完了)→■(保存)

便利

メモ帳に関する便利な機能

メモの内容を編集したい

■→「ツール」→「メモ帳」→編集したいメモ帳を反転表示→✉(編集)→内容を編集

メモを削除したい 【削除】

■→「ツール」→「メモ帳」

■ 1件削除するとき

削除したいメモを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき

メモを反転表示→Y!→「削除」→「複数」→削除したいメモをチェック→✉(削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

メモを反転表示→Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

メモをメールで送信したい 【送信】

■→「ツール」→「メモ帳」→送信したいメモを選択→Y!→「送信」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

メモの登録状況を確認したい 【メモリ容量確認】

■→「ツール」→「メモ帳」→Y!→「メモリ容量確認」

便利

予定リストに関する便利な機能

予定リストを編集したい

■→「ツール」→「予定リスト」→予定リストを選択→■(編集)→予定リストの編集操作(➔P.9-17)→✉(保存)

予定リストの内容を登録したい 【新規登録】

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「新規登録」→件名を入力→期限日時欄を反転表示→期限日時を入力

■ アラームを設定するとき

アラーム欄を選択→設定時刻欄を選択→設定時刻を選択→鳴動時間欄を選択→鳴動時間を選択→アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉(再生)→Y!(選択)→音量欄を選択→✣で音量を調節→✉(再生)→■(OK)→バイブ欄を選択→振動パターンを反転表示→✉(再生)→■(選択)→✉(完了)→✉(保存)

- アラーム設定時刻で「その他」を選択したときは、アラーム日時を入力します。
- 鳴動時間設定で「その他」を選択したときは、鳴動時間を入力します。

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。■(OK)を押すと表示が消えます。アラームを停止しなかったときは、未確認のアラームがある旨をお知らせするメッセージが表示されます。■(表示)を押すと、内容を確認できます。
- アラーム設定時刻に通話中または接続中(「呼び出し中…」と表示)や発信中(「ダイヤル中…」と表示)だったときは、短い通知音と表示でお知らせします。ただし、「効果音」(➲P.13-12)の「通話中イベント通知」がチェックされていない場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、■(OK)を押すと消えます。

■ 重要度を設定するとき

重要度欄を選択→項目を選択→✉(保存)

■ 予定リストの詳細を設定するとき

詳細欄を選択→内容を入力→✉(保存)

■ シークレット設定をするとき

シークレット設定欄を選択→項目を選択→✉(保存)

予定リストをvファイルに変換して送信したい [送信]

■→「ツール」→「予定リスト」→送信したい予定リストを反転表示→Y!→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-4 S!メールを作成·送信する❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→送信したい予定リストをチェック(➲P.12-4)

- 詳細画面でY!→「送信」を選択しても送信できます。

予定リストを並べ替えたい [ソート]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「ソート」→項目を選択

指定した日付の予定リストを表示したい [表示日指定]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「表示日指定」

■ 今日の予定リストを表示するとき

「今日」

■ 確認したい日付を入力するとき

「日付指定」→年月日を入力

予定リストを削除したい [削除]

■→「ツール」→「予定リスト」

■ 1件削除するとき

削除したい予定リストを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

- 詳細画面でY!→「削除」を選択しても1件削除できます。

■ 複数削除するとき

Y!→「削除」→「複数」→削除したい予定リストをチェック→✉(削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

予定リストをvファイルに変換して保存したい [データフォルダに保存]

■→「ツール」→「予定リスト」→予定リストを選択→Y!→「データフォルダに保存」→「本体」/「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

シークレット設定した予定リストを確認したい [シークレット一時解除]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■(OK)

アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい

[未確認イベント一覧]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「未確認イベント一覧」→確認したいスケジュールを選択

- 詳細画面でY!→「未確認イベント一覧」を選択しても確認できます。

予定リストの登録状況を確認したい

[メモリ容量確認]

■→「ツール」→「予定リスト」→Y!→「メモリ容量確認」

便利

ボイスレコーダーに関する便利な機能

録音した音声ファイルを着信音などに設定したい

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■(録音)→✉(停止)→✉(設定)→着信音を選択

- 「個別着信音」を選択したときは、電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)します。

録音後、続けて録音したい

[録音]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■(録音)→✉(停止)→Y!→「録音」

録音した音声ファイルを送信したい

[送信]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■(録音)→✉(停止)→Y!→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➲P.12-4)

録音した音声ファイルを削除したい

[削除]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■(録音)→✉(停止)→Y!→「削除」→「はい」

録音した音声ファイル名を編集したい

[ファイル名変更]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■(録音)→✉(停止)→Y!→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

録音した音声ファイルを保護して変更や削除などを制限したい

[保護]/[保護解除]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■(録音)→✉(停止)→Y!→「保護」/「保護解除」

録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい

[詳細]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■(録音)→✉(停止)→Y!→「詳細」

保存時に付けられるファイル名を変更したい

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→Y!→「録音設定」→「保存ファイル名設定」→ファイル名を入力

録音時間を変更したい

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→Y!→「録音設定」→「録音時間」→項目を選択

録音した音声ファイルの保存先を変更したい

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→Y!→「録音設定」→「保存先設定」→「本体」/「メモリカード」

- メモリカードを取り付けていないときは、自動的に本機に保存されます。

便利

ファイルビューアに関する便利な機能

全画面表示/標準表示を切り替えたい [全画面表示]/[標準表示]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「全画面表示」/「標準表示」

ファイルを拡大/縮小したい [ズームイン/アウト]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「ズームイン/アウト」→項目を選択

ファイルの幅や高さに合わせた表示に切り替えたい [フィット表示]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「フィット表示」→項目を選択

ページを移動したい [移動]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「移動」→項目を選択

- 「ページ指定」を選択したときは、移動したいページ数を入力して指定します。

画面をキャプチャしたい [画面撮影]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「画面撮影」

- キャプチャした画像は本機のデータフォルダの「ピクチャー」フォルダにJPEG形式で保存されます。

ファイルを時計まわりに90度回転したい [回転]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「回転」

ページ内の文字列を検索したい [検索]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「検索」→検索語を入力

- 検索結果が表示されたあと、同じ検索語で文末に向かって検索するときは3、文頭に向かって検索するときは1を押します。

ファイルを送信したい [送信]

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➲P.12-4)

ファイル名を編集したい **[ファイル名変更]**

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

ファイルを保護して変更や削除などを制限したい **[保護]/[保護解除]**

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「保護」/「保護解除」

ファイルの詳細情報を確認したい **[詳細]**

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「詳細」

ファイルを削除したい **[削除]**

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「削除」→「はい」

スクロール範囲を設定したい

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「設定」→「スクロール」→項目を選択

- ✥を1回押したときのスクロール範囲を設定します。

文字情報のファイル(docやtxtなど)の表示を画面幅に合わせるかどうか設定したい

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「設定」→「画面幅に合わせて表示」→項目を選択

- 「On」に設定すると、画面を上下にスクロールするだけで内容を確認できます。

マップの表示を設定したい

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「設定」→「マップ表示」→項目を選択

- 「On」に設定すると、マップ上に表示中のエリアが赤色で示されます。

全画面表示のショートカットガイドを表示/非表示にしたい

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「設定」→「コントローラ表示」→項目を選択

画面撮影時に付けられるファイル名を編集したい

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「設定」→「画面撮影ファイル名」→ファイル名を入力

ボタンに割り当てられたショートカットを確認したい **[ショートカット表示]**

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→ファイルを選択→Y!→「ショートカット表示」→✥でショートカットを確認

セキュリティ

セキュリティ機能について

本機では、安全＆安心にご使用していただくために、様々なセキュリティ機能をご用意しています。
この章では、本機に搭載されているセキュリティ機能について説明します。

本機のロック

次の方法で本機をロックできます。ロックを解除しない限り、本機の操作を禁止／制限します。

- 暗証番号によるロック

設定した暗証番号を使用したロックです。
操作用暗証番号、PINコード、USIMパスワードを使ったものがあります（➔P.10-3）。

機能別のロック

電話帳やメールなどの機能ごとに操作を禁止／制限します。
各機能を使用する際に、操作用暗証番号の入力が必要になります。
シークレットモードを設定すると、秘密のデータを隠すことができます。

お買い上げ時の状態に戻す

電話帳などの登録情報を消去したり、各機能での設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

暗証番号の変更

本機では、操作用暗証番号とPINコード／PIN2コードを暗証番号として利用できます。

操作用暗証番号を変更する

お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「暗証番号変更」
2. 現在の操作用暗証番号を入力→■(OK)

3. 新しい操作用暗証番号(4～8桁)を入力→■(OK)
4. もう一度新しい操作用暗証番号を入力→■(OK)

PINコード／PIN2コードを変更する

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「PIN変更」／「PIN2変更」
   - PINコード／PIN2コードを設定する場合には、「PIN認証」を「On」にします(➔P.10-4)。
2. 現在のPINコード／PIN2コードを入力→■(OK)
3. 新しいPINコード／PIN2コード(4～8桁)を入力→■(OK)
4. もう一度新しいPINコード／PIN2コード(4～8桁)を入力→■(OK)

使いこなしチェック!

設定

- PINコードを変更する(☞P.13-17)
- PIN2コードを変更する(☞P.13-17)
- 操作用暗証番号を変更する(☞P.13-17)

本機のロック

本機では、ロックの方法として次の方法を用意しています。

- 電源On時ロック
- キー操作ロック
- PIN認証
- USIM照合

電源On時ロックを設定／解除する

「On」に設定すると、電源を入れるごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「電源On時ロック」
2. 「On」／「Off」
3. 操作用暗証番号を入力→■(OK)

- 「On」に設定すると、本機の電源を入れてから操作用暗証番号を入力するまでの間、電話の着信を含むすべての操作が行えません。

キー操作ロック

「On」に設定すると、待受画面でいずれかのボタンを押したときに操作用暗証番号の入力画面が表示されます。操作用暗証番号を入力するとキー操作ロックが解除されて本機を操作できます。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「キー操作ロック」

2 「On」／「Off」

3 操作用暗証番号を入力→■(OK)

- キー操作ロックを設定していても、電話を受けるなど一部の操作は行えます。
- 設定後、待受画面に戻ります。いずれかのボタンを押すと、操作用暗証番号の入力画面が表示されます。操作用暗証番号を入力してキー操作ロックを解除すると、「キー操作ロック」の設定は自動的に「Off」になります。

USIM照合を設定／解除する

本機に他のUSIMカードが取り付けられたとき、USIMパスワードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「USIM照合」

2 「On」／「Off」

3 USIMパスワード(4～8桁の任意の番号)を入力→■(OK)

- 「On」に設定する場合は、もう一度USIMパスワード(4～8桁の任意の番号)を入力し、■(OK)を押します。

- USIMパスワードとは、USIMカードの認証に使用する専用のパスワードです。USIMパスワードが一致すれば、他のUSIMカードでも本機を使用できます。USIMパスワードは、「USIM照合」を「On」に設定するたびに変更できます。
- USIMパスワードを忘れたときは、「USIM照合」を「On」に設定したUSIMカードを本機に取り付けて、オールリセット(➔P.10-8)を行います。

PIN認証を設定／解除する

PINコードはUSIMカードの暗証番号です。USIMカードについて詳しくは「USIMカードのお取り扱い」(➔P.1-6)を参照してください。
電源を入れるたびにPINコードによる認証をする場合は、「On」に設定します。

設定する

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「PIN認証」

2 「On」／「Off」

3 PINコードを入力→■(OK)

解除する

PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロックまたはPIN2ロックが設定され、本機の使用が制限されます。PINロックまたはPIN2ロックを解除するときは、次の操作を行います。

1. PINロック解除コード(PUKコード)の入力画面が表示されている状態でPUKコードを入力→■(OK)
2. 新しいPINコード／PIN2コード(4～8桁)を入力→■(OK)
3. もう一度新しいPINコード／PIN2コード(4～8桁)を入力→■(OK)

注意

- PINロック解除コードまたはPIN2ロック解除コード(PUK/PUK2コード)については、お問い合わせ先(➲P.14-24)までご連絡ください。
- PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされます(途中で電源を切っても連続として数えます)。
- USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先(➲P.14-24)までご連絡ください。

使いこなしチェック!

設定

- 電源On時ロックを設定する(☞P.13-17)
- キー操作ロックを設定する(☞P.13-17)
- USIM照合を設定する(☞P.13-17)
- PIN認証を設定する(☞P.13-17)

機能別のロック

機能別にロックする

機能別ロックを設定すると、電話帳、カレンダー／メモ帳／予定リスト、メール、通話履歴、データフォルダの各機能を呼び出すごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「機能別ロック」
2. ロックする機能をチェック→✉(保存)
3. 操作用暗証番号を入力→■(OK)

シークレットモードを設定／解除する

「表示しない」に設定すると、電話帳の一覧画面やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストを表示したときに、各機能でシークレットを設定している登録内容が表示されなくなります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットモード」
2. 操作用暗証番号を入力→■(OK)
3. 「表示する」／「表示しない」

・「シークレットモード」を「表示する」に設定しても、本機の電源を入れ直すと「表示しない」に設定されます。

シークレットデータフォルダ

「表示しない」に設定すると、データフォルダを表示したときに、シークレットモードを設定したサブフォルダが表示されなくなります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットデータフォルダ」
2. 操作用暗証番号を入力→■(OK)
3. 「表示する」／「表示しない」

・「シークレットデータフォルダ」を「表示する」に設定しても、本機の電源を入れ直すと「表示しない」に設定されます。

モバイルトラッカー

「On」に設定すると、設定したときと異なるUSIMカードが取り付けられたとき、指定した宛先にSMSを送信してお知らせします。宛先は2件まで指定できます。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「モバイルトラッカー」
2. 操作用暗証番号を入力→■(OK)
3. 設定欄を選択→「On」
4. 宛先欄を選択
5. To欄を選択→宛先を入力→✉(保存)
   - 電話帳から宛先を登録する場合は、To欄を反転表示→✉→「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→電話番号を選択します。
6. 送信者欄を選択→送信者名を入力
7. ✉(保存)→表示内容を確認

セキュリティ

10

8 ■(同意)

• 表示内容の承諾を拒否するときは、Y!(拒否)を押します。

•異なるUSIMカードが取り付けられると、起動中に指定した宛先にSMSが送信されます。USIMカードを差し替えた相手には気づかれません。モバイルトラッカーを設定するときに、操作用暗証番号を3回続けて間違えた場合もSMSが送信されます。
•宛先を削除するときは、操作5でY!を押して「削除」を選択します。

使いこなしチェック!

設定

- 機能別ロックを設定する(☞P.13-17)
- シークレットモードを設定する(☞P.13-17)
- データフォルダのサブフォルダにシークレットモード設定をする(☞P.13-17)
- モバイルトラッカーを設定する(☞P.13-17)

お買い上げ時の状態に戻す(メモリ消去/リセット)

メモリ消去

データフォルダ、メール、本機の電話帳、カレンダー/メモ帳/予定リスト、ユーザ辞書の登録内容を消去できます。すべてまとめて消去することもできます。

1 ■→「設定」→「メモリ設定」→「本体」→「メモリ消去」

2 消去したい項目をチェック→✉(削除)

3 操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

設定リセット

設定メニューの登録・設定内容、ツールメニューの「アラーム」の登録・設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。
ただし、次の内容はリセットされません。

設定メニュー	リセットされない内容
通話設定	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」の設定内容
	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」の登録・設定内容
	「通話サービス」→「割込通話」の設定内容
	「通話サービス」→「発着信規制」の設定内容
	「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト編集」の登録内容
電話帳	「オーナー情報」の電話番号、USIMカードの「グループ設定」の登録内容・グループ名
セキュリティ設定	「USIM照合」「PIN認証」「PIN変更」「PIN2変更」
カレンダー	「カレンダー」の登録・設定内容

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「リセット」→「設定リセット」

2 操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

•「はい」を選択したあと、本機は再起動します。

オールリセット

本機の電話帳や発信履歴／着信履歴、メール、データフォルダの登録内容および各機能の設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。ただし、お買い上げ時にあらかじめ保存されているデータフォルダ内のファイルは、消去されません。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「リセット」→「オールリセット」

2 操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

•「はい」を選択したあと、本機は再起動します。

使いこなしチェック!

設定

- 本機をお買い上げ時の状態に戻す(☞P.13-17)
- 設定をリセットする(☞P.13-17)

データフォルダ／メモリ

データフォルダについて

本機では、様々なデータファイルをフォルダで管理することができます。
この章では、データの管理方法について説明します。

データフォルダの構成

ファイルは、データ形式に応じて自動的にフォルダに分類されます。

フォルダ／概要	ファイル形式[1]
ピクチャー	
本機で撮影した静止画などの画像ファイルを保存	JPEG、BMP、GIF、WBMP、PNG、Animation GIF
デジタルカメラ	
本機で撮影した静止画を保存(メモリカードを取り付けているときのみ保存可能)	JPEG
マイ絵文字	
ダウンロードした絵文字を保存	GIF、GPK
着うた・メロディ	
ダウンロードしたメロディや、ボイスレコーダーで録音した音声などのファイルを保存	SMAF、MIDI、SMF、Mobile XMF、MPEG4 Audio、AMR
ミュージック	
ダウンロードした着うたフル®を保存	MPEG4 Audio(mp4、m4a、3gp)
ムービー	
本機で撮影した動画などのファイルを保存	MPEG4／H.263(mp4、3gp)
デコレメールテンプレート	
S!メールで作成したテンプレート	HMT
その他ファイル	
表示の際にファイルビューアが必要なファイルの他、vファイル[2]などを保存	vCard、vCalendar、vBookmark、EML、PDF、XLS、DOC、PPT、TXT、非サポートファイル

1 ファイル形式に応じてデータが振り分けられます。対応していないファイルは、フォルダ間の移動や保存ができません。

2vファイルとは、電話帳などの情報をインターネット経由で交換するためのファイル形式の規格です。本機では、電話帳の情報を交換するためのvCard(拡張子:vcf)、カレンダーのスケジュール/予定リストの情報を交換するためのvCalendar(拡張子:vcs)、ブックマークの情報を交換するためのvBookmark(拡張子:url)のファイル形式を利用できます。

- 1件の種別フォルダ内には、フォルダとファイルを合わせて最大999件保存できます。
- 「メモリ容量確認」を選択すると、データフォルダのフォルダごとのメモリ使用状況を確認できます。「設定」からも同じ操作を行うことができます(➔P.11-11)。
- データフォルダで☒(メモリカード)を押すと、メモリカードのデータフォルダに切り替わり、☒(本体)を押すと、本機のデータフォルダに戻ります。
- 種別フォルダ内に表示されるは、ダウンロードサイトへのショートカットです。選択すると、インターネット上のダウンロードサイトに接続できます。
- 1件の種別フォルダ内にファイルが大量にある場合、本機の動作が遅くなることがあります。

ファイルの確認

データフォルダに保存されている画像ファイルを確認します(➔P.11-5)。フォルダを選択すると、フォルダ内に保存されたファイルが一覧表示されます。

1. ■→「データフォルダ」
2. ファイルの保存場所を選択
3. 一覧画面でファイルを反転表示→■(表示/再生/選択)

- ファイルの一覧に表示されるアイコン
  - ：転送不可
  - ：転送不可かつ利用不可
  - ：保護あり
  - ：著作権保護ファイル(転送可、コンテンツ・キー有効)
  - ：著作権保護ファイル(転送可、コンテンツ・キー期限切れ)
  - ：著作権保護ファイル(転送不可、コンテンツ・キー有効)
  - ：著作権保護ファイル(転送不可、コンテンツ・キー期限切れ)
  - ／：壁紙の設定あり(➔P.11-15)／着信音の設定あり(➔P.11-15)
- プリインストール以外の転送不可ファイルと著作権保護ファイルは利用できません。

- **データフォルダからのカメラ/ボイスレコーダー起動**
  「ピクチャー」フォルダを反転表示するか、「ピクチャー」フォルダ内の画像ファイルを反転表示して[Y!]を押し、「カメラ起動」を選択すると、静止画撮影モードのカメラが起動します。同様に、「ムービー」フォルダを反転表示するか、「ムービー」フォルダ内の動画ファイルを反転表示して[Y!]を押し、「ビデオカメラ起動」を選択すると、動画撮影モードのカメラが起動します。
  「着うた・メロディ」フォルダを反転表示するか、「着うた・メロディ」フォルダ内の音声ファイルを反転表示して[Y!]を押し、「ボイスレコーダー起動」を選択したときは、ボイスレコーダーが起動します。

注意

- JPEGファイルのズームおよび壁紙の設定は、解像度が5000×5000以下の場合のみ可能です。着信画像の設定は、1600×1600以下の場合のみ可能です。
- JPEGファイル以外のファイルのズームおよび着信画像/壁紙の設定は、ファイルサイズが1.3Mバイト以下かつ解像度が1600×1600以下の場合のみ可能です。

ピクチャーブラウザで画像ファイルを確認する

静止画は、標準表示／全画面表示で確認できます。横長の静止画は、全画面表示にすると自動的に回転し、大きく表示されます。

標準表示　全画面表示

1. [■]→「データフォルダ」
2. 「ピクチャー」
3. 一覧画面でファイルを反転表示→[■](表示)
   - 全画面表示で確認するには[■](全画面)を押します。もとの表示に戻るときには[CLEAR]を押します。
4. [◀▶]で画像を移動

•データによっては、表示されない場合があります。

ピクチャーブラウザの画像を並べ替える

ピクチャーブラウザに表示される画像の並びかたを選択できます。

- フォルダ別(保存したフォルダごとに表示)
- 構図別(画像の構図ごとに表示)
- カラー別(画像全体の色ごとに表示)
- 日付別(撮影した日付順に表示)

1. 画像ファイルの確認操作(➔P.11-5)
2. [▲▼]で並びかたを選択

画像を拡大／縮小する

1. [■]→「データフォルダ」
2. 「ピクチャー」
3. 一覧画面でファイルを反転表示→[■](表示)
4. [■](全画面)→[■](ズーム)
5. [▲]／[▼]で拡大／縮小
   - 画面をスクロールするには[✥]を押します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.11-12

- データフォルダの表示をメモリカード／本機に切り替えたい
- 画像を自動的に切り替えながら確認したい
- ファイルやフォルダの詳細を確認したい

ファイル／フォルダの管理

ピクチャーフォルダやムービーフォルダにサブフォルダを作成したり、フォルダ／ファイルのコピー、移動、削除などができます。

フォルダを作成する

種別フォルダ内にサブフォルダを作成できます。
自分で作成したサブフォルダに「シークレット設定」を設定すると、非表示にできます。

1. ■→「データフォルダ」
2. サブフォルダを作成したい種別フォルダを選択
3. Y!→「データ管理」→「フォルダ作成」
   - 種別フォルダ内に1つもファイルがない場合は、Y!→「フォルダ作成」を選択します。
4. 名前を入力

- サブフォルダの中にサブフォルダを作成することはできません。

ファイル名／フォルダ名を編集する

1. ■→「データフォルダ」
2. 種別フォルダを選択→名前を編集したいファイル／サブフォルダを反転表示
3. Y!→「データ管理」→「ファイル名変更」／「フォルダ名変更」
4. 名前を入力

- ファイルが保護されていると、ファイル名を編集できません。

ファイル／フォルダを移動する

メモリカードを取り付けているときは、本機とメモリカードの間でもファイル／フォルダ移動ができます。

1. ■→「データフォルダ」
2. 種別フォルダを選択→移動したいファイル／サブフォルダを反転表示
3. Y!→「移動」
4. ファイル／フォルダの移動操作

■ **1件移動するとき**
「1件」

■ **複数移動するとき**
「複数」→移動したいファイル／サブフォルダをチェック→✉(移動)

■ **同一フォルダ内のすべてのファイル／すべてのサブフォルダを移動するとき**
「全件」

5 移動先のフォルダを選択→「ここに移動」

• メモリカードを取り付けているときは、「本体」/「メモリカード」を選択してから移動先のフォルダを選択します。

• ファイルが保護されていると、移動できません。
• 移動先にすでに同名のファイル/フォルダがあったときは、移動するファイルまたはフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。
• 壁紙や着信音などに設定しているファイルをメモリカードへ移動するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、移動が完了します。複数または全件移動するときに「いいえ」を選択すると、設定されていないファイルのみを移動します。移動を中止するときは[Y!](キャンセル)を押します。

注意

• 本機でダウンロードしたファイルは、他の携帯電話に移動したときや本機に異なるUSIMカードを挿入したときには、表示や再生ができない場合があります。
• 転送不可かつ利用不可ファイル、保護ありファイル、転送不可の著作権保護ファイル(、)はメモリカードに移動できません。

ファイル/フォルダをコピーする

コピーを作成して、別のフォルダ内またはフォルダの外に貼り付けることができます。メモリカードを取り付けているときは、本機とメモリカードの間でも貼り付け操作ができます。

1 [■]→「データフォルダ」→種別フォルダを選択

2 コピーしたいファイル/フォルダを反転表示→[Y!]→「コピー」

3 ファイル/フォルダのコピー操作

■ **1件コピーするとき**

「1件」

■ **複数コピーするとき**

「複数」→コピーしたいファイル/フォルダをチェック→[✉](コピー)

■ **同一フォルダ内のすべてのファイル/すべてのフォルダをコピーするとき**

「全件」

4 コピー先のフォルダを選択→「ここにコピー」

- メモリカードを取り付けているときは、「本体」／「メモリカード」を選択してからコピー先のフォルダを選択します。

- フォルダ／ファイルのコピーをコピー元と同じ場所に貼り付けると、貼り付けたファイルまたはフォルダに、自動的に「_001」などが付き、別名で保存されます。
- 貼り付け先にすでに同名のフォルダ／ファイルがあったときは、貼り付けるファイルまたはフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。

注意

- 転送不可のファイルはコピーできません。

ファイル／フォルダを削除する

ファイルを削除する

1 ■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 一覧画面で削除したいファイルを反転表示→Y!→「削除」

3 ファイルの削除操作

■ **1件削除するとき**
「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
「複数」→削除したいファイルをチェック→✉(削除)→「はい」

■ **同一フォルダ内のすべてのファイルを削除するとき**
「全件」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

- 壁紙や着信音などの設定や、保護を設定しているファイルを削除するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、削除を実行します。複数または全件削除するときは、「いいえ」を選択すると設定や保護のないファイルのみが削除されます。
- コンテンツ・キーがあるファイルを削除すると、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、コンテンツ・キーも削除されます。

自分で作成したサブフォルダを削除する

1 ■→「データフォルダ」

2 種別フォルダを選択→削除したい自分で作成したサブフォルダを反転表示→Y!→「削除」

3 操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

- サブフォルダにファイルが保存されているときのみ、操作用暗証番号を入力します。

- 壁紙や着信音などに設定しているファイル、保護設定しているファイルや著作権で保護されたファイルがフォルダ内に含まれているときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、削除を実行します。「いいえ」を選択すると、設定や保護のないファイルのみが削除され、フォルダは削除されません。
- フォルダ内のファイルにコンテンツ･キーがあるときは確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、コンテンツ･キーも削除されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.11-13

- ファイルを送信したい
- フォルダの一覧画面の表示方法を切り替えたい
- ファイルを並べ替えたい
- サブフォルダにシークレット設定をしたい
- シークレット設定を一時的に解除したい
- 静止画撮影モードのカメラを起動したい
- 動画撮影モードのカメラを起動したい
- ボイスレコーダーを起動したい
- ファイルの保護／保護を解除したい

メモリカード

本機はmicroSD™メモリカードおよびmicroSDHC™メモリカードに対応しています。メモリカードを利用する場合は、市販のメモリカードを購入してください。

- 推奨のものを使用してください。推奨以外のメモリカードを使用すると、正しく動作しないことがあります。
- ラベルやシールなどを貼り付けないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 分解や改造などをしないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- 端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる所、湿度が高い所、ほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 火気に近づける、火の中に投げ込むなどしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間使用するとデータが書き込めなくなることがあります。

- 本機で利用するmicroSD™メモリカードおよびmicroSDHC™メモリカードは、64Mバイト、128Mバイト、256Mバイト、512Mバイト、1Gバイト、2Gバイト、4Gバイト※のメモリカードを推奨します。

※ microSDHC™メモリカードのみ推奨

注意

- 大切なデータを失わないために
  メモリカードに登録した内容は、事故や故障などにより消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリカードには、ライトプロテクトがありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。

メモリカードを初期化する

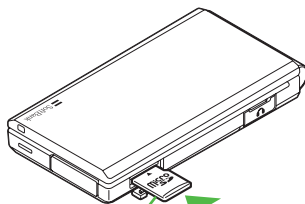
メモリカードを初期化すると、メモリカード内のデータが削除されます。本機で使用するメモリカードをご購入後は必ず本操作を行ってください。

1. ■→「設定」→「メモリ設定」
2. 「メモリカード」→「メモリカード初期化」
3. 操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

メモリカードを取り付ける／取り外す

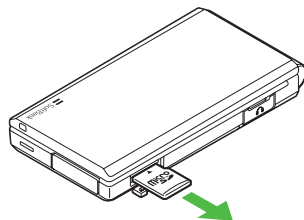
取り付けや取り外しをするときは、必ず電源を切ってください。

取り付ける

1. メモリカードのカバーを開く
2. メモリカードの端子部分を下にしてメモリカードスロットに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込む

端子面を下に

3. メモリカードのカバーを閉じる

取り外す

1. メモリカードのカバーを開く
2. 「カチッ」と音がするまでメモリカードを軽く押し込む
3. メモリカードから手を離し、メモリカードが少し飛び出したら取り出す

4. メモリカードのカバーを閉じる

注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、メモリカードや本機が破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したメモリカードは、紛失しないようにご注意ください。
- メモリカードの取り付けや取り外しを行うときは、端子部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。
- データの読み込み中や書き込み中は絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードや本機が破損することがあります。

使いこなしチェック!

設定

- メモリカードの詳細情報を確認する(☞P.13-23)
- メモリカードをフォーマット(初期化)する(☞P.13-23)
- メモリカードの表示名を編集する(☞P.13-23)
- データの保存先を本機/メモリカードに指定する(☞P.13-24)

メモリカードの内容を確認する

1 ■→「データフォルダ」

2 ✉(メモリカード)

- メモリカードの内容を確認する際は、あらかじめ、メモリカードを取り付けておいてください。
- 本機のデータフォルダの内容に切り替える場合、✉(本体)を押すと、本機のデータフォルダに戻ります。

メモリ容量を確認する

次の情報を確認できます。

- SMSおよびS!メールのメールボックスの使用状況
- データフォルダのメモリ使用状況
- スケジュール/予定リストの登録状況
- 電話帳(本機およびUSIMカード)の登録状況

1 ■→「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」

❷ 確認する項目の選択操作

■ メールの容量を確認するとき

「メール」

・メールのサイズ容量が表示されます(メール(サイズ)画面)。

・メールの件数容量を確認したいときは、メール(サイズ)画面で[Y!](件数)を押します(メール(件数)画面)。

・USIMカード内に保存したSMSの件数は、メール(件数)画面でのみ確認できます。

■ データフォルダの容量を確認するとき

「データフォルダ」→「本体メモリ」/「メモリカード」

■ スケジュール/予定リストの容量を確認するとき

「カレンダー」

■ 電話帳を確認するとき

「電話帳」

使いこなしチェック!

[便利]☞P.11-16

[設定]

● 本機のメモリの詳細情報を確認する(☞P.13-24)

● 本機のメモリを消去する(☞P.13-24)

● メモリ容量を確認する(☞P.13-24)

便利な機能

[便利]

ファイルの確認に関する便利な機能

データフォルダの表示をメモリカード/本体に切り替えたい
[メモリカードに切替]/[本体に切替]

[■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[Y!]→「メモリカードに切替」/「本体に切替」

• メモリカードを取り付けているときに、表示を切り替えられます。

画像を自動的に切り替えながら確認したい [スライドショー]

[■]→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→[■](表示)→[Y!]→「スライドショー」

• 一時停止/再開する場合は[■](ポーズ/再起動)を押します。

• スライドショーを停止する場合は[✉](停止)を押します。

画像のグループ表示を切り替えたい

[■]→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→[■](表示)→[◎]で並びかたを選択→[▲]/[▼]でグループごとに画像を移動

データフォルダ/メモリ

11

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「データ管理」→「コンテンツ・キー再取得」

全画面表示時にガイドを表示したい

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→■(表示)→■(全画面)→✉

- ■(全画面)を押すとガイドが表示され、約3秒経過すると非表示になります。非表示のときに✉を押すと、ガイドが再表示されます。

ファイルやフォルダの詳細を確認したい [詳細]

■→「データフォルダ」→ファイル／フォルダの保存場所を選択→ファイル／フォルダを反転表示→Y!→「詳細」

便利

ファイル／フォルダの管理に関する便利な機能

ファイルを送信したい [送信]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→Y!→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➔P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➔P.12-4)

フォルダの一覧画面の表示方法を切り替えたい [表示切替]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「表示切替」→項目を選択

ファイルを並べ替えたい [ソート]

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→Y!→「ソート」→項目を選択

- 次の項目で並べ替えができます。
  - 日付の新しい順(「日付順」)
  - ファイル形式別(「ファイルタイプ順」)
  - ファイル名(「ファイル名順」)
  - ファイルのサイズの小さい順(「サイズ順」)
  - タイトル(「タイトル順」)
  - コンテンツ・キーの状態別(「コンテンツ・キータイプ順」)
- 一覧にフォルダが含まれているときは、どの基準で並べたときも、先頭にフォルダが表示されます。
- 「ファイルタイプ順」を選択したときの並び順は、拡張子のアルファベット順で表示されます。
- 「ファイル名順」を選択したときの並び順は、数字→英字(半角)→日本語→英字(全角)の順で表示されます。
- 「デコレメールテンプレート」フォルダ内のファイルは「ファイルタイプ順」で並べ替えはできません。

- 「コンテンツ･キータイプ順」を選択したときの並び順は、著作権保護や転送の制限のないファイル→転送不可のファイル→著作権保護のファイル（コンテンツ･キー有効）→著作権保護のファイル（コンテンツ･キー期限切れ）→転送不可かつ利用不可のファイルの順に表示されます。
- タイトル名のないファイルは「タイトル順」で並べ替えはできません。

サウンドファイルや動画ファイルをプレイリストに追加したい

■→「データフォルダ」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→Y!→「データ管理」→「プレイリストに追加」

フォルダ名やファイル名の表示／非表示を設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「データ管理」→「ファイル名表示」／「ファイル名非表示」

- フォルダの一覧画面をサムネイル表示にしているとき、フォルダやファイルを反転表示してフォルダ名やファイル名を表示させるかどうか設定できます。

データフォルダ内のコンテンツ･キーを管理したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「データ管理」→「コンテンツ･キー情報」

■ コンテンツ･キーの詳細を確認するとき

確認したいコンテンツ･キーを反転表示→■（詳細）

■ ファイルを表示／再生するとき

表示／再生したいファイルのコンテンツ･キーを反転表示→Y!→「表示」／「再生」

- どのフォルダでコンテンツ･キー情報を表示しても、データフォルダおよびメモリカードに保存されているすべてのコンテンツ･キーが表示されます。
- コンテンツ･キーを持つファイルがない場合は「コンテンツ･キー情報」の項目は表示されません。

コンテンツ･キーを削除したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「データ管理」→「コンテンツ･キー情報」

■1件削除するとき

削除したいコンテンツ･キーを反転表示→Y!→「削除」→「1件」→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- コンテンツ･キーを持つファイルがない場合は「コンテンツ･キー情報」の項目は表示されません。

サブフォルダにシークレット設定をしたい

［シークレット設定］／［シークレット解除］

■→「データフォルダ」→種別フォルダを選択→作成したサブフォルダを反転表示→Y!→「シークレット設定」／「シークレット解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

- セキュリティ設定のシークレットデータフォルダが「表示しない」のとき、自分で作成したサブフォルダを「シークレット設定」で非表示にすることができます。設定を解除するときは、あらかじめ「シークレットデータフォルダ」を「表示する」にしてください。

シークレット設定を一時的に解除したい　**[シークレット一時解除]**

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイル／サブフォルダを反転表示→Y!→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■(OK)

静止画撮影モードのカメラを起動したい　**[カメラ起動]**

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→ファイルの一覧画面でY!→「カメラ起動」

動画撮影モードのカメラを起動したい　**[ビデオカメラ起動]**

■→「データフォルダ」→「ムービー」→ファイルの一覧画面でY!→「ビデオカメラ起動」

ボイスレコーダーを起動したい　**[ボイスレコーダー起動]**

■→「データフォルダ」→「着うた・メロディ」→ファイルの一覧画面でY!→「ボイスレコーダー起動」

ファイルの保護／保護を解除したい　**[保護]／[保護解除]**

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→Y!→「保護」／「保護解除」

- 保護すると、ファイル名の編集やファイルの移動、削除などが制限されます。

画像ファイルを各種の画面に設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→✉(設定)

■ ディスプレイの壁紙に設定するとき

「壁紙(メインディスプレイ)」→プレビューを確認→■(設定)

■ 電話帳の着信画像に設定するとき

「個別着信画像」→設定したい電話帳を検索して選択(➔P.2-18)→■(設定)

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→✉(設定)

■ 各機能の着信音に設定するとき

「音声着信音」／「メール着信音」／「着信お知らせ機能着信音」／「配信確認着信音」

■ 各電話帳の着信音に設定するとき

「個別着信音」→設定したい電話帳を検索して選択(➔P.2-18)

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- MPEG4ファイルのオーディオコーデックがAAC、AAC+、Enhanced AAC+の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。ただし、使用回数に制限のある著作権保護ファイルは設定できません。

動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→✉(設定)

■ 各機能の着信音に設定するとき

「音声着信音」

■ 各電話帳の着信音に設定するとき

「個別着信音」→設定したい電話帳を選択(➔P.2-18)

- MPEG4(mp4、3gp)ファイルのオーディオコーデックがAAC、AAC+、Enhanced AAC+の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。ただし、使用回数に制限のある著作権保護ファイルは設定できません。

vファイルを各機能に取り込みたい

■→「データフォルダ」→「その他ファイル」→取り込みたいvファイルを選択→■(登録)

- データフォルダに保存されているvCardファイルやvCalenderファイルを電話帳やカレンダー、予定リストに登録します。

便利

メモリ容量確認に関する便利な機能

登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい

■→「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」→機能を選択→削除したい項目を反転表示→✉(削除)→「はい」→内容の一覧を呼び出し

■ 1件または複数削除するとき

削除したい項目をチェック→✉(削除)→「はい」

■ すべて削除するとき

Y!(全チェック)→✉(削除)→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

- メールボックスやデータフォルダ、スケジュール／予定リスト、電話帳の内容を削除します。
- 削除する内容に機能や保護が設定されている内容が含まれているときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、削除が実行されます。「いいえ」を選択すると機能や保護の設定されていないファイルのみが削除されます。

通信／バックアップ

通信／バックアップについて

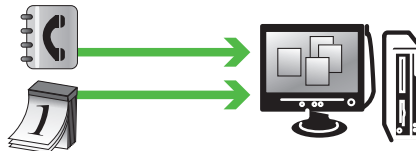
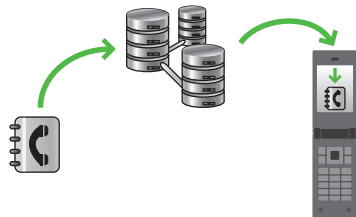
本機では、赤外線通信を利用したデータのやり取り、S!電話帳バックアップを使ったバックアップを利用できます。
この章では、データのやり取り、バックアップについて説明します。
※S!電話帳バックアップは、ソフトバンクが提供する有料のオプションサービスです。

データのやり取り

本機では、次の機能を使ってデータをやり取りできます。

- 赤外線通信(➔P.12-3)
- USB接続(➔P.12-5)

もしものときのバックアップ

本機では、メモリカードやパソコンにデータのバックアップをとることができます(➔P.12-7)。

S!電話帳バックアップを使ってサーバーにバックアップをとることもできます。
S!電話帳バックアップを使うと、「携帯電話が水没した」などご自宅でのバックアップが消えても電話帳を復元できます。
バックアップをとった電話帳は、パソコンで編集することもできます(➔P.12-9)。

赤外線通信

本機など赤外線対応の携帯電話や、他の赤外線通信対応機器(パソコンなど)と無線で接続し、データの送受信ができます。

- 本機の赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 通信中やメールの送受信中、インターネットの利用中に赤外線通信は行えません。
- 赤外線通信中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。

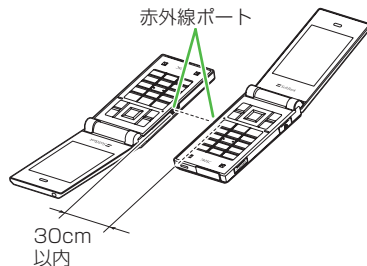
- 認証コードは、赤外線通信機器どうしが接続するためのパスワード(4桁)です。データの一括送受信では、受信側/送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

電話帳、オーナー情報、カレンダーのスケジュール、予定リスト、静止画、動画、音声ファイル、音楽ファイル、vファイルなどを送受信できます。
また、電話帳、スケジュール、予定リスト、ブックマークを一括で送受信できます。

注意

- **インターネットやメディアプレイヤーの利用中、メールやデータの編集中などは、赤外線通信でのデータ送信は行えません。**
- **受信したデータの内容によっては、本機に正しく登録できなかったり、一部登録できないことがあります。**

赤外線ポートの向き

- 受信側、送信側のソフトバンク携帯電話(または赤外線通信対応機器)を、30cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。

- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままの状態にして動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 正常に通信できないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。「赤外線通信利用時のご注意」を確認したあと、「はい」を選択して再接続してください。

データを送信する

事前に送信先を受信待機の状態にしておきます。

データを1件ずつ送信する

1 データの送信操作

■データフォルダ、電話帳、予定リストからデータを送信するとき

一覧画面で[Y!]→「送信」→「赤外線通信」→送信したいデータをチェック→[✉](送信)

■スケジュールまたはブックマークからデータを送信するとき

一覧画面で送信したいデータを反転表示→[Y!]→「送信」→「赤外線通信」

• 機能によっては詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

データを一括送信する

1 [■]→「赤外線」→「全件データ送信」

2 操作用暗証番号を入力→[■](OK)

3 「電話帳」/「カレンダー/予定リスト」/「ブックマーク」

• 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

4 認証コード(4桁)を入力→[■](OK)

データを受信する

データを1件ずつ受信する

1 [■]→「赤外線」→「赤外線On/Off設定」→「On(3分間)」

• データ受信の待機状態になります。

2 相手側機器から3分以内にデータを送信

3 着信ができなくなる旨の確認メッセージが表示されたら「はい」

4 データ受信と保存の確認メッセージが表示されたら「はい」

• 絵文字ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」/「マイ絵文字」から選択します。
• 受信を中止するときは[Y!](キャンセル)を押します。
• 受信を強制終了するときは[☎]を押します。

• vCardに着信画像が含まれる場合、着信画像のサイズが40Kバイトを超えると画像を削除して電話帳に登録します。

注意

- データの受信は、待受画面以外からは行えません。また、キー操作ロック設定中や誤動作防止中、ソフトウェア更新中にデータ受信は行えません。

データを一括受信する

1 [■]→「赤外線」→「赤外線On/Off設定」→「On(3分間)」

- データ受信の待機状態になります。

2 相手側機器から3分以内にデータを送信

3 着信ができなくなる旨の確認メッセージが表示されたら「はい」

4 認証コード(4桁)を入力→[■](OK)

- 送信側と同じ認証コードを入力してください。

5 登録方法の選択操作

■ **追加登録するとき**

「新規追加」

■ **すべてのデータを削除して登録するとき**

「上書き」→「はい」→操作用暗証番号を入力→[■](OK)

- 電話帳を受信した場合は、お客様のオーナー情報以外の電話帳は消去されます。オーナー情報が送信されてきたときは、電話番号以外の情報はすべて上書きされます。
- 受信を中止するときは[Y!](キャンセル)を押します。
- 受信を強制終了するときは[終話]を押します。

使いこなしチェック!

設定

- 赤外線通信を設定／解除する(☞P.13-23)
- データを一括送信する(☞P.13-23)

USB接続

本機をUSBケーブルでパソコンと接続し、データを送受信することができます。

本機はUSB2.0に対応しています。

本機をUSBケーブルでパソコンと接続する前に、USBドライバとSamsung New PC Studioをインストールする必要があります。インストール手順やご利用いただけるパソコンの動作環境などについてはSAMSUNGホームページ(http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/740download.html)でご確認ください。

USB接続でできること

次のような操作ができます。

- パソコン側からの操作で本機のデータフォルダのファイルを転送する
- パソコン側から送信されたファイルを受信し、データフォルダに保存する
- パケット通信をする

注意

•携帯電話とパソコンやPDAを接続してインターネットをご利用いただく場合(モバイルデータ通信)は、短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額となる可能性がございます。ご利用される場合は、通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

カードリーダーモードでデータを送受信する

メモリカードを取り付けた状態の本機とパソコンをUSBケーブルで接続することで、パソコンからメモリカードにアクセスしてデータの読み書きができます。

パソコンに接続する／取り外す

1. ■→「設定」→「外部接続」→「カードリーダーモード」
2. 操作用暗証番号を入力→■(OK)
3. 本機とパソコンをUSBケーブルで接続
4. パソコンからデータを読み書き

•S!メールの受信中やSamsung New PC Studioの利用中などは、カードリーダーモードはご利用になれません。
•カードリーダーモードでの利用中は、通話やメッセージの受信などができません。

5. パソコンでハードウェアデバイスの取り外し操作
6. 接続中に[Y!](終了)
7. USBケーブルの取り外し

注意

•ハードウェアデバイスの取り外し操作を行うまでは、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。

使いこなしチェック!

設定

● カードリーダーモードを起動する
(☞P.13-23)

メモリカードバックアップ

本機では、電話帳などのデータをメモリカードへバックアップ(一括保存)できます。バックアップしたデータはあとで読み込み(一括復元)できます。

- あらかじめバックアップしておけば、大事なデータを誤って消してしまったときでも、あとで復元できます。
- データの種類ごとに1つのバックアップファイルとして保存されます(転送日のファイル名が付きます)。
- バックアップできるデータの種類は次のとおりです。
  - 電話帳
  - カレンダー
  - 予定リスト
  - コンテンツ･キー
  - ブックマーク

- バックアップは、個人データの保存や同機種間(メモリカード対応機)での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的で行うことをおすすめします。

メモリカードバックアップ時のご注意

- 電池残量が少ないときは、利用できません。
- バックアップやデータ読み込み中は、電話やメールは利用できません(着信もできません)。
- データの内容によっては、バックアップできないことがあります。また、バックアップしたデータの内容によっては、他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 本機またはメモリカードの空き容量が少ないときは、バックアップが正常に行えないことがあります。
- 本機に保存できる予定／用件は、カレンダーのスケジュールと予定リストを合わせて最大200件です。メモリカードからの読み込み中、200件に達すると、確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- バックアップ時、ブックマークのデータは、Yahoo!ケータイ、PCサイトブラウザのブックマークのデータをバックアップします。
- バックアップしたブックマークのサイズが大きいとき、データ形式によっては正しく読み込めないことがあります。
- 電話帳のバックアップ時、電話帳に設定した画像のサイズによっては、バックアップデータに含まれないことがあります。
- メモリカードにバックアップファイルとして保存されたあとは、メモリカードから読み込むまでは、本機でデータの内容を確認できません。
- コンテンツ･キーをバックアップするときは、次の点にご注意ください。
  - コンテンツ･キーのバックアップファイルは1つしか保存できないため、再度別のコンテンツ･キーをバックアップすると、前回のバックアップファイルは確認メッセージが表示されて上書きされます(前回バックアップしたファイルを残したいときは、メモリカードからコンテンツ･キーのバックアップファイルを本機へ読み込んだあと、あらためてバックアップの操作を行ってください)。
  - メモリカードへバックアップ時、コンテンツ･キーは本機からメモリカードへ移動するため、コンテンツ･キーを移動したファイルは使用できなくなります。
  - 本機へ読み込み時、コンテンツ･キーは、本機内のコンテンツ･キーを上書きせず、追加します。

メモリカードにバックアップする

1 ■→「設定」→「メモリカード保存・読込み」

2 「メモリカードへ保存」→「はい」

3 操作用暗証番号を入力→■(OK)

4 「電話帳」／「カレンダー」／「予定リスト」／「コンテンツ・キー」／「ブックマーク」

5 確認メッセージが表示されたら「はい」

- バックアップを中止するときは[Y!](キャンセル)を選択します。
- 「コンテンツ・キー」を選択した場合に、メモリカードに以前バックアップした「コンテンツ・キー」のバックアップファイルがあるときは、上書きをするかどうかの確認メッセージが表示されます。上書きをするには[✉](はい)を押します。

メモリカードから読み込む

1 ■→「設定」→「メモリカード保存・読込み」

2 「メモリカードから読込み」→「はい」

3 操作用暗証番号を入力→■(OK)

4 「電話帳」／「カレンダー」／「予定リスト」／「コンテンツ・キー」／「ブックマーク」

5 ファイルを選択

- バックアップファイルを削除するときは、[Y!](削除)を押して「はい」を選択します。

6 「追加」／「上書き」

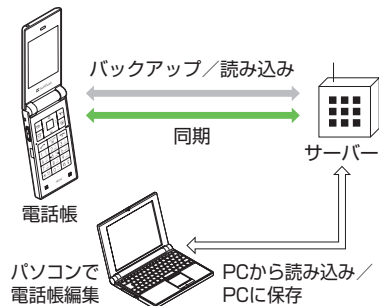
- 復元を中止するときは[Y!](キャンセル)を押します。

使いこなしチェック!

設定

- メモリのバックアップをとる(☞P.13-24)
- バックアップしたデータから復元する(☞P.13-24)

S!電話帳バックアップを利用する

S!電話帳バックアップとは、本機の電話帳をサーバーにバックアップしたり、本機の電話帳とサーバー内の電話帳の同期をとる(同じ状態にする)ことができるサービスです。本機の破損時や紛失時の備えとして、便利にお使いいただけます。

- S!電話帳バックアップのご利用には、別途お申し込みが必要です(有料)。
- 機種変更をしても、他のS!電話帳バックアップ対応機で電話帳を引き継ぐことができます。
- ご利用のお申し込み後は、ネットワーク自動調整実行時に自動保存設定※が「On」になり、電話帳編集後に自動でバックアップを行います。
- お客様ご自身で自動保存設定を「Off」に設定した場合も、再度ネットワーク自動調整を実行すると自動的に「On」に変更されますので、ご注意ください。
- サービス解約後は、自動保存設定が「Off」になっていることをご確認ください。

※自動保存設定の保存モードは「通常」に設定されます。電話帳を編集してから約10分後に同期が実行されます。

注意

- **S!電話帳バックアップのご利用時(バックアップ／読み込み、同期)には、パケット通信料が発生します。**

- 次の項目はS!電話帳バックアップで同期できません。「読込み(全件上書き)」を行うと、740SC本体の電話帳の設定が失われますので、ご注意ください。
  - フォト
  - 着信音設定、バイブ設定(音声着信／メール着信)
  - 血液型
  - 趣味
- バックアップ／読み込みのタイミングや保存の方向にご注意ください。
  - 740SC本体の電話帳をすべて削除したあと「通常」、「保存(変更分のみ)」、「保存(全件上書き)」を行うと、サーバー内の電話帳もすべて削除されます。
  - サーバー内の電話帳をすべて削除したあと「通常」、「読込み(変更分のみ)」、「読込み(全件上書き)」を行うと、740SC本体の電話帳もすべて削除されます。
- 電話番号など、複数登録できる項目の登録可能件数が、本機(または機種変更後の機種)とサーバーとで異なる場合に、同期を行うと、両方とも少ない方の件数に統一されます。
- S!電話帳バックアップを解約すると、サーバー内の電話帳は削除されます。

保存モードの種類は次のとおりです。

保存モード	説　明
通常	本機の電話帳更新情報のバックアップ、サーバー上の電話帳の更新情報読み込みを同時に行います。[1]
保存(変更分のみ)	本機の電話帳更新情報をバックアップします。[2]
保存(全件上書き)	既存のサーバー上の電話帳をすべて消去し、新たに本機の電話帳をすべてバックアップします。[3]
読込み(変更分のみ)	サーバー上の電話帳更新情報を読み込みます。[4]
読込み(全件上書き)	既存の本機の電話帳をすべて消去し、新たにサーバー上の電話帳をすべて読み込みます。ただし、本機の電話帳が保存できる件数以上は読み込めません。サーバー上の電話帳で編集を行った日付が新しい順に本機の電話帳に読み込まれます。[5]

1 本機の電話帳とサーバー上の電話帳で同じフィールドを更新していた場合は、基本的にサーバー上の電話帳更新情報を優先します。

2 サーバー上の電話帳更新情報は本機へは反映されません。

3 サーバー上の電話帳はすべて消去されますので、ご注意ください。

4 本機の電話帳更新情報はサーバー上の電話帳へは反映されません。

5 本機の電話帳はすべて消去されますので、ご注意ください。

- 初めて利用する場合や、前回の同期が途中でキャンセルされるなど正常に終了しなかったあとに同期を行った場合は、設定にかかわらず「全部同期」が行われます。「全部同期」の動作は「通常」と同じです。「全部同期」が行われたかどうかは、「履歴」の「状態」で確認できます。

電話帳の同期を行う

サーバーで管理している電話帳に接続して、本機の電話帳との違いを補い合うことができます。

1 ■→「電話機能」→「S!電話帳バックアップ」

2 「開始」→■(OK)

注意

- 保存を開始すると、ネットワークに接続します。ネットワークの接続中は通信料が発生します。同期が終了すると、自動的にネットワークの接続を解除します。

通信／バックアップ

12

電話帳の自動保存設定を行う

「自動保存設定」を「On」に設定すると、保存頻度と保存モードを設定する必要があります。

自動保存を設定する

1. ■→「電話機能」→「S!電話帳バックアップ」→「詳細」→「自動保存設定」
2. 「On/Off設定」→「On」
3. 頻度を選択

■ **月に1回バックアップするとき**
「毎月」→日付を入力→時刻を入力

■ **週に1回バックアップするとき**
「毎週」→曜日を選択→時刻を入力

■ **電話帳編集10分後にバックアップするとき**
「電話帳編集後」

4. 「通常」／「保存(変更分のみ)」／「保存(全件上書き)」／「読込み(変更分のみ)」／「読込み(全件上書き)」→■(OK)→■(OK)

• 自動保存設定を解除するには、操作❷の「On/Off設定」で「Off」を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.12-11

便利な機能

便利

S!電話帳バックアップに関する便利な機能

S!電話帳バックアップの履歴を確認したい

■→「電話機能」→「S!電話帳バックアップ」→「詳細」→「履歴」→履歴を選択

S!電話帳バックアップの履歴を削除したい

■→「電話機能」→「S!電話帳バックアップ」→「詳細」→「履歴」

■ **1件削除するとき**
削除したい履歴を反転表示→✉(削除)→「はい」

■ **すべて削除するとき**
Y!(全削除)→「はい」

カスタマイズ

設定

メールの設定

Eメールアドレスに関する設定

Eメールアドレスを変更する	→「設定」→「メール・アドレス設定」→画面の指示に従って操作 ・ パソコンなどからEメールを受信するときに使用するEメールアドレスのアカウント名(@より前の部分)を変更できます。ご契約時のアカウント名は、ランダムな英数字に設定されています。

S!メール、SMSに関する共通の設定

共通操作 →「設定」→「一般設定」

文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択
メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する お買い上げ時 1行	「スクロール単位」→項目を選択
配信レポートの送信を設定する お買い上げ時 Off	「配信確認」→項目を選択 ・ 「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートが本機に送信されます。
署名の挿入を設定する お買い上げ時 挿入しない	「署名設定」→「自動挿入」→項目を選択
署名を編集する	「署名設定」→「編集」→署名を入力
受信ボックスのメールの自動削除を設定する お買い上げ時 On(自動削除)	「自動削除設定」→「受信ボックス」→項目を選択 ・ 受信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 ・ 設定内容は次のとおりです。 「On(自動削除)」:メール受信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます(保護されたメールを除く)。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。 「Off」:メール受信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから再度受信します。

送信済みボックスのメールの自動削除を設定する お買い上げ時 On(自動削除)	「自動削除設定」→「送信済みボックス」→項目を選択 ・ 送信済みボックス、または未送信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 ・ 設定内容は次のとおりです。 「On(自動削除)」:メール送信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます(保護されたメールを除く)。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。 「Off」:送信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから、再度送信します。
送信中の進行状況表示を設定する お買い上げ時 表示する	「メール送信中画面」→「メール送信中」→項目を選択
送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する お買い上げ時 通知する	「メール送信中画面」→「送信結果通知」→項目を選択 ・ 「メール送信中」を「表示しない」に設定している場合に設定できます。
受信の通知を設定する お買い上げ時 送信者	「メール受信通知」→「表示内容」→項目を選択 ・ 待受画面以外を表示中にメールを受信したときに、ディスプレイ最上段にスクロール表示される通知の内容が設定できます。
シークレット設定を設定したフォルダの受信通知を設定する お買い上げ時 通知する	「メール受信通知」→「シークレットフォルダ着信」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→項目を選択 ・ 「通知しない」に設定すると、受信ボックス内のシークレット設定を設定したフォルダにメールを受信したとき、新着メール受信の通知画面や「メール受信通知」は表示されません。
メール一覧画面の表示方法を設定する お買い上げ時 2行	「メールリスト表示切替」→項目を選択
受信ボックスのメールの表示方法を設定する お買い上げ時 フォルダ表示	「受信ボックス表示設定」→項目を選択
送信済みボックスのメールの表示方法を設定する お買い上げ時 フォルダ表示	「送信済みボックス表示設定」→項目を選択

カスタマイズ

13

メッセージのデルモジ表示を設定する	「デルモジ表示設定」→「自動再生」→項目を選択 ・ 設定内容は次のとおりです。 「常に表示」:メッセージを確認するときに常にデルモジ表示する 「未読のみ表示」:未読メールのメッセージを確認するときのみデルモジ表示する 「表示しない」:デルモジ表示しない ・ 初めて受信メールを確認したときは確認メッセージが表示され、「自動再生」の動作を設定できます。
デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する お買い上げ時 パターン1	「デルモジ表示設定」→「文字色・背景色」→でパターンを切り替え→(選択) ・ 設定画面で(プレビュー)を押すと、表示を確認できます。
デルモジ表示の表示速度を設定する お買い上げ時 標準	「デルモジ表示設定」→「表示速度」→項目を選択 ・ 設定画面で(プレビュー)を押すと、表示を確認できます。

S!メールに関する設定

共通操作 →「設定」→「S!メール設定」

送信メールの優先度を設定する お買い上げ時 標準	「送信オプション」→「優先度」→項目を選択
送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する お買い上げ時 最大	「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択 ・ 設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが自動的に削除されます。
送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する お買い上げ時 指定なし	「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択 ・ 設定した期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが送信されます。
S!メールの受信方法を設定する お買い上げ時 自動受信	「受信設定」→「国内での自動受信」→項目を選択 ・ 設定内容は次のとおりです。 「自動受信」:自動的に受信する 「電話番号のみ自動」:電話番号を使って送られたS!メールのみ受信する 「手動取得」:受信通知のみを受信する

ローミング中に受信するS!メールの受信方法を設定する お買い上げ時 自動受信	「受信設定」→「ローミング自動受信」→項目を選択 ・ 設定内容は次のとおりです。 「自動受信」:自動的に受信する 「手動取得」:受信通知のみを受信する ・ 「自動受信」に設定すると、添付ファイルを含む全文が自動受信され、海外でのメール通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
返信先を設定する お買い上げ時 Off	「返信先指定」→項目を選択 ・ 設定内容は次のとおりです。 「On」:「返信先アドレス設定」で設定したアドレスに返信されます。 「Off」:本機のアドレスに返信されます。 ・ 本機からEメールアドレス宛のメールを送り、受信した相手が返信する際の宛先を設定できます。
返信先アドレスを設定する	「返信先アドレス設定」→項目を選択→アドレスの登録操作
フィーリングメールを受信したときの通知画面に感情の情報を表示するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「インフォメーション表示」→項目を選択
フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「着信ライト」→「On/Off」→項目を選択
フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「バイブ」→項目を選択
フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「On/Off設定」→項目を選択
フィーリングメールの着信音を設定する お買い上げ時 Happy／うれしい:One Fine Day.mp4、OK/Good:Sunny day.mp4、悲しい／ごめんね:Jazzy House_Pleasure.mp4、NG/Bad:Minimal Tone.mp4、重要／注目:On my way home.mp4	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「着信音選択」→感情を選択→ファイルの保存場所を選択→着信音を反転表示→✉(再生)→Y!(選択)
フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する お買い上げ時 5秒	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「鳴動時間」→鳴動時間を入力
添付画像の表示方法を設定する お買い上げ時 通常サイズ表示	「画像表示設定」→項目を選択

添付画像の自動再生を設定する お買い上げ時On	「添付ファイル自動表示」→「画像」→項目を選択
添付サウンドの自動再生を設定する お買い上げ時Off	「添付ファイル自動表示」→「サウンド」→項目を選択

SMSに関する設定

共通操作 ✉→「設定」→「SMS設定」

メールサーバーへの保存期間を設定する お買い上げ時なし	「有効期限」→項目を選択 ・ 設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからSMSが自動的に削除されます。
SMSセンター番号を設定する お買い上げ時設定1　+819066519300	「SMSセンター番号」→項目を選択
SMSセンター番号を編集する お買い上げ時+819066519300	「SMSセンター番号」→編集したい項目を反転表示→✉(編集)→SMSセンター番号を編集
文字コードを変更する お買い上げ時英語以外	「文字コード」→項目を選択

設定

インターネットの設定

Yahoo!ケータイに関する設定

共通操作 ■→「Yahoo!」→「設定」

情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する お買い上げ時標準	「文字サイズ」→項目を選択
情報画面でのスクロール単位を設定する お買い上げ時1行	「スクロール単位」→項目を選択
情報画面で画像を表示するかどうか設定する お買い上げ時表示する	「画像･音設定」→「画像表示」→項目を選択 ・ 「表示しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する お買い上げ時再生する	「画像･音設定」→「音再生」→項目を選択 ・ 「再生しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面のキャッシュ／Cookie／認証情報を消去する	「メモリ操作」→項目を選択→「はい」

製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→項目を選択 ・ アクセスした情報画面から携帯電話のユーザを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に製造番号を通知するかどうか設定します。
Refererを送信するかどうか設定する お買い上げ時 送出する	「セキュリティ設定」→「Referer送出」→項目を選択
Cookieの有効／無効を設定する お買い上げ時 許可する	「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→項目を選択
スクリプトの有効／無効を設定する お買い上げ時 ネットワークアクセス時確認	「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択
ルート証明書を確認する	「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→ルート証明書を選択
認証情報の保存期間を設定する お買い上げ時 ブラウズ中保持	「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択
ブラウザを初期化する	「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

PCサイトブラウザに関する設定

共通操作 ■→「Yahoo!」→「PCサイトブラウザ」→「PCサイトブラウザ設定」

情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択
情報画面でのスクロール単位を設定する お買い上げ時 1行	「スクロール単位」→項目を選択
情報画面で画像を表示するかどうか設定する お買い上げ時 表示する	「画像･音設定」→「画像表示」→項目を選択 ・ 「表示しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する お買い上げ時 再生する	「画像･音設定」→「音再生」→項目を選択 ・ 「再生しない」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面のキャッシュ／Cookie／認証情報を消去する	「メモリ操作」→項目を選択→「はい」
製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「製造番号通知」→項目を選択 ・ アクセスした情報画面から携帯電話のユーザを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に製造番号を通知するかどうか設定します。

Refererを送信するかどうか設定する お買い上げ時 送出する	「セキュリティ設定」→「Referer送出」→項目を選択
Cookieの有効／無効を設定する お買い上げ時 許可する	「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→項目を選択
スクリプトの有効／無効を設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択
ルート証明書を確認する	「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→ルート証明書を選択
認証情報の保存期間を設定する お買い上げ時 ブラウズ中保持	「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択
警告メッセージを表示するかどうか設定する お買い上げ時 PCサイトブラウザ起動・切替時／Yahoo!ケータイ切替時：On	「警告画面表示設定」→「PCサイトブラウザ起動・切替時」／「Yahoo!ケータイ切替時」→項目を選択 ・ PCサイトブラウザを起動したとき、またはYahoo!ケータイとPCサイトブラウザを切り替えたときに警告メッセージを表示するかどうか設定できます。
ブラウザを初期化する	「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

設定

ニュース／エンタテイメントの設定

S!情報チャンネルに関する設定

共通操作 ■→「ニュース／エンタメ」→「S!情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「設定」

お天気アイコンを表示するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「表示設定」→項目を選択
お天気アイコンが更新されたときに通知するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「インフォメーション表示設定」→項目を選択
お天気アイコンを自動的に更新するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「自動更新」→項目を選択

カメラの設定

静止画撮影／動画撮影に関する共通の設定

共通操作 ■→「カメラ」→「カメラ」／「ビデオカメラ」→Y!→ を反転表示→「設定」→「一般」タブ

設定項目	操作
ビューファインダーのアイコン表示を設定する お買い上げ時On	「アイコン表示」→項目を選択 ・「On」に設定するとアイコンが表示されます。
自動保存を設定する お買い上げ時Off	「自動保存設定」→項目を選択 ・「On」に設定すると、保存の操作をしなくても、撮影後自動で保存されます。 ・「Off」に設定すると、撮影するたびに保存するかどうかを操作します。
機能説明を設定する お買い上げ時On	「機能説明」→項目を選択 ・「On」に設定すると、選択中のメニューの説明が表示されます。

静止画撮影に関する設定

共通操作 ■→「カメラ」→「カメラ」／「ビデオカメラ」→Y!→ を反転表示→「設定」→「カメラ」タブ

設定項目	操作
画質を設定する お買い上げ時ノーマル	「画質設定」→項目を選択
ISOを設定する お買い上げ時自動	「ISO」→項目を選択
測光モードを設定する お買い上げ時中央部重点測光	「測光」→項目を選択
保存先を設定する お買い上げ時本体	「保存先設定」→項目を選択 ・撮影画像を240×320サイズに設定している場合は、「デジタルカメラ」は選択できません。 ・メモリカードを取り付けているときのデータの保存先を設定できます。 ・メモリカードが取り付けられていないときに、「メモリカード」／「デジタルカメラ」／「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に本機になります。
グリッド線の表示を設定する お買い上げ時Off	「補助グリッド」→項目を選択
シャッター音を設定する お買い上げ時パターン1	「シャッター音」→項目を選択

動画撮影に関する設定

共通操作 ■→「カメラ」→「カメラ」／「ビデオカメラ」→Y!→を反転表示→「設定」→「ビデオ」タブ

画質を設定する お買い上げ時 エコノミー	「画質設定」→項目を選択 ・ 撮影モードを「S!メール添付」に設定したときは、自動的に「エコノミー」に設定されます。
保存先を設定する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→項目を選択 ・ メモリカードを取り付けていないときは、自動的に本機に保存されます。

設定

メディアプレイヤーの設定

ミュージックに関する設定

共通操作 ■→「メディア」→「設定」→「ミュージック」

再生パターンを設定する お買い上げ時 全てリピート	「再生パターン設定」→項目を選択 ・ 1ファイルを繰り返し再生したり、すべてのミュージックやプレイリスト内のすべてのファイルを繰り返し再生するように設定できます。
再生中の音量を設定する お買い上げ時 7	「再生音量」→で音量を調節→■（保存）
表示するフォルダを設定する お買い上げ時 最近聴いた曲、よく聴く曲、アーティスト	「ミュージックメニュー」→表示したいフォルダをチェック→✉（保存） ・ メディアプレイヤーの「ミュージック」で表示するフォルダを設定できます。

ムービーに関する設定

共通操作 ■→「メディア」→「設定」→「ムービー」

設定項目	操作
再生パターンを設定する お買い上げ時 全てリピート	「再生パターン設定」→項目を選択 ・ 1ファイルを繰り返し再生したり、すべてのムービーやプレイリスト内のすべてのファイルを繰り返し再生するように設定できます。
再生中の音量を設定する お買い上げ時 7	「再生音量」→[十字キー]で音量を調節→■（保存）
バックライトを設定する お買い上げ時 常時On	「バックライト」→項目を選択
表示するフォルダを設定する お買い上げ時 最近見たムービー、よく見るムービー	「ムービーメニュー」→表示したいフォルダをチェック→[メールキー]（保存） ・ メディアプレイヤーの「ムービー」で表示するフォルダを設定できます。
サムネイル表示を設定する お買い上げ時 On	「サムネイル表示」→項目を選択
リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定する お買い上げ時 On	「リンク接続事前確認設定」→項目を選択 ・ 「On」に設定すると、リンク情報を持ったファイルの再生終了後にリンク先に接続するかどうかの確認メッセージが表示されます。

設定

電話機能の設定

電話帳に関する設定

共通操作 ■→「電話機能」→「設定」

設定項目	操作
優先的に登録される電話帳を変更する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→項目を選択 ・ 「毎回確認」に設定すると、新規登録のたびに保存先の確認メッセージが表示されます。
表示される電話帳（本機／USIMカード）を変更する お買い上げ時 本体	「表示切替」→項目を選択
電話帳の検索方法を切り替える お買い上げ時 あかさたな	「検索方法」→項目を選択
電話帳のバックアップをとる	「バックアップ」→項目を選択→「はい」
電話帳の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択

設定

音／バイブレータ／着信ライトの設定

音／バイブレータに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」

音量を設定する お買い上げ時 レベル3	「音量」→項目を選択→✥で音量を調節→✉(再生)→■(選択) ・「操作音」を選択した場合は、再生できません。 ・「着信音調節機能」が「On」の場合、レベル1の音量で4秒間呼び出したあと、設定されている音量で呼び出します。 ・着信中に音量を調節するには、着信中に▲／▼を押します。 ・着信時やメール受信時のお知らせをミュート（表示のみ）にするには、「音量」を「Off」にし、「バイブ」を「Off」にします。ミュートにしているときは、ディスプレイに🔇が表示されます。
音声電話の着信音を設定する お買い上げ時 Samsung Tune.mp4	「着信音」→「音声着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉(再生)→Y!(選択)
電話以外の着信音を設定する お買い上げ時 メール着信：Samsung Tune.mp4、着信お知らせ機能／配信確認：BusinessTone.mp4	「着信音」→「メール着信」／「着信お知らせ機能」／「配信確認」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉(再生)→Y!(選択)
電話以外の着信鳴動時間を設定する お買い上げ時 5秒	「着信音」→「メール着信」／「着信お知らせ機能」／「配信確認」→「鳴動時間」→時間を入力
待ちうた™を探す	「待ちうた」→「楽曲を探す」→画面の指示に従って操作
待ちうた™を設定する	「待ちうた」→「待ちうた設定」→画面の指示に従って操作
待ちうた™の開始／解約を設定する	「待ちうた」→「サービス開始・解約」→画面の指示に従って操作
待ちうた™の説明を確認する	「待ちうた」→「待ちうたとは？」
バイブレータを設定する お買い上げ時 Off	「バイブ」→項目を選択→パターンを反転表示→✉(再生)→■(選択)
ボタン確認音を設定する お買い上げ時 Off	「操作音」→「ボタン確認音」→項目を選択
効果音を設定する お買い上げ時 個別設定On	「操作音」→「効果音」→設定する項目をチェック→✉(保存)

•「設定」の「音・バイブ・着信ライト設定」は、通常モードの設定内容を変更するためのメニューです。他のモードの内容は変更されません。

着信ライトに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」→「着信ライト」

項目	操作
着信中に照明の点滅でお知らせする お買い上げ時 On	「着信時ライト」→項目を選択→「On」／「Off」
不在時に着信などがあったことを照明の点滅でお知らせする お買い上げ時 On	「通知ライト」→項目を選択→「On」／「Off」 ・「アラーム」は、見逃してしまったスケジュール(➔P.9-4)または予定リスト(➔P.9-8)をお知らせする通知ライトについての設定です(通常のアラーム(➔P.9-5)や、スケジュール・予定リストのアラーム動作時のライトの設定ではありません)。

設定

画像／文字表示の設定

画像や文字表示に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「ディスプレイ設定」

項目	操作
ディスプレイの壁紙の設定を変更する お買い上げ時 固定データ	「壁紙」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→■(設定)
メインメニューの設定を変更する お買い上げ時 スタンダード	「メインメニュースタイル」→スタイルを選択→◈で設定したい色を選択→■(選択)
待受画面に表示する情報を設定する お買い上げ時 Off	「時計／カレンダー表示」→項目を選択し、必要に応じて編集 ・デジタル時計は、表示する時計の種類を選択できます。時計の種類を設定するには、「デジタル時計」→◈で時計の種類を選択→■(OK)を押します。 ・「デュアル時計」を選択した場合は、待受画面に2つの時計が表示されます。デュアル時計の上側には「一般設定」の「日時設定」で設定した地域の時計が表示されます。下側に表示される時計は、「デュアル時計」→タイムゾーン欄を反転表示→◈で設定したい地域を指定→必要に応じてサマータイム欄を反転表示してチェック→✉(OK)を押して設定できます。
待受画面の時計の表示を設定する お買い上げ時 日付と時間	「ミニ時計」→項目を選択 ・待受画面の右上に表示される時計の表示を設定できます。

メニューリストのメニュー文字サイズを変更する お買い上げ時 大	「文字サイズ」→「メニューリスト」→項目を選択
Yahoo!ケータイの情報画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「Yahoo!ケータイ」→項目を選択
PCサイトブラウザの情報画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「PCサイトブラウザ」→項目を選択
電話帳の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「電話帳」→項目を選択
文字入力画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「文字入力」→項目を選択
メール本文の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「メール」→項目を選択
ディスプレイの明るさを調整する お買い上げ時 3	「バックライト」→「明るさ」→で明るさを調整→(OK)
バックライト点灯時間を設定する お買い上げ時 On:15秒、省電力設定:15秒	「バックライト」→「バックライト点灯時間」→On欄を選択→時間を選択→省電力設定欄を選択→時間を選択→(保存) ・「バックライト点灯時間」を「Off」に設定すると、画面が暗くなります。 ・「バックライト点灯時間」で設定した時間を経過すると画面が暗くなり、さらに「省電力設定」で設定した時間を経過するとディスプレイが消灯します。
待受中にダイヤル入力したときの文字タイプを設定する お買い上げ時 標準1	「ダイヤル表示スタイル」→「文字タイプ」→で文字タイプを切り替え→(OK)
待受中にダイヤル入力したときの文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「ダイヤル表示スタイル」→「文字サイズ」→で文字サイズを切り替え→(OK)
待受中にダイヤル入力したときの文字色を設定する お買い上げ時 標準	「ダイヤル表示スタイル」→「文字カラー」→で文字色を切り替え→(OK) ・「単色」のときは、を押して色の選択欄を反転表示→で色を切り替え→(OK)を押します。
待受中にダイヤル入力したときの背景色を設定する	「ダイヤル表示スタイル」→「背景色」→で色を切り替え→(OK)
事業者名の表示設定をする お買い上げ時 Off	「事業者名表示」→項目を選択

本体機能の設定

本体機能に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「一般設定」

ディスプレイの表示言語を切り替える お買い上げ時 日本語	「Language」→項目を選択 ・「中文」(中国語)と「Português」(ポルトガル語)は、メニュー表示にのみ対応しています。その言語での文字の入力や、受信したメールの表示はできません。
タイムゾーンの更新の設定をする お買い上げ時 最初に確認	「日時設定」→タイムゾーンの更新欄を選択→項目を選択→✉(保存) ・「自動」に設定すると再起動の確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると本機が再起動します。 ・タイムゾーンの更新の設定を変更しても、タイムゾーンや日付、時刻は変更前の情報が保持されます。
タイムゾーンを変更する お買い上げ時 GMT+09:00	「日時設定」→タイムゾーン欄を選択→◎で目的の地域を切り替え→■(選択)→✉(保存) ・お使いの地域に合わせて日付や時刻を切り替えます。「時計／カレンダー表示」で「デュアル時計」を設定するには、あらかじめこの設定を行ってください。
サマータイムを設定する お買い上げ時 チェックなし	「日時設定」→タイムゾーン欄を選択→サマータイム欄を反転表示してチェック→✉(OK)→✉(保存)
時刻を設定する	「日時設定」→時間欄を反転表示→時刻を入力→✉(保存) ・設定しないとご利用になれない機能があります。
「AM」／「PM」を設定する(時刻表示形式「12H」の場合)	「日時設定」→時間欄の「AM」／「PM」を反転表示→◎で設定を切り替え→✉(保存)
日付を設定する	「日時設定」→日付欄を反転表示→年月日を入力→✉(保存) ・設定しないとご利用になれない機能があります。
時刻の表示形式を変更する お買い上げ時 24H	「日時設定」→時刻表示形式欄を選択→項目を選択→✉(保存)
日付の表示形式を変更する お買い上げ時 年／月／日	「日時設定」→日付表示形式欄を選択→項目を選択→✉(保存)

ユーザ辞書を登録する	「ユーザ辞書」→「新規登録」→語句欄を選択→単語や文を入力→読み欄を選択→よみがなを入力→☒(保存)
ユーザ辞書の登録内容を編集する	「ユーザ辞書」→「辞書編集」→編集する内容を選択→語句やよみがなを編集→☒(保存)
ユーザ辞書の登録内容を削除する	「ユーザ辞書」→「全削除」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」
文字入力履歴をリセットする	「ユーザ辞書」→「ユーザ辞書リセット」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」 ・ 予測候補や変換候補には、過去に変換した文字列や漢字が優先して表示されます。表示される内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
スピード検索の設定をする お買い上げ時 Off	「スピード検索設定」→項目を選択 ・ 「On」に設定し、待受画面で数字を入力すると、その数字のダイヤルボタンに割り当てられた文字に対応する「ヨミガナ」を先頭に持つ電話番号を電話帳から検索して表示します。
サイドボタン操作で応答拒否する/着信音を消す お買い上げ時 着信音サイレント	「サイドキー設定」→項目を選択 ・ 着信中に▯/▯を1秒以上押したときの動作を設定します。
エニーキーアンサーを設定する お買い上げ時 Off	「エニーキーアンサー」→項目を選択 ・ 「On」に設定すると、☒、■、Y!、☎、▯、▯を除くどのボタンを押しても電話を受けられます。
オープン通話を設定する お買い上げ時 Off	「オープン通話」→項目を選択 ・ 「On」に設定すると、着信したときに本体を開くことで電話を受けられます。
キーライトを設定する お買い上げ時 通常モード	「キーライト」→項目を選択 ・ 「通常モード」に設定すると、本機を操作後「バックライト点灯時間」で設定した時間の間、キーが点灯します。 ・ 「節電モード」を選択したときは、節電開始時刻欄を選択→節電開始時刻を入力→節電終了時刻欄を選択→節電終了時刻を入力→☒(保存)を押します。 ・ 「節電モード」に設定すると、節電時刻の間、キーは点灯しません。

設定

セキュリティの設定

セキュリティに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「セキュリティ設定」

電源On時ロックを設定する お買い上げ時 Off	「電源On時ロック」→項目を選択→操作用暗証番号を入力→■(OK)
キー操作ロックを設定する お買い上げ時 Off	「キー操作ロック」→項目を選択→操作用暗証番号を入力→■(OK)
USIM照合を設定する お買い上げ時 Off	「USIM照合」→項目を選択→USIMパスワード(4～8桁の任意の番号)を入力→■(OK)→必要に応じてもう一度USIMパスワードを入力→■(OK)
機能別ロックを設定する お買い上げ時 全てのロックを解除	「機能別ロック」→ロックしたい項目をチェック→✉(保存)→操作用暗証番号を入力→■(OK)
シークレットモードを設定する お買い上げ時 表示しない	「シークレットモード」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→項目を選択
データフォルダのサブフォルダにシークレットモード設定をする お買い上げ時 表示しない	「シークレットデータフォルダ」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→項目を選択
本機をお買い上げ時の状態に戻す	「リセット」→「オールリセット」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」
設定をリセットする	「リセット」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」
PIN認証を設定する お買い上げ時 Off	「PIN認証」→項目を選択→PINコードを入力→■(OK)
PINコードを変更する	「PIN変更」→現在のPINコードを入力→■(OK)→新しいPINコードを入力→■(OK)→もう一度新しいPINコードを入力→■(OK)
PIN2コードを変更する	「PIN2変更」→現在のPIN2コードを入力→■(OK)→新しいPIN2コードを入力→■(OK)→もう一度新しいPIN2コードを入力→■(OK)
操作用暗証番号を変更する お買い上げ時 9999	「暗証番号変更」→現在の操作用暗証番号を入力→■(OK)→新しい操作用暗証番号を入力→■(OK)→もう一度新しい操作用暗証番号を入力→■(OK)
モバイルトラッカーを設定する お買い上げ時 Off	「モバイルトラッカー」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→設定欄を選択→「On」→宛先欄を選択→To欄を選択→宛先を入力→✉(保存)→送信者欄を選択→送信者名を入力→✉(保存)→表示内容を確認→■(同意)／Y!(拒否)

設定

通話の設定

通話に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「通話設定」

呼出時間なしで留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番･転送電話」→「留守番電話設定」→「呼出なし(0秒)」
呼出時間を設定して留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番･転送電話」→「留守番電話設定」→「呼出あり(5-30秒)」→項目を選択
転送電話サービスを設定する	「通話サービス」→「留守番･転送電話」→「転送電話設定」→設定を選択→項目を選択→転送先の設定操作 ・「呼出あり(5-30秒)」を選択した場合は、呼出時間を選択します。
留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する	「通話サービス」→「留守番･転送電話」→「留守番･転送全停止」→「はい」
留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「留守番･転送電話」→「設定確認」
留守番電話の伝言メッセージを聞く	「通話サービス」→「留守番･転送電話」→「留守番電話再生」→■(発信)
割込通話サービスを開始／解除する	「通話サービス」→「割込通話」→「On」／「Off」
割込通話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「割込通話」→「設定確認」
発信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「発信規制」→項目を選択→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→■(OK)
着信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「着信規制」→項目を選択→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→■(OK)
発着信規制の制限をすべて解除する	「通話サービス」→「発着信規制」→「全ての発着信規制解除」→規制暗証番号を入力→■(OK)→「はい」
発着信規制の設定を確認する	「通話サービス」→「発着信規制」→「設定確認」→項目を選択
発着信規制用暗証番号を変更する	「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号変更」→現在欄に規制暗証番号を入力→■(OK)→新規欄に新しい規制暗証番号を入力→■(OK)→もう一度新しい規制暗証番号を入力→■(OK)
着信お知らせ機能を設定する	「通話サービス」→「着信お知らせ機能」→■(発信)

ネットワークモードを切り替える **お買い上げ時** 自動	「通話サービス」→「国際設定」→「3G/GSM選択」→項目を選択 ・ 「手動」で選択できる項目は、「3G/GSM」/「3G」/「GSM」です。
国際コードを登録する **お買い上げ時** 0046010	「通話サービス」→「国際設定」→「国際コード」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→国際コードを入力
国番号を追加/編集/削除する **お買い上げ時** 日本、韓国、イギリス、イタリア、スイス、スペイン、ドイツ、ポルトガル、オランダ、フランス、モナコ、アメリカ合衆国、スウェーデン、オーストラリア、中国、香港、台湾	「通話サービス」→「国際設定」→「国番号リスト」→追加/編集/削除の操作 ・ 追加/変更するときは、国番号リストから追加/変更したい項目を反転表示→■(変更)→国名欄を選択→国名を入力→国番号欄を反転表示→国番号を入力→✉(保存)を押します。 ・ 削除するときは、削除したい項目を反転表示→✉(削除)→「はい」を選択します。
接続するネットワークを選択する **お買い上げ時** 自動	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「自動」/「手動」 ・ 「手動」を選択したときは、ネットワークを選択します。
優先されるネットワークをリストから挿入する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先ネットワーク設定」→「優先度リスト」→挿入する位置にカーソルを移動→Y!→「挿入」→「ネットワークリスト」→挿入したいネットワークを反転表示→■(挿入)
優先されるネットワークをリストから追加する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先ネットワーク設定」→「優先度リスト」→Y!→「追加」→「ネットワークリスト」→追加したいネットワークを反転表示→■(追加) ・ 一覧の最後にネットワークが追加されます。
優先されるネットワークをリストから削除する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先ネットワーク設定」→「優先度リスト」→削除したいネットワークを反転表示→Y!→「削除」→「はい」
優先されるネットワークを新規追加する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先ネットワーク設定」→「新規追加」→国番号を入力→ネットワークコードを入力→項目を選択 ・ 一覧の最初にネットワークが追加されます。 ・ ネットワーク名を入力して新規に挿入/追加するには、「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先ネットワーク設定」→「優先度リスト」→Y!→「挿入」/「追加」→「新規ネットワーク」→国番号欄を反転表示→国番号を入力→ネットワークコード欄を反転表示→ネットワークコードを入力→ネットワーク名欄を選択→ネットワーク名を入力→ネットワークタイプ欄を選択→「GSM」/「3G」→✉(挿入/追加)を選択します。

すべての通話の合計通話時間／合計通話料金を確認する	「通話時間･料金」→「累積」 ・ 通話時間／通話料金をリセットするには、✉(リセット)→PIN2コードを入力→■(OK)を選択します。
前回の通話時間／通話料金を確認する	「通話時間･料金」→「直前の通話」 ・ 前回の通話時間／通話料金をリセットするには、✉(リセット)を選択します。
累積データ通信量を確認する	「通話時間･料金」→「累積データ通信量」 ・ 送信データ量／受信データ量をリセットするには、✉(リセット)を選択します。
通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する お買い上げ時 Off	「通話時間･料金」→「通話後料金表示」→項目を選択 ・ 本機能はご利用になれない場合があります。
通話料金の通貨単位を変更する	「通話時間･料金」→「通貨設定」→PIN2コードを入力→■(OK)→レート欄を選択→円に対するレートを入力→通貨欄を選択→通貨単位を入力→✉(保存)
通話料金の限度額を設定する	「通話時間･料金」→「通話料金上限設定」→✉(編集)→PIN2コードを入力→■(OK)→通話料金上限設定欄を選択→限度額を入力→✉(保存) ・ 通話料金の上限を超えると、緊急電話発信を除くすべての電話の発信やメールの送受信、ウェブ接続(通話料、通信料が課金される操作)ができなくなります。 ・ 「通話後料金表示」がご利用になれない場合、通話料金の限度額を設定する機能はご利用になれません。
通話料金の限度額の設定を解除する	「通話時間･料金」→「通話料金上限設定」→Y!(解除)→PIN2コードを入力→■(OK)
簡易留守録を設定する お買い上げ時 Off	「簡易留守録」→「簡易留守録設定」→項目を選択
簡易留守録の応答時間を設定する お買い上げ時 18秒	「簡易留守録」→「応答時間」→項目を選択 ・ 「その他(0-30秒)」を選択した場合は、時間を入力します。

簡易留守録に録音した用件を確認する	「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」→用件を反転表示→■(再生) ・ 録音した用件を1件削除するには、削除したい用件を反転表示→✉(削除)→「はい」を選択します。 ・ 録音した用件をすべて削除するには、一覧画面でY!(全削除)→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」を選択します。
応答メッセージの言語を設定する お買い上げ時 日本語	「簡易留守録」→「応答言語」→項目を選択 ・ ✉(再生)を押すと、メッセージが再生されます。
電話番号を指定して着信の許可/拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話番号指定」→「On/Off設定」→項目を選択 ・ 着信拒否に登録した電話番号からかかってきたとき、相手には話中音を流し電話を受けません。待受画面には「不在着信通知」と表示してお知らせします。■(表示)を押すと、着信履歴を確認できます。
着信拒否する電話番号を登録する	「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト編集」→Y!→「追加」→項目を選択→電話番号の登録操作 ・ 登録した電話番号を編集するには、「拒否リスト編集」→編集したい電話番号を反転表示→■(選択)→電話番号を編集→■(完了)→✉(保存)を押します。 ・ 登録した電話番号を削除するには、「拒否リスト編集」→削除したい電話番号を反転表示→Y!→「削除」→「1件」/「全件」→「はい」を選択します。「全件」を選択したときは、操作用暗証番号の入力が必要です。
電話帳に登録していない番号からの着信の許可/拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話帳以外」→項目を選択
非通知着信の許可/拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「非通知」→項目を選択
公衆電話からの着信の許可/拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「公衆電話」→項目を選択
電話番号が通知不可能な着信の許可/拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「通知不可」→項目を選択
電波Offモードを設定する お買い上げ時 Off	「電波Offモード」→項目を選択
発信者番号の通知/非通知を設定する	「発信者番号通知」→「通知/非通知」→項目を選択 ・ 現在の設定を確認するには、「設定確認」を選択します。

話し中だった相手に自動的にリダイヤルする お買い上げ時 Off	「オートリダイヤル」→項目を選択 ・ 音声電話をかけた相手がお話し中だったときに、自動的に電話を切り、すぐにリダイヤルを開始するように設定できます。オートリダイヤルは、[Y!](キャンセル)/[☎]を押すまで最大10回繰り返されます。 ・ 相手が転送電話サービスや留守番電話サービスを設定しているときは、電話が転送され、オートリダイヤルは行われません。
着信音調節機能を設定する お買い上げ時 On	「着信音調節機能」→項目を選択 ・ 音声電話の着信音量が大きな音で設定されている場合、着信時にいきなり大きな音で呼び出すことを防ぐために、レベル1の音量で4秒間呼び出したあと徐々に大きくなり、設定されている音量で呼び出します。
イヤホン通話を使う お買い上げ時 イヤホン通話を使う:Off	「イヤホン通話」→「イヤホン通話を使う」→項目を選択→「電話番号指定」→項目を選択→電話番号の登録操作→[✉](保存) ・ イヤホンマイク(オプション品)のスイッチを1秒以上押して、指定した電話番号に電話をかけられるように設定できます。指定した電話番号を変更する場合は同じ操作を繰り返し、変更する電話番号を登録します。
通話中の音量を調節する お買い上げ時 レベル5	「受話音量」→[◀▶]で音量を調節→[■](選択)

設定

マナーモードの設定

マナーモードに関する設定

マナーモードを切り替える	[■]→「設定」→「マナーモード設定」→項目を選択 ・ 各モードの設定内容を変更するには、設定したいモードを反転表示→[✉](編集)→各項目の設定をします。

設定

外部接続の設定

赤外線通信に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」

赤外線通信を設定／解除する お買い上げ時 Off	「赤外線On/Off設定」→項目を選択
データを一括送信する	「全件データ送信」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→項目を選択→認証コード(4桁)を入力→■(OK) ・ 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

カードリーダーモードに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「外部接続」

カードリーダーモードを起動する	「カードリーダーモード」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→本機とパソコンをUSBケーブルで接続→パソコンからデータを読み書き

ネットワークに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「外部接続」

ネットワーク自動調整を手動で行う	「ネットワーク自動調整」→「はい」／「いいえ」

設定

メモリの設定

本機のメモリに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「メモリ設定」

メモリカードの詳細情報を確認する	「メモリカード」→「詳細」 ・ メモリカードの名前、メモリ容量、メモリ残量を確認できます。
メモリカードをフォーマット(初期化)する	「メモリカード」→「メモリカード初期化」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」
メモリカードの表示名を編集する	「メモリカード」→「名前変更」→名前を入力

本機のメモリの詳細情報を確認する	「本体」→「詳細」 ・ 本機のメモリ容量、メモリ残量を確認できます。
本機のメモリを消去する	「本体」→「メモリ消去」→消去したい項目をチェック→✉(削除)→操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」
データの保存先を本機／メモリカードに指定する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→項目を選択 ・ メモリカードを取り付けているときのデータの保存先を、本機またはメモリカードのどちらにするかを設定できます。S!メールの添付ファイル保存時、情報画面からのファイルダウンロード時などのデータが対象になります。 ・ メモリカードが取り付けられていないときに、「メモリカード」または「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に本機になります。
メモリ容量を確認する	「メモリ容量確認」→項目を選択 ・ 確認したメモリを削除するには✉(削除)を押します(➲P.11-16 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい)。

設定

バックアップの設定

バックアップに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「メモリカード保存・読込み」

メモリのバックアップをとる	「メモリカードへ保存」→「はい」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→項目を選択→「はい」
バックアップしたデータから復元する	「メモリカードから読込み」→「はい」→操作用暗証番号を入力→■(OK)→項目を選択→ファイルを選択→「追加」／「上書き」

資料／付録

故障かな？と思ったら

■ 電源が入らない

☑電池切れになっていませんか？

➡電池パックを交換するか充電してください。

☑電池パックが本機に装着されていますか？

➡正しく装着してください。

■ 電源を入れるとPINコードの入力画面が表示される

☑「PIN認証」が「On」に設定されていませんか？

➡「PIN認証」が「On」に設定されているときは、画面の指示に従ってPINコードを入力してください。

■ 電源を入れるとUSIMパスワードの入力画面が表示される

☑「USIM照合」が「On」に設定されていませんか？

➡「USIM照合」が「On」に設定されているときは、USIMパスワードを入力してください。

■ 電源を入れたときや機能の操作時に「USIM未挿入です。」、「USIMが正しくありません」、「USIMエラーです」と表示される

☑USIMカードは正しく取り付けられていますか？

➡USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。

☑USIMカードのデータ読み込み中ではありませんか？

➡しばらくたってから操作し直してください。

☑違ったUSIMカードをお使いではありませんか？

➡正しいUSIMカードであることを確認してください。当社で指定されたUSIMカードを使用してください。

☑USIMカードのIC部分に指紋などの汚れがついていませんか？

➡乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。

■ 「圏外」または「OUT」が表示され、電話がかけられない

☑サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？

➡電波の届く場所に移動してかけ直してください。

■ 通話が途切れたり、切れたりする

☑「圏外」または「OUT」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか？

➡電波の届く場所に移動してかけ直してください。

☑電池切れになっていませんか？

➡電池パックを交換するか充電してください。

■ 電話がかけられない

☑発着信規制サービスの発信規制が設定されていませんか?

➡発信の規制を停止してください。

☑電波Offモードが設定されていませんか?(「 」表示)

➡「電波Offモード」を「Off」に設定してください。

■ 電話帳、データフォルダ、通話履歴、カレンダーやメールの各種の機能が呼び出せない

☑「機能別ロック」が設定されていませんか?

➡「機能別ロック」(➔P.10-5)を解除してください。

■ 通話中に「プチッ」と音が入る

☑電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。

■ 充電できない

☑急速充電器の接続コネクターが本機に確実に差し込まれていますか?

➡確実に差し込んでください。

☑急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか?

➡確実に差し込んでください。

☑電池パックが本機に取り付けられていますか?

➡正しく取り付けてください。

☑本機および電池パックの充電端子や急速充電器の接続コネクター、本機の外部接続端子が汚れていませんか?

➡乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。

☑周囲の温度が5℃より低い場所または40℃を超える場所で充電していませんか?

➡周囲の温度が5〜40℃の範囲内で充電してください。

☑電池パックに異常はありませんか?

➡新しい電池パックに交換してください。

☑充電を繰り返しても、十分に充電できませんか?

➡電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください。

☑充電中に本機や電池パックの温度が上昇していませんか?

➡温度が上昇すると充電を中断することがあります。本機や電池パックが冷めてから、充電し直してください。

■ 熱くなる

☑充電中に、急速充電器が発熱することがあります。

☑充電したり、長時間通話したりすると本機が発熱することがあります。

➡手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合はただちに充電、使用を中止してお問い合わせ先(➔P.14-24)までご連絡ください。

■ 電池の消費が早い

☑ 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。

➡ 適切な環境下でご使用のうえ、電池の消費が早い機能の使用を控えてください（➔P.1-8）。

■ ディスプレイの表示がちらつく

☑ 蛍光灯の近くで使用していませんか？

➡ 蛍光灯からなるべく離れてご使用ください。

■ ディスプレイの表示が暗くなったり消えたりする

☑ ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。暗くなったり消えたりするまでの時間はバックライトの設定で変更できます（➔P.13-14）。

■ スピーカーで音楽が再生できない

☑「マナーモード」が設定されていませんか？

➡「マナーモード」を解除してください。

☑ イヤホンマイク（オプション品）を接続していませんか？

➡ イヤホンマイク（オプション品）の接続コネクターを本機から抜いてください。

■「これ以上起動できません」と表示された

☑ 多くの機能を一度に起動しています。

➡ いくつかの機能を終了してください。

■ Samsung New PC Studioを利用してUSB通信ができない

☑ USBドライバはインストールされていますか？

➡ USBケーブルでパソコンと接続して通信する場合は、ドライバのインストールが必要です。SAMSUNGホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/740download.html）から「USB Driver Installer」をダウンロードして、ドライバのインストールを行ってください。

☑ パソコン側で接続方法が正しく設定されていますか？

➡ ご利用になる通信に合わせて、Samsung New PC StudioのConnection managerまたは接続ウィザードで接続方法を「USB」に設定してください。

☑ パソコン側のUSBの接続ポートがSamsung New PC Studioで設定しているポートと同じですか？

➡ Samsung New PC StudioのConnection managerまたは接続ウィザードでポートを合わせてください。

■ 電話帳やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストなどが表示されない

☑ セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていませんか？

➡ セキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」に設定してください（➲P.10-6）。

☑ 各機能のシークレット設定を有効にしていませんか？

➡ 表示したい画面で[Y!]→「シークレット一時解除」を選択してください。

■ 「メール送信できませんでした」と表示された

☑ メールが送信できなかったときに、その理由とあわせて表示されます。

➡ 送信できなかった理由を確認し、送信できる状態になってから送信してください。

■ 「サービスは許可されていません」と表示された

☑ 3Gサービスエリア外から送信しようとしたときに表示されます。

➡ サービスエリア内から送信してください。

■ 「オフラインモードに設定されています」と表示された

☑ 電波Offモード中に電話やメール送信しようとしたときに表示されます。

➡ 電波Offモードを「Off」に設定してください（➲P.1-16）。

■ 「保存領域が＊＊バイト不足しています。データフォルダ内のファイルを整理しますか？」と表示された

☑ 本機のメモリがいっぱいです。

➡ 不要なファイルを消去してから、やり直してください。

■ 「ダウンロードできません。コンテンツが不正です。」と表示された

☑ 本機ではダウンロードできないデータです。ダウンロードを中止してください。

■ イヤホンマイク（オプション品）から発信できない

☑ 「イヤホン通話を使う」の設定が「Off」になっていませんか？

➡ 「イヤホン通話」に指定先の電話番号を登録しても、「イヤホン通話を使う」が「Off」に設定されているときは発信できません。「イヤホン通話を使う」を「On」に設定してください（➲P.13-22）。

ソフトウェアを更新する

本機のソフトウェアを更新する必要があるかどうかを確認し、必要な場合は通信を利用して最新のソフトウェアに更新できます。更新には、すぐに行う「今すぐ更新」と、更新日時を予約して行う「予約更新」があります。

1 ■→「ツール」→「ソフトウェア更新」

2 ✉(Yes)

• ✉(Yes)を押すと、ネットワークに接続します。

3 規約を読み、「同意する」

• 「同意する」を選択する前に、規約をよくお読みください。

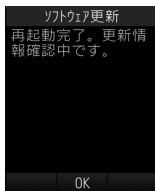
4 交換機用暗証番号(➔P.1-20)を入力→■(OK)→■(OK)

• チェック結果画面が表示されます。

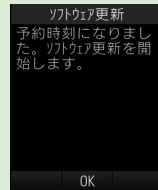
5 更新方法の選択操作

■ 今すぐ更新するとき

「今すぐ更新」

・ソフトウェア更新が実行されます。更新が完了すると、本機が再起動し、完了通知画面が表示されます。

■ 予約更新するとき

「予約更新」→✉(Yes)→予約する日付を選択→予約する時間帯を選択→予約した日時を確認→■(OK)

• 操作のご案内については、ソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)からもご確認いただけます。
• 確認や更新に通信料はかかりません。
• 予約更新の日時になると、更新メッセージが表示され、■(OK)を押すか、約10秒経過すると更新が開始されます。他の機能を利用中の場合は、機能を終了すると更新のメッセージが表示されます。ただし、他の機能を利用したまま予約更新の日時から10分以上経過すると、予約更新は解除されます。

• 予約更新をキャンセルするには、操作1～4を行い「予約キャンセル」を選択し、✉(Yes)を押します。

注意

- 電池が十分に残っている状態で更新を行ってください。更新中に電池残量が少なくなると、更新が失敗することがあります。
- 予約更新日時に圏外になった場合は、ソフトウェア更新は行われません。
- 電波の状態が良好な場所で移動せずにご利用ください。
- 本機に保存されているデータを残したまま更新が行われますが、万一に備えてバックアップやメモなどをとることをおすすめします。データが消失した場合の損害につきましては当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 更新中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 更新が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 更新に失敗して本機が使用できなくなった場合は、ソフトバンクの故障受付(➔P.14-24)にご相談ください。
- ソフトウェア更新後に再起動しなかった場合、電池パックをいったん取り外したあと、再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ソフトバンクの故障受付(➔P.14-24)にご相談ください。

機能一覧

メインメニュー

待受画面で■を押して表示されるメインメニューです。

メインメニュー／中項目		参照先
メール		
	受信ボックス	P.4-11、P.4-14
	新規作成	P.4-4
	新着メール受信	P.4-25
	下書き	P.4-14、P.4-21
	テンプレート	P.4-14、P.4-21
	送信済みボックス	P.4-14
	未送信ボックス	P.4-14
	サーバーメール操作	P.4-30
	SMS新規作成	P.4-8
	設定	P.13-2
	メモリ容量確認	P.11-11
Yahoo!		
	Yahoo!ケータイ	P.5-3
	メニューリスト	P.5-3
	ブックマーク	P.5-9
	画面メモ	P.5-9
	URL入力	P.5-4、P.5-5
	閲覧履歴	P.5-4、P.5-6
	PCサイトブラウザ	P.5-5
	設定	P.13-6
赤外線		
	赤外線On/Off設定	P.12-4
	全件データ送信	P.12-4
ニュース／エンタメ		
	S!情報チャンネル／お天気	P.8-3
	無料コンテンツ	P.8-4
	S!電話帳バックアップ	P.12-9
カメラ		
	カメラ	P.6-6
	ビデオカメラ	P.6-11
アラーム		P.9-5

メインメニュー／中項目		参照先
ツール		
	電卓	P.9-6
	通貨·単位換算	P.9-7
	世界時計	P.9-8
	メモ帳	P.9-8
	予定リスト	P.9-8
	ボイスレコーダー	P.9-9
	ストップウォッチ	P.9-10
	辞典	P.9-12
	ソフトウェア更新	P.14-6
データフォルダ		
	ピクチャー	P.11-2
	マイ絵文字	P.11-2
	着うた·メロディ	P.11-2
	ミュージック	P.11-2
	ムービー	P.11-2
	デコレメールテンプレート	P.11-2
	その他ファイル	P.11-2
	メモリ容量確認	P.11-3

メインメニュー／中項目		参照先
メディア		
	ミュージック	P.7-5
	ムービー	P.7-8
	設定	P.13-10
カレンダー		P.9-3
電話機能		
	電話帳	P.2-18
	新規登録	P.2-17
	通話履歴	P.3-12
	簡易留守録再生	P.3-9
	留守番電話再生	P.3-18
	オーナー情報	P.1-14
	S!電話帳バックアップ	P.12-9
	グループ設定	P.2-26
	スピードダイヤル設定	P.3-7
	設定	P.13-11
	メモリ容量確認	P.13-24

メインメニュー／中項目		参照先
設定		
	音·バイブ·着信ライト設定	P.13-12
	ディスプレイ設定	P.13-13
	一般設定	P.13-15
	セキュリティ設定	P.13-17
	通話設定	P.13-18
	マナーモード設定	P.13-22
	外部接続	P.13-23
	メモリ設定	P.13-23
	メモリカード保存·読込み	P.13-24

文字入力用ボタン一覧

1つのボタンには複数の文字が割り当てられています。文字を入力するには、目的の文字が表示されるまでボタンを繰り返し押します。
[文字]を押すと、入力モードを切り替えられます。
[* A/a ゜゛絵]は濁点を付けるなどの機能が、[# 記号]には全角記号／半角記号入力モードへの切り替えなどの機能が割り当てられています。

ボタン	漢字／かな	カタカナ（全角／半角）	英字（全角／半角）	数字（全角／半角）
[1 あ .@]	あいうえおぁぃぅぇぉ1	アイウエオァィゥェォ1	.@-_/:~（全角のときは「～」）1	1
[2 か ABC]	かきくけこ2	カキクケコ2	ABCabc2	2
[3 さ DEF]	さしすせそ3	サシスセソ3	DEFdef3	3
[4 た GHI]	たちつてとっ4	タチツテトッ4	GHIghi4	4
[5 な JKL]	なにぬねの5	ナニヌネノ5	JKLjkl5	5
[6 は MNO]	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	MNOmno6	6
[7 ま PQRS]	まみむめも7	マミムメモ7	PQRSpqrs7	7
[8 や TUV]	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8	TUVtuv8	8
[9 ら WXYZ]	らりるれろ9	ラリルレロ9	WXYZwxyz9	9
[0 わ 、。+]	わをん、。－0	ワヲン、。－0	,.-_!?〈スペース〉0	0
[* A/a ゜゛絵]	・ 濁点あり／半濁点あり／濁点なしの変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ） ・ 絵文字／顔文字入力モードへの切り替え		・ 絵文字／顔文字入力モードへの切り替え ・ 大文字／小文字の変換（英字入力時、文字の決定前で、変換可能な場合のみ）	
[# 記号]	・ 全角記号／半角記号入力モードへの切り替え			
[クリア]	・ 1つ前の割り当て文字の表示（文字の決定前のみ）			－
[文字]	・ 入力モードの切り替え			

記号一覧

全角記号

↲ 、 。 ！ ？ 〈スペース〉 ， ． ・ ： ； ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃
仝 々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕
［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜
＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ § ☆
★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆
⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √
∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ ゎ ゐ ゑ ヮ ヰ ヱ ヴ ヵ
ヶ Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ
Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ
υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П
Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г д е
ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ
ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗
┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ
Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗
㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 №
㏍ ℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ∮ ∑ ∟ ⊿

半角記号

↲ ､ ｡ ! ? 〈ｽﾍﾟｰｽ〉 " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = >
@ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｢ ｣ ･ ｰ ﾞ ﾟ

変換記号

記号名（入力文字）	記　号	記号名（入力文字）	記　号
あっと	＠@	こめ	※
いこーる	＝=	ころん	：；
えん	￥¥	さんかく	△▲▽▼
おんぷ	♪	しかく	◇◆□■
かける	×	どう	ゝ〃仝々
かっこ	()「」『』【】〈〉 []‘ ’“ ”（ ） 〔 〕[ ]{ } 〈 〉《 》	ぱーせんと	％%
		ほし	☆★
		まる	○●◎
から	～	やじるし	→←↑↓

絵文字一覧

- 　　　部分の絵文字は動く文字です。
- 一部の絵文字および動く絵文字は、相手のソフトバンク携帯電話の機種により表示されない場合があります。

メモリ容量一覧

本機に保存されるS!メールおよびSMSの合計数またはデータ容量	受信ボックス	最大1000件、または最大5Mバイト
	下書き	最大20件、または最大1Mバイト
	送信済みボックス	最大250件、または最大1Mバイト
	未送信ボックス	最大20件、または最大1Mバイト
SMS	USIMカード内	最大10件
データフォルダ	ピクチャー	各フォルダにつき最大999件(ファイルおよびサブフォルダの合計数)
	マイ絵文字	
	着うた･メロディ	
	ミュージック	
	ムービー	
	デコレメールテンプレート	
	その他ファイル	

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

SoftBank　740SC

項　目	仕　様
質量	約107g
連続通話時間	音声電話：約250分(3G)／約350分(GSM)
連続待受時間(ディスプレイ消灯時)	約500時間(3G)／約450時間(GSM)
充電時間	急速充電器：約120分 シガーライター充電器：約120分
サイズ(W×H×D)	約50.5 × 100.0 × 14.9 ㎜
最大出力	0.25 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用(Yahoo!ケータイの操作など)が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- 待受画面などに動きのある画像を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。

- 連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、本機を閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待受の組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。連続通話時間ならびに連続待受時間は、使用環境（充電状態、気温など）によって変動することがあります。

電池パック

項　目	仕　様
電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	800 mAh
サイズ（W×H×D）	約4.3 × 33.9 × 53.2 ㎜（突起部を含まず）

索引

英数字

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

し

も

ゆ

よ

り

る

ろ

わ

目的別索引

便利な機能索引

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」(➔P.14-2)をお読みのうえ、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいた各地域の故障受付(➔P.14-24)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意

- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳やデータフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。
番号はお間違いのないようにおかけください。

ソフトバンクモバイルお客さまセンター	
総合案内	ソフトバンク携帯電話から157(無料)
紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から113(無料)

ソフトバンクモバイル国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡 +81-3-5351-3491(有料)

一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-240-113(無料)
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-241-113(無料)
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-242-113(無料)
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-250-113(無料)

SoftBank 740SC 取扱説明書

2010年8月 第5版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

＊ ご不明な点はお求めになられた
ソフトバンク携帯電話取扱店に
ご相談ください。

http://jp.samsungmobile.com

機種名　SoftBank 740SC
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.

SoftBank 740SC User Guide 取扱説明書

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる
電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳、通話履歴、メール等）は、事前に消去願います。